索　引

英　数　字　ページ

■BSデータ放送 ……………………42
■i.LINK ……………………………46
■IEEE1394 ………………………46
■SDメモリーカード …………62

あ　行　ページ

■アイコン ……………………………4
■暗証番号登録 ……………………37
■暗証番号取消し …………………39
■暗証番号入力 ……………………35
■暗証番号変更 ……………………39
■一番組限度額 ……………………38
■イベントリレー予約 ……………27
■インフォメーション ……………7
■裏番組 ……………………………15
■映像切換 …………………………43
■音声切換 …………………………43

か　行　ページ

■カーソル …………………………5
■画面表示 …………………………12
■機器接続設定 ……………………60
■機器操作 …………………………47
■購入記録 …………………………19

さ　行　ページ

■時間変更追従 ……………25、33
■視聴可能年齢 ……………………38
■視聴購入 …………………………18
■視聴制限 ……………9、35〜39
■視聴制限設定 ……………………37
■視聴制限の解除 …………………35
■字幕 ………………………………41
■字幕言語 …………………………41
■ジャンル検索 ……………………16
■信号設定 …………………………26
■選局対象 …………………………40

た　行　ページ

■タイマー予約 ……………24、29
■ダウンロード ……………………45
■チャンネル一覧 …………………14
■電話発信記録 ……………………44

は　行　ページ

■番組購入 …………………………18
■番組内容 …………………………13
■番組ナビ …………………………6
■番組表 ……………………10、11
■番組予約 …………………………20
■プリセット選局 …………………8
■プログラム予約 …………………30
■ペイ・パー・ビュー ………9、18

ま　行　ページ

■マルチビュー録画 ………27、33
■メール ……………………………45
■文字スーパー ……………………41
■文字スーパー言語 ………………41

や　行　ページ

■有料番組 ……………………9、18
■予約 …………………………9、20
■予約一覧 …………………………34
■予約修正 ……………9、22、34
■予約取消し ………………………34
■予約方式 …………………………20

ら　行　ページ

■連動予約 …………………24、29
■録画機器 …………………………24
■録画購入 …………………………18
■録画モード ………………………25

S0901-1091B

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部
〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

Panasonic　BSデジタルプラズマテレビ　取扱説明書　（BSデジタルの応用／機器操作）

まずお読みください
表示機能について
選局機能について
検索機能について
有料番組について
予約する
視聴条件の設定
放送コンテンツについて
インフォメーションの確認
i・LINKやSDカードについて

TQBA0234

もくじ

●この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「テレビの使い方」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用の前に、別冊：B編「テレビの使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。

BSデジタルの応用／機器操作（A編）
ApplicationのAです

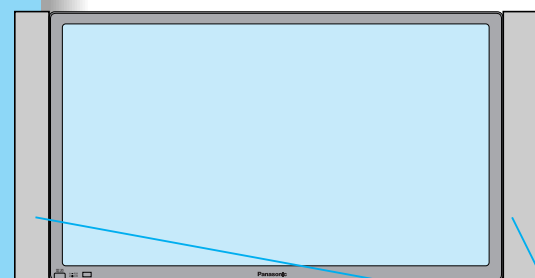
■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■SDメモリーカードについて

テレビの使い方（B編）
BasicのBです

■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき／故障かな？と思うとき

設置／接続と設定（C編）
ConnectionのCです

■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

本機は3製品の組合わせで構成されています。

組み立て、接続の方法は別冊C編：4〜6ページを参照ください。

まずお読みください　4 ページ〜
●画面表示の意味について……4
●番組ナビ画面について……6
●インフォメーション画面について……7
●BSデジタル番組の楽しみかた……8

表示機能について　10 ページ〜
●番組表を表示する……10
●見ている番組のタイトルなどを表示する……12
●番組の詳細内容を表示する……13

選局機能について　14 ページ〜
●BSチャンネル一覧から選局する……14
●裏番組一覧表から選局する……15

検索機能について　16 ページ〜
●番組をジャンル別に検索する……16

有料番組について（ペイ・パー・ビュー）　18 ページ〜
●有料番組（ペイパービュー）を購入する……18
●購入記録を確認する……19

予約する　20 ページ〜
●番組を予約する……20
・予約操作の流れ……20
・予約後の注意点……28
・予約の優先順位について……29
・連動予約とタイマー予約について……29
●日時を指定して予約する……30
●予約の事前設定……32
・時間変更追従……33
・マルチビュー録画……33
●予約の確認、変更、取消し……34
●視聴制限を一時的に解除したいとき……35

視聴条件の設定　36 ページ〜
●暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出し方……36
●視聴可能年齢……38
●一番組購入限度額……38
●暗証番号変更……39
●暗証番号取消し……39
●選局対象を指定したいとき……40

放送コンテンツについて　41 ページ〜
●字幕や文字スーパーを見たいとき……41
●BSデータ放送を見たいとき……42
●同一チャンネルの複数コンテンツを切換える……43

i.LINKやSDカードについて　46 ページ〜
●i.LINKについて……46
●i.LINK対応機器を操作する……47
●D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー（HDR）を操作する……48
●DVD機能を操作する……50
●アンプ機能を操作する……52
●i.LINK対応機器の確認、設定……60
●SDメモリーカードについて……62
●SDメモリーカードの入れかた……63
●画像を見る……64
●音楽を聞く……68

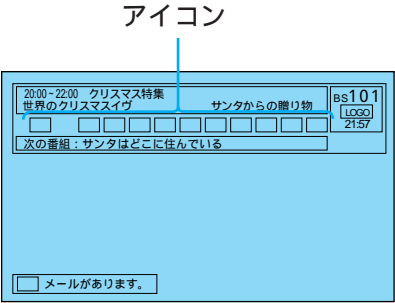
インフォメーションの確認　44 ページ〜
●電話発信記録を見る……44
●メールを見る……45

索引　裏表紙

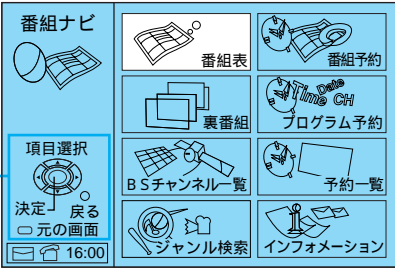
画面表示の意味について

本機はテレビの画面上に操作が必要な情報を表示します。
画面の表示を見ながらご活用ください。

アイコン表示は

（例）

アイコン

画面表示 ボタンを押したときや各種一覧画面を出したときなど、画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。
アイコンの種類と意味はB編：54ページをご覧ください。

操作ボタンの絵表示が出ているときは

操作ボタンの絵表示

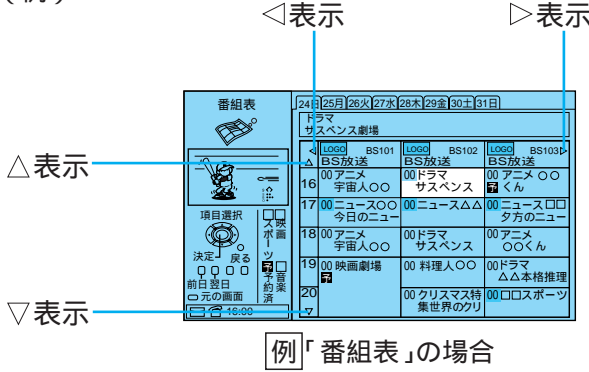
例「番組ナビ」画面の場合

表示されている画面で操作するボタンを示しています。

各種一覧画面内の▲▼◀▶表示は

（例）

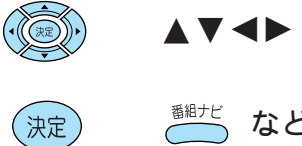
◁表示 ▷表示 △表示 ▽表示

例「番組表」の場合

一覧画面の中に上下または左右に表示される△▽◁▷表示が黄色表示のときは選べる情報がまだあることを示します。
表示と同じ向きの▲▼◀▶ボタンを押せばその情報を表示させることができます。

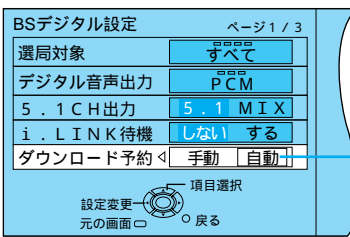
説明書に記載している各種イラストおよびマークの意味は

ボタンイラストについて

▲▼◀▶

など

この説明書に記載しているボタンのイラストは、操作に使用するボタンを示しています。

カーソルについて

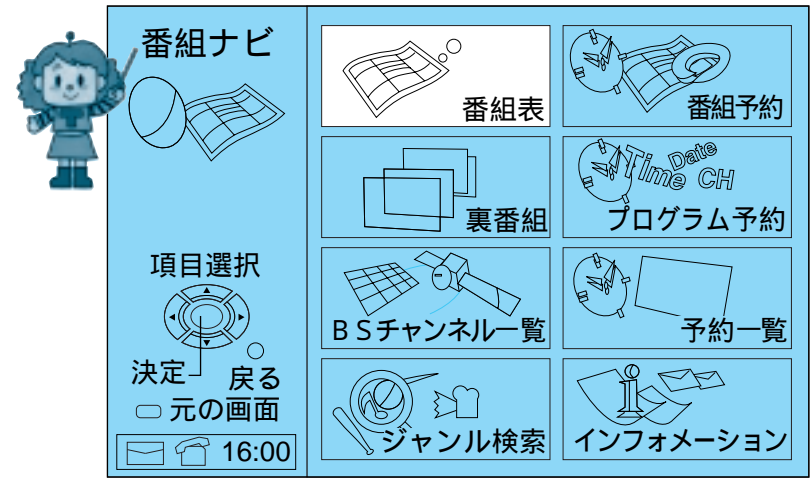
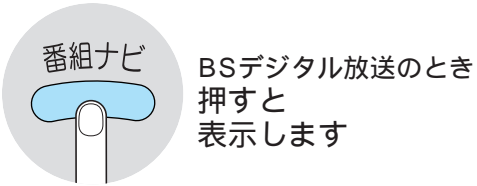
カーソル

例「BSデジタル設定」画面の場合

この説明書に記載しているカーソルとは、▲▼または◀▶ボタンを押したときに、画面上でどの項目が選ばれているかを示すものです。

番組ナビ画面について

番組ナビ画面は、BSデジタルの各機能を操作する入り口です。
（番組表はリモコンボタンでも直接呼び出せます）

番組ナビ

BSデジタル放送のとき
押すと
表示します

「番組ナビ画面」

■番組表（☞10ページ）
BSデジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。

■裏番組（☞15ページ）
現在視聴しているBSデジタル番組の画面上に、放送中のBSチャンネルの番組タイトルが一覧表示されます。

■BSチャンネル一覧（☞14ページ）
BSデジタル放送のチャンネルを一覧にして表示します。

■ジャンル検索（☞16ページ）
お好きな番組をジャンル別に検索して選局ができます。

■番組予約（☞20ページ）
番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。

■プログラム予約（☞30ページ）
日時を指定して予約ができます。

■予約一覧（☞34ページ）
予約した番組の確認、変更、取り消しができます。

■インフォメーション（☞7ページ）

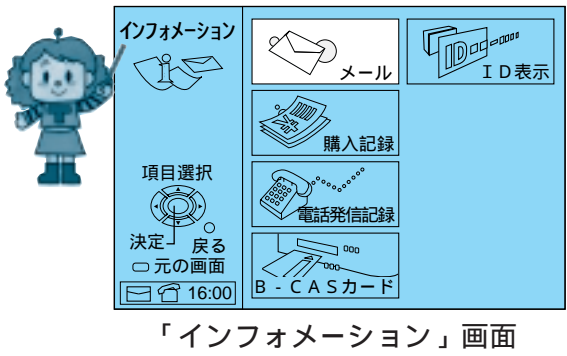
お知らせ
● BSデジタル放送を録画実行中（☞20ページ）のとき、番組ナビは表示しません。

インフォメーション画面について

BSデジタル放送では、電話回線や、B-CASカードによる有料番組の購入など、情報の管理が必要です。インフォメーション画面は、これらの情報を管理する機能の入り口です。

1 前ページの操作で「番組ナビ」画面にし、

2 押して、「インフォメーション」を選び
押す

「インフォメーション」画面

■メール（☞45ページ）
BSデジタル放送受信者（お客様）へ送られてきたメッセージを見ることができます。

■購入記録（☞19ページ）
購入した有料番組の金額の履歴を確認することができます。

■電話発信記録（☞44ページ）
本機からセンターへの発信記録を確認することができます。

■B-CASカード
B-CASカードの情報が表示されます。

■ID表示
本機の情報が表示されます。

BSデジタル番組の楽しみかた

1

押して、
本機の電源を入れる

2 番組を選ぶ

あらかじめ設定されているチャンネルを選局する場合

プリセット選局
本機では、あらかじめ 1 ～ 10 ボタンに下記のチャンネルが設定されています。

例：NHK1
を選局する場合

1 … NHK1（NHK BS1） 6 … BS-i
2 … NHK2（NHK BS2） 7 … BSJ（BSジャパン）
3 … NHKh（NHK ハイビジョン） 8 … BSフジ
4 … BS日テレ 9 … WOW（WOWOW）
5 … BS朝日 10 … スター（スターチャンネル）

※放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

番組やチャンネルのその他の選びかた

■番号入力選局（☞B編：27ページ）
（チャンネル番号を入力して選局できます。）
■アップダウン選局（☞B編：27ページ）
（チャンネルを順送りして選局できます。）
■番組表（☞10ページ）
（番組表を見ながら選局できます。）
■番組予約（☞20ページ）
（番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。）
■BSチャンネル一覧（☞14ページ）
（BSチャンネルの一覧から選局できます。）
■裏番組（☞15ページ）
（現在、放送されている番組の一覧から選局できます。）
■ジャンル検索（☞16ページ）
（好きなジャンルの番組を検索し、選局や予約ができます。）

3 番組を楽しむ（視聴する）

無料の番組や**契約済み**の番組（追加料金のかからないもの）を選んだとき

（例）

……………そのまま楽しむことができます。

ペイ・パー・ビューなどの※
有料番組や**追加料金**が必要な番組を選んだとき

（例）

……………購入の画面が表示されます。
番組の購入については18ページをご覧ください。

予約しておきたい番組を選んだとき
（現在時刻以降の番組）

（例）

……………予約の画面が表示されます。
予約の方法については20ページをご覧ください。

予約の内容を**変更**したい番組を選んだとき（現在時刻以降の予約済み番組）

（例）

……………予約変更の画面が表示されます。
予約の変更については22ページの「予約済みの番組を選んだ場合」をご覧ください。

視聴制限対象になる番組を選んだとき

（例）

……………暗証番号の入力画面が表示されます。
暗証番号を入力しないと、この番組は視聴できません。視聴制限の解除方法は35ページ、視聴制限の設定は36～39ページをご覧ください。

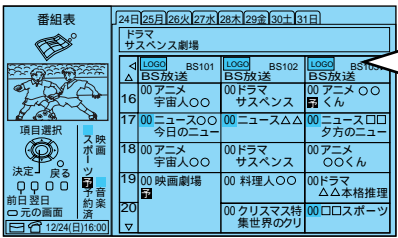
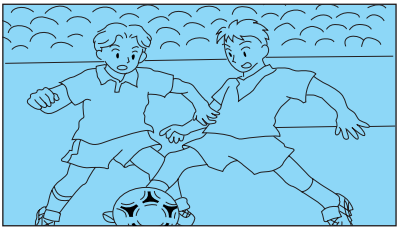
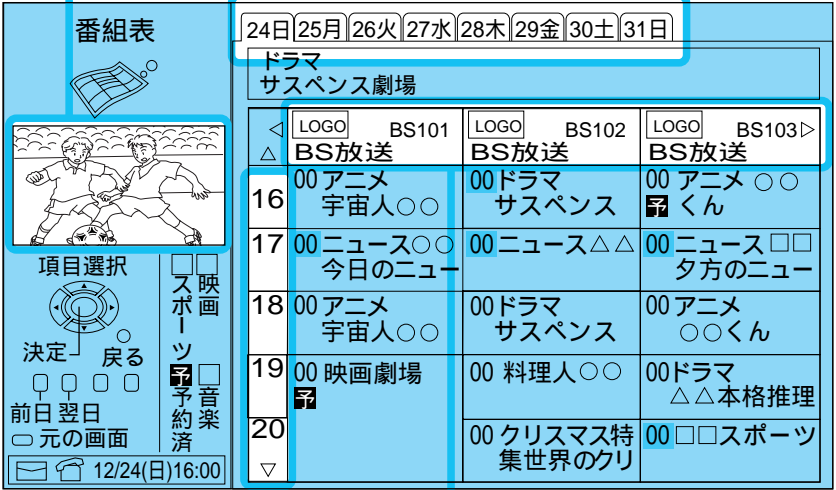
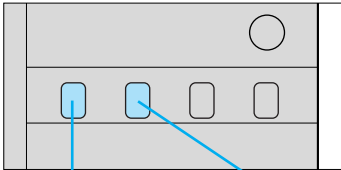
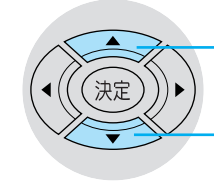
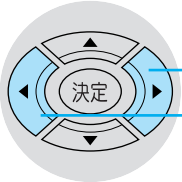
お知らせ

●番組表は、BSデジタル放送を選局しているときに表示できます。
●BSチャンネル設定（☞C編：40ページ）で、プリセット設定を変更することもできます。

お知らせ

●チャンネルにより契約をしないと視聴できないものがあります。
また、番組により無料で視聴できる番組と有料番組があります。
※ペイ・パー・ビューとは……ご覧になった番組の分だけ料金を支払うシステムです。

番組表を表示する

本機はBSデジタル各放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。

お知らせ

- 子画面は、BSデジタル放送がご覧になれます。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- BSデジタル放送を録画実行中（☞20ページ）のとき、番組表は表示しません。

お知らせ

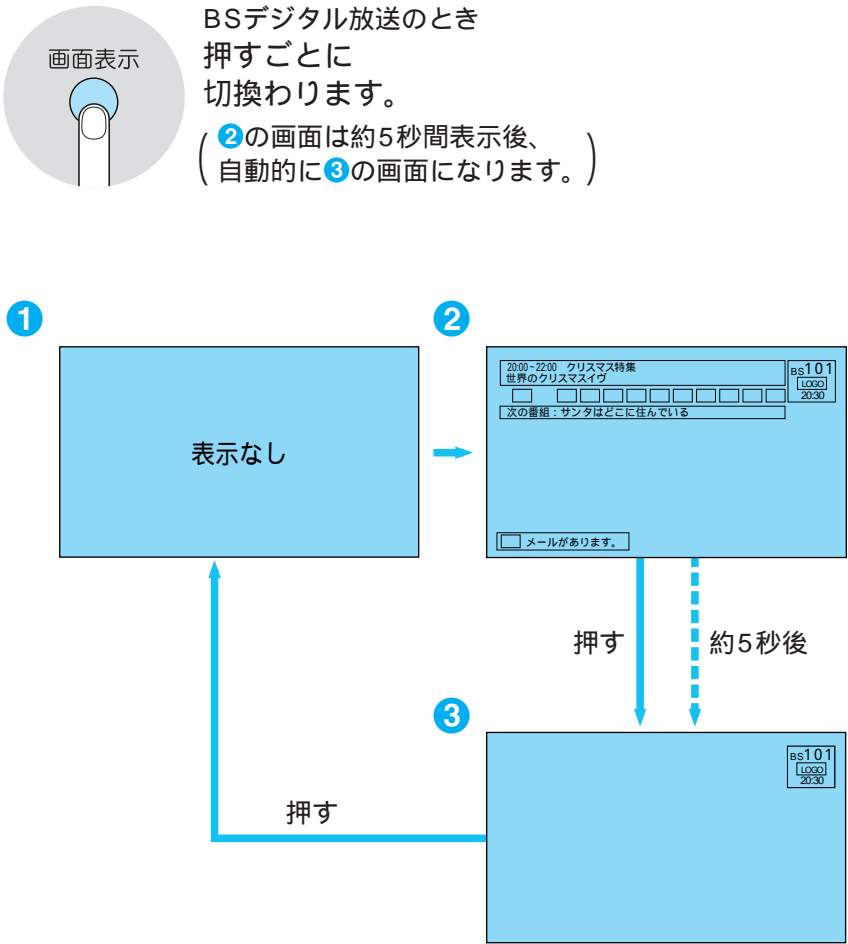
- 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- BSデジタルの 1 ～ 10 ボタンを押すと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、チャンネル番号入力ボタンを押して 1 ～ 10 ボタンでチャンネル番号を入力すると、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。（☞40ページ）

見ている番組のタイトルなどを表示する

本機はBSデジタル各放送局の番組データーを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。

画面表示

BSデジタル放送のとき押すごとに切換わります。

（❷の画面は約5秒間表示後、自動的に❸の画面になります。）

■**チャンネル切換えをすると**

下の画面が表示されます。

20:00~22:00 クリスマス特集 世界のクリスマスイヴ BS101 次の番組：サンタはどこに住んでいる

お知らせ

- 現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。
- BSデジタル放送を録画実行中（☞20ページ）のときは表示内容が変わります。
- 「次の番組：」の表示は番組開始の3分前に表示されます。

番組の詳細内容を表示する

選局中の番組や番組表、各種検索結果一覧などで選んでいる番組の詳しい内容を知ることができます。

❶ 次のいずれかの状態にする。

■**BSデジタル放送の視聴中**

■**番組表表示中**

■**裏番組一覧表示中**

■**各検索結果一覧表示中**

■**予約一覧表示中**
（プログラム予約は除く）

■**番組予約表示中**

例 番組表表示中の場合

❷ 番組内容 **押す**

例 番組表表示中の番組内容表示

スクロールバー　番組の詳細情報が表示されます

■**戻りかた**

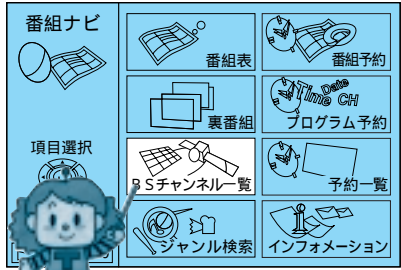
元の画面 押すと テレビ画面に戻る

お知らせ

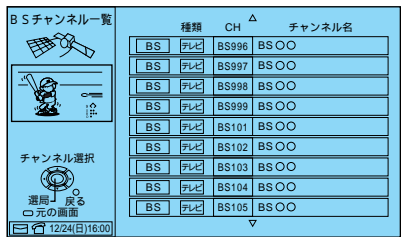
- 「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象になる番組を選んだときは暗証番号の入力が必要です。（☞35ページ）暗証番号入力後は、再度 番組内容 ボタンを押してください。
- スクロールバーについて
「番組内容」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は 決定 で字送り（スクロール）してご覧になれます。
- BSデジタル放送を録画実行中（☞20ページ）のとき、番組内容は表示しません。

BSチャンネル一覧から選局する

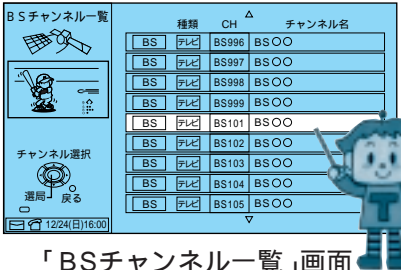
1

BSデジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

「番組ナビ」画面

押して、「BSチャンネル一覧」を選び押す

種類		CH	チャンネル名
BS	テレビ	BS996	BS○○
BS	テレビ	BS997	BS○○
BS	テレビ	BS998	BS○○
BS	テレビ	BS999	BS○○
BS	テレビ	BS101	BS○○
BS	テレビ	BS102	BS○○
BS	テレビ	BS103	BS○○
BS	テレビ	BS104	BS○○
BS	テレビ	BS105	BS○○

「BSチャンネル一覧」画面

2

押して、見たい番組を選び押す

「BSチャンネル一覧」画面

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき
（☞18ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき
（☞35ページ）

■戻りかた

元の画面 押すと テレビ画面に戻る

お知らせ

●基本的な選局方法についてはB編：26ページをご覧ください。

裏番組一覧表から選局する

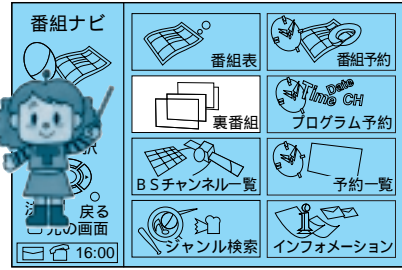
1

BSデジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

「番組ナビ」画面

押して、「裏番組」を選び押す

裏番組　番組選択　決定　戻る　19:00

BS101	~20:00	スポーツ番組
BS102	~20:00	映画番組
BS103	~20:00	ニュース番組
BS141	~20:00	ミュージック番組
BS151	~20:00	スポーツ特集番組
BS161	~20:00	情報番組
BS171	~20:00	ドラマ

「裏番組」一覧画面

（見ている番組の画面上に、現在他局で放送されている各BSチャンネルの番組名（裏番組）を一覧表示します。）

2

押して、見たい番組を選び押す

裏番組　番組選択　決定　戻る　19:00

BS101	~20:00	スポーツ番組
BS102	~20:00	映画番組
BS103	~20:00	ニュース番組
BS141	~20:00	ミュージック番組
	~20:00	スポーツ特集番組
	~20:00	情報番組
171	~20:00	ドラマ

「裏番組」一覧画面

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき
（☞18ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき
（☞35ページ）

■戻りかた

元の画面 押すと テレビ画面に戻る

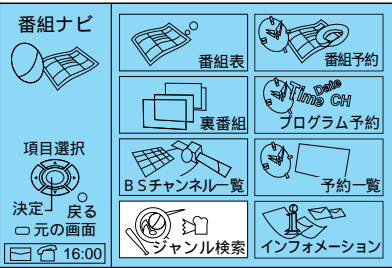
お知らせ

●基本的な選局方法についてはB編：26ページをご覧ください。

番組をジャンル別に検索する

番組のジャンル別情報を、一覧表として画面表示します。
このジャンル検索結果一覧からお好みの番組を検索し、選局や予約ができます。

1

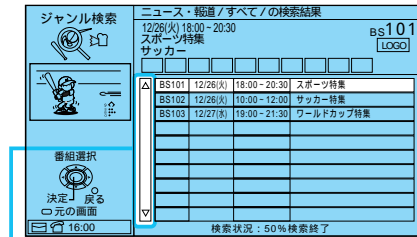
BSデジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

「番組ナビ」画面

押して、「ジャンル検索」を選び押す

2

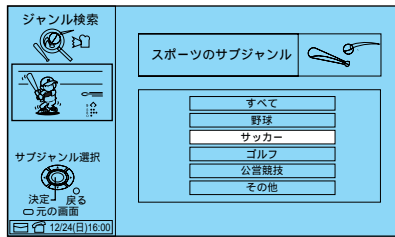
押して、お好みのジャンルを選び押す

この中からお好みのジャンルを選ぶ

例「ニュース・報道」を選んだとき

「ジャンル検索結果」一覧画面

スクロールバー

手順2で「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだときは、さらに細かいサブジャンル一覧が出ます。

例 スポーツを選んだとき

「サブジャンル」画面

さらに、押して「サブジャンル」から、お好みのスポーツを選び押す

3

押して、見たい番組を選び押す

「ジャンル検索結果」一覧画面

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 現在放送中の番組を選んだとき →その放送に切換わります。
- 将来の番組を選んだとき (☞20ページ 手順4より)
- 有料番組を選んだとき (☞18ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (☞35ページ)

■戻りかた

- 戻る 押すと1つ前の画面に戻る
- 元の画面 押すとテレビ画面に戻る

お知らせ

スクロールバーについて
「検索結果」の件数が多く、1ページを超えているときに表示します。
隠れている内容は 決定 で字送り（スクロール）してご覧になれます。

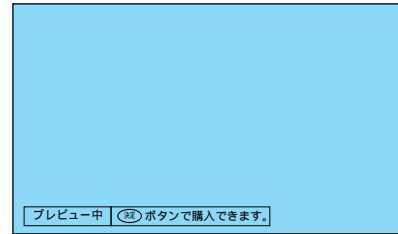
お知らせ

- 「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。
- 検索が終了すると、「検索状況：100%検索完了」と表示されます。ジャンルによっては検索に時間がかかる場合があります。（検索途中でも、既に表示されている番組の選局や予約は可能です。）

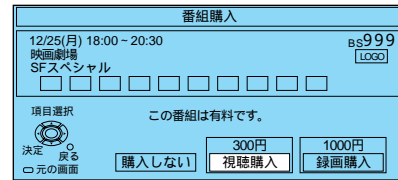
有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入する

BSデジタル放送には無料と有料のものがあります。無料チャンネルと契約済みチャンネルについては選局操作をするだけで視聴できます。
またペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴や録画したいときには、表示画面上での購入操作が必要です。

1 ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

- 番組によってはプレビュー(選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと)が表示されます。
- プレビュー中のときは 決定 を押すと購入画面が表示されます。

2

購入する、視聴購入、録画購入、購入しない の項目を選び

押す

購 入 す る
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画機器で録画できません。

購入しない
番組を購入しないことですから見ることはできません。他のチャンネルを選局してください。

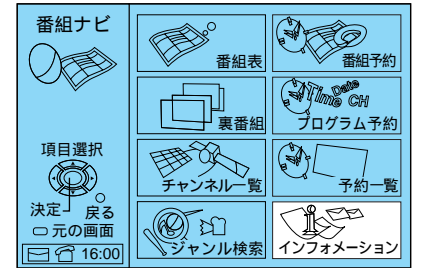
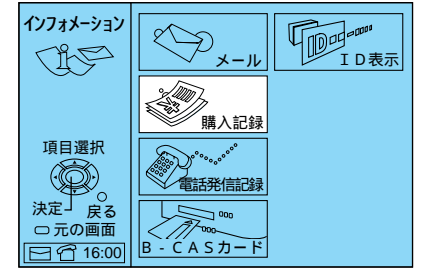
追加料金を支払うと、視聴できる場合や録画機器で録画できる場合に次の項目が表示されます。

視 聴 購 入
番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているため録画機器では録画できません。

録 画 購 入
番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画したいときに選択してください。

購入記録を確認する

お客様が購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴(最新のもの25番組まで)を確認することができます。また購入した累計金額の確認や、累計金額のリセット(0円に戻す)もできます。累計金額がリセットされた項目はうすい文字で表示されます。

1 番組ナビ 押す
インフォメーション を選び、押す

2 購入記録 を選び、押す

3 元の画面 押す(確認終了)

- 「購入記録」画面が消えます。

コピーガードについて
BSデジタル放送の中には、ビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。
コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。
コピーガードを解除できない番組の場合は 録画購入 の選択項目が表示されません。

お知らせ
- 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は35ページをご覧ください。
- 購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。

お願い
累計金額をリセットしたいときには、12# ボタンを押しリセット確認画面を表示させてください。リセット確認画面では◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押すと、累計金額を0円に戻すことができます。0円に戻した時点から新しく購入される分より累計金額として加算されていきます。(購入した有料番組の履歴は消すことができません。)

お知らせ
- 表示されている金額は途中で改定される場合もあり参考金額です。実際に請求される金額とは異なる場合があります。

番組を予約する

番組予約、ジャンル検索結果一覧表から現在時刻以降に放送開始の番組を選んで予約することができます。また、Irシステムやi.LINK接続をしたビデオデッキなどに録画予約の設定も行えます。（☞24ページ）

予約操作の流れ

「番組予約」画面から予約する場合

1 BSデジタル放送のとき押す

2 番組予約を選び、押す

3 現在時刻以降に放送開始の番組を選び、押す

4 予約方式を選び、録画、視聴を切換える

（例）　詳細な設定も行えます。

5 予約するを選び、押す

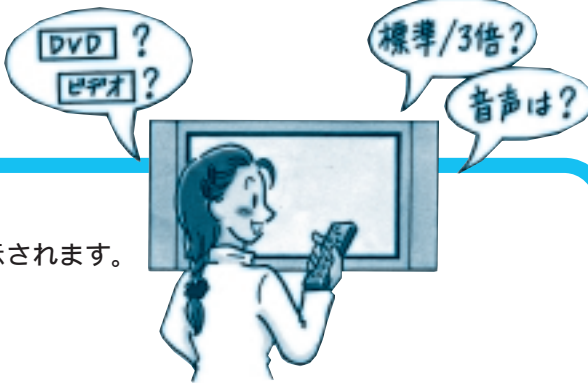
（例）

「予約完了」画面が数秒間表示されます。

■予約を中止したいときは
手順4で「予約しない」を選び 決定 を押す。（3の画面に戻ります。）

■終了するときは
元の画面 ボタンでBSデジタル放送の画面に戻ります。

予約の状況によっては

番組を予約しようとしたとき、状況によって別の画面が表示されます。
- 予約済みの番組を選んだ場合（☞22ページ）
- 予約ができない場合（☞23ページ）
- 予約がいっぱいの場合（☞23ページ）

録画 について

- 録画したいときは、「録画」を選択してください。また、必要に応じて下記の「録画機器」などの詳細な設定を行ってください。ただし、コピーガードが解除できない番組の場合は正しく録画することができません。
- 有料番組の場合、お客様がビデオデッキなどに録画されていなくても料金が請求されます。

視聴 について

- 本機の電源をオン（受像）にしておけば予約開始時刻の約30秒前に予約実行の予告画面が表示され、5秒前に番組が切換わります。パソコン画面のときは予告せず、予約時間になればBSデジタルのチャンネルに切換わります。予約開始時刻前には電源をオン（受像）にしておいてください。

詳細な設定を行う場合

予約設定では、次の詳細な設定ができます。
- 録画機器…予約録画する場合にどの録画機器で録画するかを設定します。（☞24ページ）
- 録画モード…標準、3倍などの録画機器側の録画時間を設定します。（☞25ページ）
- 時間変更追従…番組の時間変更に追従して予約を実行するかを設定します。（☞25ページ）
- 信号設定…予約実行時の「マルチビュー」、「映像」、「音声」、「二重音声」、「データ」の信号設定を行います。「信号設定」を選び 決定 を押すと、設定画面が表示されます。（☞26ページ）
- その他の設定…上記の他に設定できる項目があります。「その他の設定」を選び 決定 を押すと、設定画面が表示されます。（☞27ページ）
- プログラム予約へ…日時を指定して予約を設定するプログラム予約を行います。「プログラム予約へ」を選び、決定 を押すと設定画面が表示されます。（☞30ページ）

予約したあとは （☞28ページ）

- 予約が重なっている場合（☞23ページ）

お知らせ
- 「予約設定」画面に表示される金額は、購入合計金額です。無料の場合は表示されません。
- 予約設定中は 戻る ボタンで予約操作を中止し、前の画面に戻ることができます。
- 視聴制限の対象になる番組を選んだときには暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は35ページをご覧ください。

お願い
- 「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」にした場合、手順5で「予約する」を選ぶとリモコン信号の送信確認の画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
- 番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、番組の開始時刻から予約が実行できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前には予約設定を終了してください。

番組を予約する（つづき）

予約済みの番組を選んだ場合

すでに予約した番組を選んだ場合、予約の変更や取り消しができる「予約修正」画面が表示されます。

1 変更したい項目を選び、設定を変更する

● 設定変更については、24～27ページの「予約の詳細な設定」をご覧ください。

2 修正する 、または 修正しない 、予約取消し のいずれかを選び、押す

元の画面に戻ります。

修正する を選ぶと

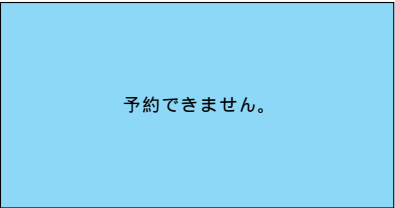
● すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更された状態で予約します。ただし、本機からはIrシステムを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の変更はできません。録画機器側で変更操作をしてください。

修正しない を選ぶと

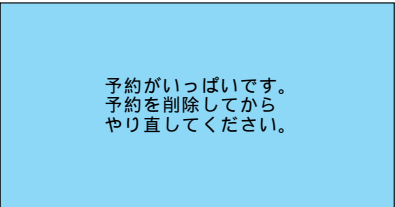
● 予約の修正を行わずに前の画面に戻ります。

予約ができない場合

契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合に右のような画面が表示され、番組の予約はできません。
また、番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前には予約設定を終了してください。

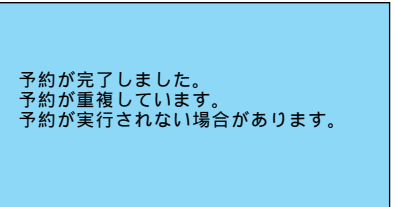
予約できません。

予約がいっぱいの場合

予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約しようとすると右のような画面が表示されます。

予約がいっぱいです。
予約を削除してから
やり直してください。

● 「予約一覧」画面で予約を削除してから、もう一度予約してください。（☞34ページ）

予約が重なっている場合

すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約したときは、右のような画面が表示されます。

予約が完了しました。
予約が重複しています。
予約が実行されない場合があります。

● 重なった予約を削除したい場合は、「予約一覧」画面で予約を削除してください。（☞34ページ）

お願い

● 予約実行開始の約2分前からは、予約の設定を変更しないでください。
予約が正しく実行されない場合があります。

お知らせ

● 予約を取消したい場合は、「予約一覧」画面で予約の取消しができます。（☞34ページ）

お知らせ

● 予約が重なった場合の予約実行には、優先順位があります。29ページをご覧ください。

番組を予約する（つづき）

予約の詳細な設定

録画機器について

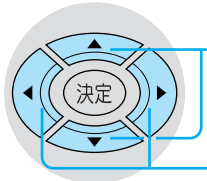
Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合、どの録画機器で録画するかを設定します。

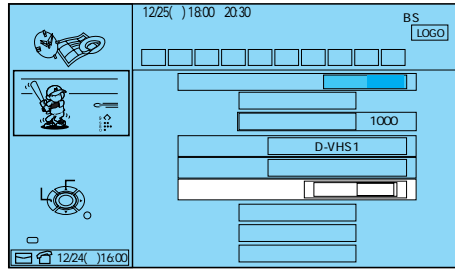
「録画機器」を選び、

設定を変更する

D-VHS＊	……i.LINK接続のD-VHSビデオデッキで録画する場合に設定します。（末尾の＊印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。）
HDR＊	……i.LINK接続のハードディスクビデオレコーダーで録画する場合に設定します。（末尾の＊印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。）
ビデオ（タイマー予約）	…Irシステムを使用してビデオデッキに、タイマー予約で録画する場合に設定します。
ビデオ（連動予約）	……Irシステムを使用してビデオデッキに、連動予約で録画する場合に設定します。
DVDレコーダー（連動予約）	…Irシステムを使用してDVDレコーダーに、連動予約で録画する場合に設定します。
ーー	……Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器の場合に設定します。 録画機器側の録画予約の設定は、録画機器側で設定してください。

録画モードについて

Irシステムを使用してタイマー予約で録画予約する場合やi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の録画モードの設定を行います。

「録画モード」を選び、

設定を変更する

自動	……デジタルハイビジョン放送を録画時は「HS」で記録し、デジタル標準テレビ放送は「STD」で記録をします。 ただし、デジタル標準テレビ放送の場合でも、放送局側の設定情報により「HS」で記録される場合もあります。 また、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。
標準 3倍 5倍	……各録画時間でアナログ録画します。
標3	……「標準」でアナログ録画を開始し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切換わります。
ーー	……設定できない状態。

時間変更追従について

番組の時間変更に追従して予約を実行するかしないかを設定します。
（☞33ページ）

「時間変更追従」を選び、

設定を変更する

する	…時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」にしたタイマー予約の時間変更はできません。ビデオデッキ側で時間変更の操作を行ってください。
しない	…予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定時間内に番組が始まらない場合は予約が実行されません。

お知らせ

- 「連動予約」、「タイマー予約」については29ページをご覧ください。
- 「ビデオ（タイマー予約）」、「ビデオ（連動予約）」、「DVDレコーダー（連動予約）」の項目は、Irシステムの設定を行わなければ表示されません。（☞C編：60ページ）
  また、「ビデオ（タイマー予約）」はIrシステムの設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」に設定したときのみ表示されます。（☞C編：60、61ページ）
- 「D-VHS」、「HDR」の項目は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定しなければ表示されません。
  （☞60、61ページ）

録画モードについて

- 「録画機器」の設定が「D-VHS」の場合は、「標3」に設定できません。
- 「録画機器」の設定が「ビデオ（タイマー予約）」の場合は、「自動」に設定できません。
- 設定した録画モードの機能のない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードでアナログ録画されます。ただし、「ビデオ（タイマー予約）」で「5倍」に対応していない録画機器の場合は「標準」で録画されます。

番組を予約する（つづき）

予約の詳細な設定（つづき）

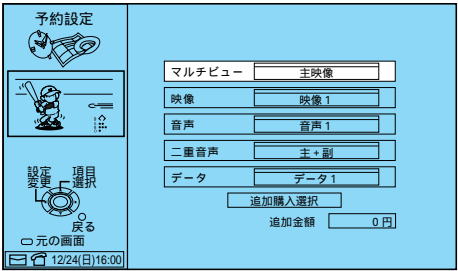
信号設定について

予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。また、追加購入が必要な信号の選択もできます。

1 まず、20ページの1～4の手順で「信号設定」を選び 決定 を押す

2

項目を選び

設定を変更する

マルチビュー…番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像………映像が複数ある場合に映像を設定します。

音声………音声が複数ある場合に音声を設定します。

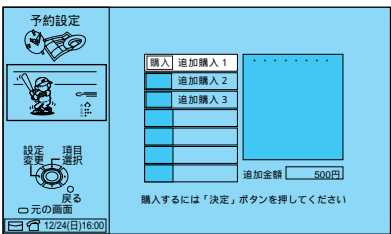
二重音声…二重音声の場合に「自動」、「主」、「副」、「主＋副」を設定します。「自動」に設定すると予約方式が「視聴」の場合、予約時に設定されている二重音声の設定になり、「録画」の場合、「主＋副」の設定になります。

データ……データが複数ある場合にデータを設定します。「－－」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示にしたがいデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は、「－－」以外を選択してください。

追加購入選択について

番組の中に購入が必要な信号がある場合、▲▼ ボタンで「追加購入選択」を選び、決定 ボタンを押すと表示される「追加購入選択」画面で信号を購入設定できます。

購入したい信号を選び、

押す

- 購入選択した信号には 購入 アイコンが表示されます。
- 購入を取消したいときは、再度 決定 ボタンを押してください。
- 購入選択を終る場合は 戻る ボタンを押してください。

3 戻る 押す（設定終了）

- 「予約設定」画面に戻ります。

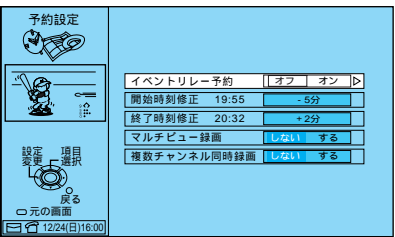
その他の設定について

信号設定などの他にも設定できる内容があります。

1 まず、20ページの1～4の手順で「その他の設定」を選び 決定 を押す

2

項目を選び

設定を変更する

イベントリレー予約…予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に続けて予約を実行したいときは「オン」に設定します。

開始時刻修正……予約を実行する時間が番組の開始時刻の1分前まで修正できます。

終了時刻修正……予約を終了する時間が番組の終了時刻の1分後まで修正できます。

マルチビュー録画…予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいときは「オン」に設定します。i.LINK接続の機器にデジタル録画予約する場合に設定できます。

3

押す（設定終了）

- 「予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- i.LINK接続を使用してD-VHSビデオデッキでデジタル録画する場合は、録画する信号の優先順位の設定になります。信号によっては、自動的に複数の信号を録画する場合もあります。
- 「プログラム予約」からは「信号設定」は設定できません。

お知らせ

- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合、「イベントリレー予約」、「開始時刻修正」、「終了時刻修正」の項目は表示されません。

番組を予約する（つづき）

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。
- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画をされていなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。「時間変更追従」の設定を「する」にすると、最大3時間までに確定した時間変更に対応できます。（☞32、33ページ参照）
- 「BSアンテナ設定」画面と「受信設定」画面を表示中に予約が始まると予約が無効になります。

録画 を選んだ場合

- 「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。また、D-VHSビデオデッキでは、デジタルコピーガードによってi.LINKでのデータ出力がされない番組の場合、アナログ録画になります。
- Irシステムを使用して録画機器に予約録画（連動予約、タイマー予約）する場合は下記の点にご留意ください。（連動予約、タイマー予約については29ページ参照）
  1. 連動予約の場合、録画機器の電源は「切」にし、予約録画の待機状態にはしないでください。タイマー予約の場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
  2. 連動予約を設定している場合は、録画機器の入力を本機に接続した入力に切換えてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
  3. 連動予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。
- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。
- 予約録画実行中にi.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。予約が終了してもi.LINK接続を使用した録画機器の録画停止ができません。
- 予約録画の実行中は、番組ナビや番組表などの一部の機能が使用できなくなります。これらの機能を操作すると画面に予約録画を中止してもよいかの確認画面が表示されます。予約録画を中止する場合は画面の説明に従って操作してください。

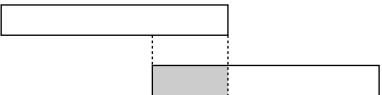
視聴 を選んだ場合

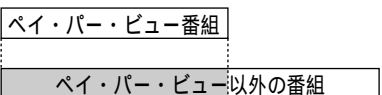
- 予約した番組が始まる20～30秒前には本機の電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフ（機能待機）にしていると予約が無効になります。

予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約の優先順位

❶放送開始時間の早い番組を優先
部分：録画しません

❷開始時刻が同じ場合
ペイ・パー・ビュー番組を優先
部分：録画しません

ペイ・パー・ビュー番組
ペイ・パー・ビュー以外の番組

※ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー以外の番組同士の場合はチャンネル番号の小さい番組を優先します。

お知らせ
- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- 一度開始した予約動作を中止して他の予約を実行することはありません。
- 予約が重なった場合、先に始まる予約が優先され、録画終了後次の予約を録画します。
- チャンネルが異なる番組を時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了（最後の約5秒間が録画されない）します。

連動予約とタイマー予約について

本機はIrシステムを使用して録画機器へ録画予約の設定が行えます。
Irシステムを使用した録画機器への録画予約の設定には「連動予約」と「タイマー予約」の2種類があります。

連動予約とは

予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ録画開始と終了のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式のことです。予約実行前には録画機器の入力を本機に接続した入力に切換え、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください。（予約録画の待機状態にはしないでください。）
- 「時間変更追従」の設定を「する」にすると番組の開始時間が変更になっても最大3時間まで追従できます。また、録画機器への連動予約も自動的に変更されます。

タイマー予約とは

本機で番組を予約した時点で、本機と接続した録画機器にタイマー予約のリモコン信号を自動的に送信する方式で、録画機器は予約録画の待機状態になります。予約実行時には、自動的に録画機器は設定した外部入力、録画モードで録画を行います。（連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力切換えやテープ速度を都度設定する必要はありません。）
- タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付録画機器で、「Irシステム設定」（☞C編60ページ）の「メーカー」設定が「松下」のとき、「リモコン種別」が「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」のものに対応できます。（「ビデオ4」「ビデオ5」には対応できません。）
- 「時間変更追従」の設定を「する」にしている場合、予約の時間変更があったときは、本機側でビデオデッキのタイマー予約の変更はできません。直接、ビデオデッキ側で変更してください。（☞33ページ）
- 深夜放送の番組や24時間番組などで日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- 予約実行前には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- タイマー予約後の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みください。

日時を指定して予約する

本機は番組ごとに予約する機能の他に、日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。また、毎週放送される連続ドラマなど曜日を指定して毎週予約を実行することもできます。

予約操作の流れ

（例）103チャンネルの1月1日12：00～14：00に予約設定する場合

1
BSデジタル放送のとき押す

2
プログラム予約 を選び、押す

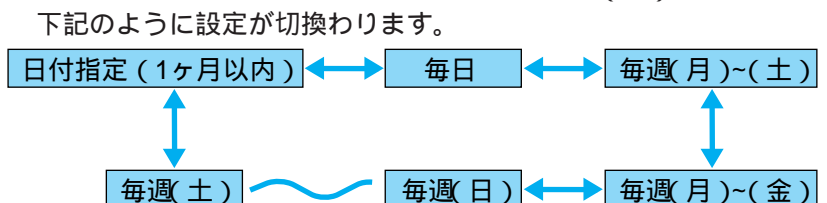
3
予約チャンネル を選び、予約したいチャンネルを選ぶ

103チャンネルの場合

● 決定 ボタンを押せば、1～10 ボタンで時間を設定することもできます。
（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

4
曜日/日 を選び、予約する日を選ぶ

1/1（月）の場合

下記のように設定が切換わります。

5
開始時刻 を選び、予約を開始する時間を選ぶ

12：00の場合

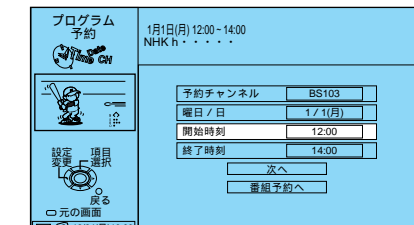
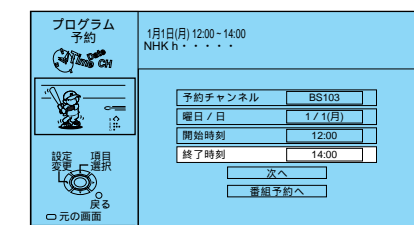
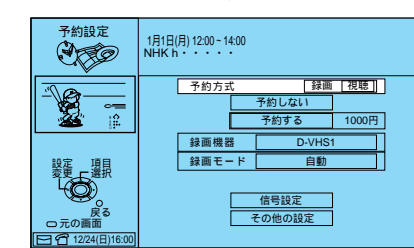
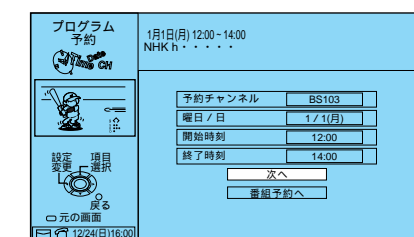
● 決定 ボタンを押せば、数字ボタンで時間を設定することもできます。
（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

6
終了時刻 を選び、予約を終了する時間を選ぶ

14：00の場合

● 決定 ボタンを押せば、数字ボタンで時間を設定することもできます。
（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

7
次へ を選び、押す

「予約設定」画面が表示されますので、続けて20ページ手順4から予約設定を行ってください。

20ページの手順4へ

お知らせ

●「曜日/日」の設定は赤ボタンと青ボタンで「日付指定」「毎日」、「毎週（日）」の設定値へ移動できます。
「プログラム予約」を選ぶと…
● 暗証番号が未登録の場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
● 視聴年齢制限を設定している場合、暗証番号の入力画面が表示されます。
● 暗証番号については（☞35～39ページ）。
● 暗証番号を入力せずに、数秒経過すると暗証番号登録画面または暗証番号入力画面が消えます。
この場合に続けてプログラム予約を設定すると予約実行時に視聴制限のある番組は視聴・録画ができなくなります。

お知らせ

● 番組を選んで予約を設定したい場合は、ボタンで「番組予約へ」を選び、決定 ボタンを押してください。
20ページの手順3の「番組予約」画面が表示されます。

予約の事前設定

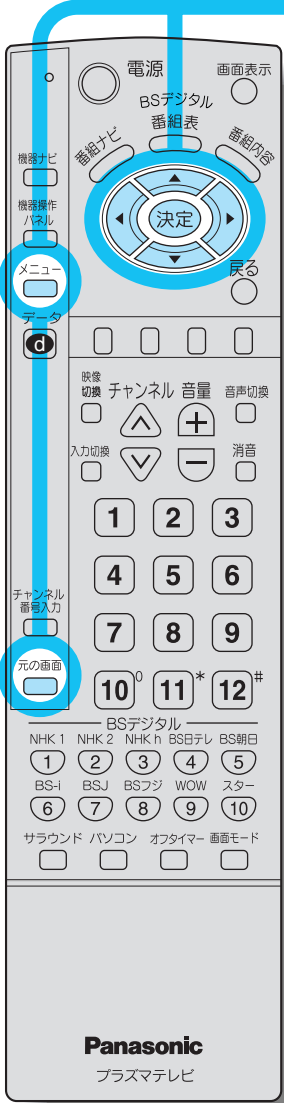
「録画・視聴設定」画面では、Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の事前設定ができます。

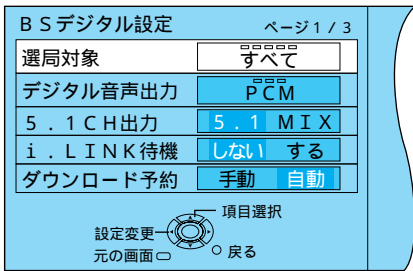
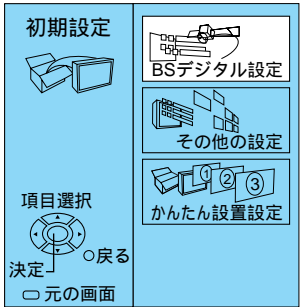
1

押して、「メニュー」画面にし、

押して、「初期設定」を選び、押す

「メニュー」画面

2

押して、「BSデジタル設定」を選び押す

BSデジタル設定	ページ1／3
選局対象	すべて
デジタル音声出力	PCM
5.1CH出力	5.1 MIX
i.LINK待機	しない する
ダウンロード予約	手動 自動

「BSデジタル設定」画面

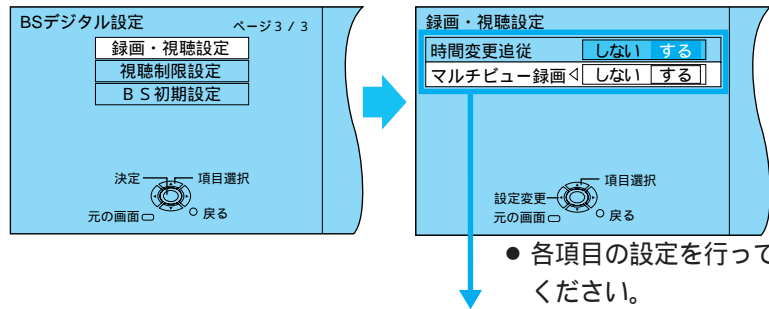
●「BSデジタル設定」画面は3ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

3

ページ3／3の 録画・視聴設定 を選び、押す

● 各項目の設定を行ってください。

4

押す（設定終了）

●「録画・視聴設定」画面が消えます。

時間変更追従

予約した番組で放送時間の変更が確定した場合に、時間変更に合わせて予約を実行する設定ができます。最大で3時間の遅れに対応できます。

する、しない を選び、設定を切換える

する…時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」にしたタイマー予約の時間変更はできません。ビデオデッキ側で時間変更の操作を行ってください。

しない…予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定時間内に番組が始まらない場合は予約は実行されません。

マルチビュー録画

i.LINK接続機器でデジタル録画する場合、予約した番組がマルチビュー放送の番組のときに、副番組も同時に録画する設定ができます。

オン、オフ を選び、設定を切換える

オン…予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。ただし、i.LINK接続機器で録画の場合に有効です。

オフ…予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

お知らせ

●「連動予約」「タイマー予約」については、29ページをご覧ください。
● IrシステムについてはC編：53、60ページ、i.LINK接続についても60ページ、C編：54ページをご覧ください。

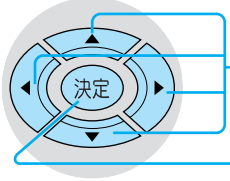
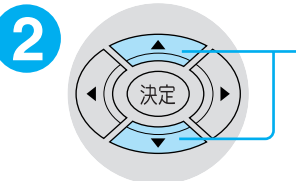
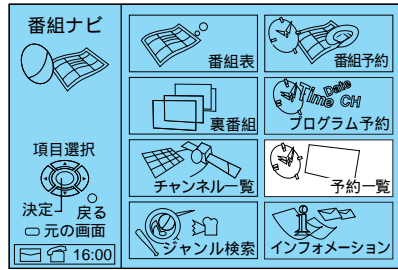
予約の確認、変更、取消しをする

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取消しや、予約が実行された番組の確認ができます。

1

BSデジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

予約一覧を選び、押す

2

一覧表の中に黄色表示の△▽マークがあれば、表示送りをして、予約番組の確認をする

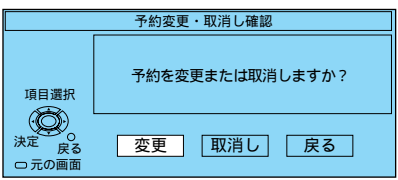
（例）

予約の変更、取消しをしたいとき

ボタンで変更または取消したい予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

予約変更・取消し確認

予約を変更または取消しますか？

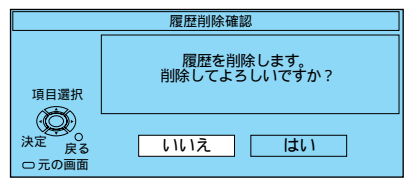
変更　取消し　戻る

- 予約を変更したい場合は、「変更」を選んでください。「予約変更」画面（☞22ページ）または「プログラム予約」画面（☞30ページ）が表示されます。
- 予約を取消したい場合は、「取消し」を選んでください。
- 「戻る」を選べば、「予約一覧」画面に戻ります。

実行済みの予約の履歴を消したいとき

ボタンで予約実行済みの予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

履歴削除確認

履歴を削除します。削除してよろしいですか？

いいえ　はい

- 予約の履歴を消したいときは「はい」を選んでください。
- 「いいえ」を選べば「予約一覧」画面に戻ります。

3

押す（確認終了）

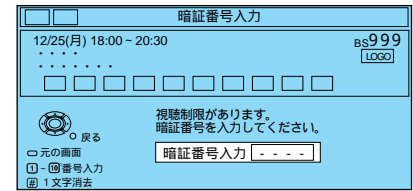
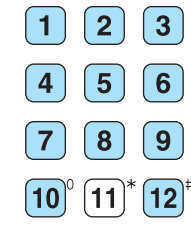
- 「予約一覧」画面が消えます。

お知らせ

- 8件を超える予約内容は▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。
- 「予約一覧」画面で灰色で表示されている内容は、実行済の予約履歴です。

視聴制限を一時的に解除したいとき

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

選局した番組がお客様の設定された制約（視聴可能年齢／一番組限度額）の対象になる場合には、「暗証番号入力」画面が表示されます。

リモコンの 1 ～ 10 ボタンで暗証番号（4桁）を入力すると、視聴制限が一時解除できます。（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

視聴制限を一時解除すると、本機の電源をオフ（または機能待機）にするまで解除状態が続きます。
ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

お願い

- 暗証番号を間違えると再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認のうえ入力してください。

お知らせ

- 12 ボタンを押すと最後の桁を取り消すことができます。
- 視聴制限の設定は（☞38ページ）。
- 暗証番号が未登録の場合は（☞36～38ページ）。

暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出し方

●「BSデジタル設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力（登録）する

（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

初めて暗証番号を登録する場合

「暗証番号登録」画面

- 画面の説明に従って、同じ暗証番号（4桁）を2回入力してください。
- 暗証番号は忘れないでください。メモをしておくことも1つの方法です。

すでに暗証番号が登録されている場合

- 暗証番号を登録している場合は、「暗証番号入力」画面が表示されます。
暗証番号（4桁）を入力してください。

「視聴制限設定」画面

■番組により視聴可能年齢を制限する設定ができます。（☞38ページ）

■有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入するとき、一番組あたりの購入限度額を制限する設定ができます。（☞38ページ）

■必要により暗証番号の変更が可能です。（☞39ページ）

■暗証番号を取消しすることで、視聴制限の設定が無効になります。（☞39ページ）

お知らせ

番組が視聴年齢制限の対象になるときは番組名が「●●●」表示され、暗証番号の入力をしない限り番組を視聴したり、詳細情報も見ることができません。

お知らせ

- 暗証番号の数字は、画面上には表示されません。（＊＊＊＊と表示されます。）
- 暗証番号入力（登録）画面で暗証番号を入力せずに数秒経過すると暗証番号入力（登録）画面は消えます。

視聴可能年齢／一番組購入限度額

暗証番号変更／暗証番号取消し

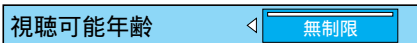
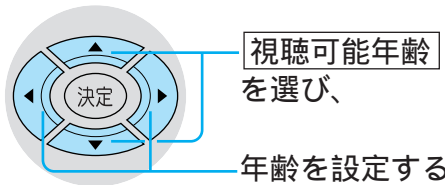
まず、 36、37ページの操作で「視聴制限設定」画面にする。

視聴可能年齢の設定

番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります。
設定年齢より高い視聴年齢制限の番組は、各一覧表などで番組名が「● ● ●」表示されます。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

視聴可能年齢 を選び、

年齢を設定する

視聴可能年齢	無制限

一番組購入限度額の設定

一番組制限額とは、有料番組や有料信号を購入する際に、料金が設定している一番組限度額より高額であれば、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できないようにする機能です。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

一番組限度額 を選び、

金額を設定する

一番組限度額	無制限

暗証番号変更

暗証番号の変更を必要とする場合のみ、次の手順で新しい暗証番号を入力してください。

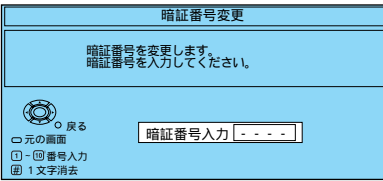
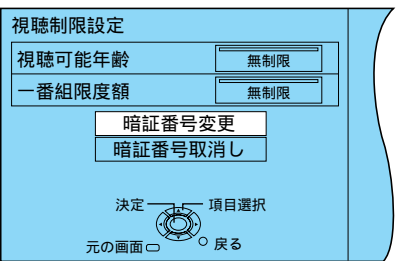
1

暗証番号変更 を選び、

押す

2 リモコンの数字ボタンで暗証番号（4桁）を変更する

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 11 12

（12 ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

● 画面の説明に従って、変更操作をしてください。
● 暗証番号の登録が終わると、「暗証番号変更」画面が消え、約10秒後、「視聴制限設定」画面に戻ります。

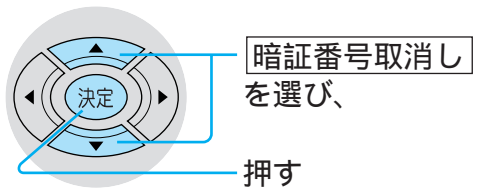
お願い

● 暗証番号は変更された時点で忘れないようにしてください。メモをしておくことも1つの方法です。

暗証番号取消し

暗証番号の取消しをすると、再度暗証番号を登録するまで視聴制限の設定が無効になります。

暗証番号取消し を選び、

押す

● 暗証番号取消しの確認画面が表示されます。画面の説明に従って暗証番号を削除してください。
● 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後、「BSデジタル設定」画面に戻ります。

お知らせ

視聴可能年齢の設定は…

●「4才」から「19才」までの1才単位の設定と「無制限」の設定ができます。
●「無制限」に設定すると番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
●「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴したいときには、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

一番組限度額の設定は…

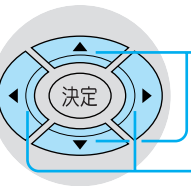
●「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
●「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入することができます。
●「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴したいときには、暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号変更は…

● 暗証番号を入力しても画面上では＊＊＊＊と表示されます。

暗証番号取消しは…

● もう一度、視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで暗証番号を登録してください。

選局対象を指定したいとき

チャンネル △▽ ボタンによる順送り選局や「裏番組」、「番組表」などで表示させるチャンネルを指定する設定です。

まず、32ページの手順①、②の操作で「BSデジタル設定」画面にする。

選局対象を選び、

対象項目を切換える

BSデジタル設定	ページ1／3
選局対象	すべて
デジタル音声出力	PCM
5．1CH出力	5．1　MIX
i．LINK待機	しない　する
ダウンロード予約	手動　自動

項目選択　設定変更　元の画面　戻る

「BSデジタル設定」画面

プリセット …リモコンの数字ボタンに設定しているプリセットチャンネルと、「BSチャンネル設定」で設定した11～40までのチャンネルを選局したり、表示させることができます。

テレビ …テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

ラジオ …ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

データ …データ放送のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

すべて …現在放送されているすべてのチャンネルを順送り選局したり表示させることができます。

■設定を終了するときは

元の画面 ボタンを押す

●「BSデジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

● 設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネル △▽ ボタンで切換えできません。

●「プリセット」については、8ページをご覧ください。

● 工場出荷時は「すべて」に設定されています。

字幕や文字スーパーを見たいとき

字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。

まず、32ページの手順①、②の操作で「BSデジタル設定」画面にする。

ページ2／3の各項目を選び、

設定を切換える

BSデジタル設定	ページ2／3
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語
文字スーパー	オフ　オン
文字スーパー言語	日本語　英語

項目選択　設定変更　元の画面　戻る

「BSデジタル設定」画面

字幕放送

オン …字幕を表示します。

オフ …字幕を表示しません。ただし、放送により強制的に表示される字幕の場合は、この設定は無効になります。

字幕言語

日本語 …日本語の字幕を表示します。

英語 …英語の字幕を表示します。

文字スーパー

オン …文字スーパーを表示します。

オフ …文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示される文字スーパーの場合は、この設定は無効になります。

文字スーパー言語

日本語 …日本語の文字スーパーを表示します。

英語 …英語の文字スーパーを表示します。

※文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

■設定を終了するときは

元の画面 ボタンを押す

●「BSデジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

● 設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。

BSデータ放送を見たいとき

BSデータ放送の番組では、画面に表示される説明に従い操作することでご希望の情報を引き出すことができます。BSデータ放送番組は次のものがあります。

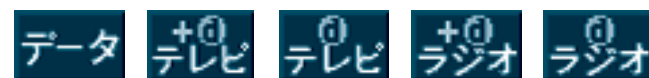
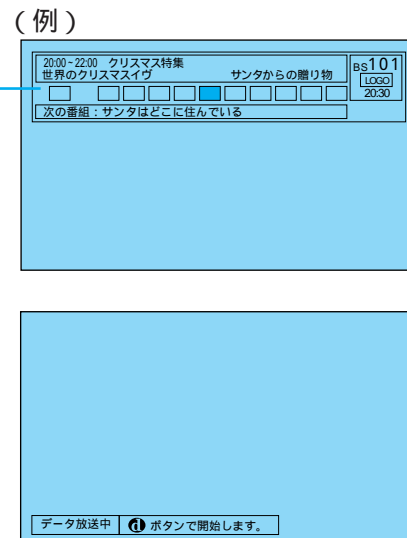
- テレビ放送やラジオ放送に連動してBSデータ放送が行われるもの
- 番組自体がBSデータ放送のもの（選局するとBSデータ放送画面が表示されます）

BSデータ放送の確認のしかた

BSデジタル放送のとき
押す

（例）

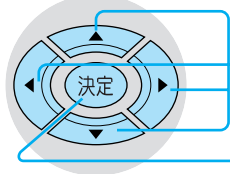
番組の内容が表示されます。

下記いずれかのアイコンが表示されているときはデータ放送の番組です。

- 番組の途中でBSデータ放送が始まる場合は、右のような画面が表示されます。

操作のしかた

BSデータ放送を楽しむには データ ボタンを押してBSデータ放送画面を表示させてください。
ただし、選局すると自動的にデータ放送画面になる番組もあります。
BSデータ放送の番組によって画面に専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

押す
- BSデータ放送画面が表示されます。

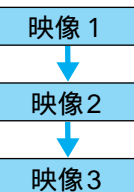
項目を選び
押す

お願い
本機のボタン機能はBSデータ放送の番組で使用するときのみ機能が変わる場合があります。その場合の操作は、画面に表示される説明に従ってください。

■BSデータ放送を終了したい場合は、 元の画面 ボタンを押す

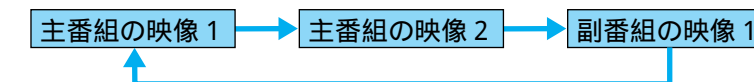
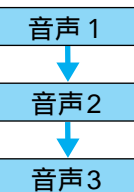
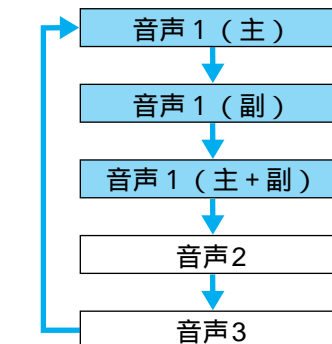
お知らせ
- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- 情報の多いデータ放送の場合、データ ボタンを押してもすぐにデータ放送画面が表示されない場合があります。
- BSデータ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。
- BSデータ放送の番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合もあるため、通信中は 電源（電源）ボタン、テレビ操作用ボタン以外は本機の操作ができなくなる場合があります。

同一チャンネルの複数コンテンツを切換える

番組により、映像や音声などの信号を切換えて楽しむことができます。
切換え可能な信号の内容は番組により異なります。また切換えた信号が有料な場合もあります。

映像信号を切換える場合

- 番組に複数の映像があるとき、切換えができます。
- マルチビュー放送の場合は主番組、副番組の切換えができます。副番組は最大で２つあります。また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切換えができます。

（例）主番組に2つの映像、副番組に1つの映像がある場合

音声信号を切換える場合

- 番組に複数の音声があるとき、切換えができます。
- 切換えた音声が二重音声の場合は下図のように切換わります。

（例）音声1が二重音声の場合

二重音声について
二重音声には2種類あります。
- 2ヵ国語放送
  主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）
- 音声多重放送
  主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

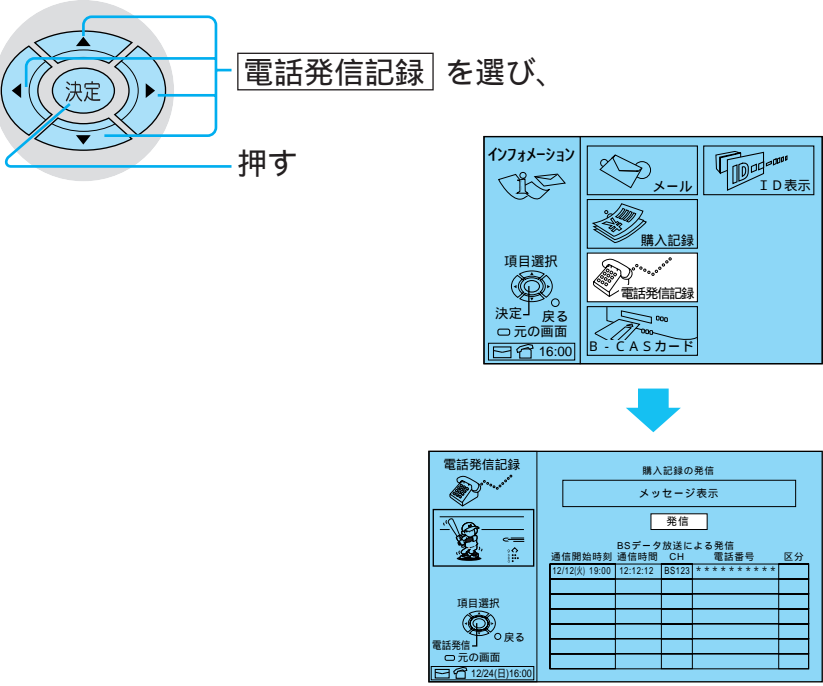
お知らせ
- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- BSデータ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。

電話発信記録を見る

電話発信記録では、「BSデータ放送の番組から発信した最近の発信履歴内容」と「まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無」が確認できます。もし未発信の番組購入記録がある場合は、手動ですぐに発信することもできます。（通常は定期的に自動的に発信されます）

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

電話発信記録 を選び、

押す

● 購入記録が送信できる場合は ボタンで「発信」を選んで 決定 ボタンを押すと、電話回線を通してセンターへ番組の購入記録などを発信できます。
● i.LINKに接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます。

■確認を終了するときは

元の画面 ボタンを押す

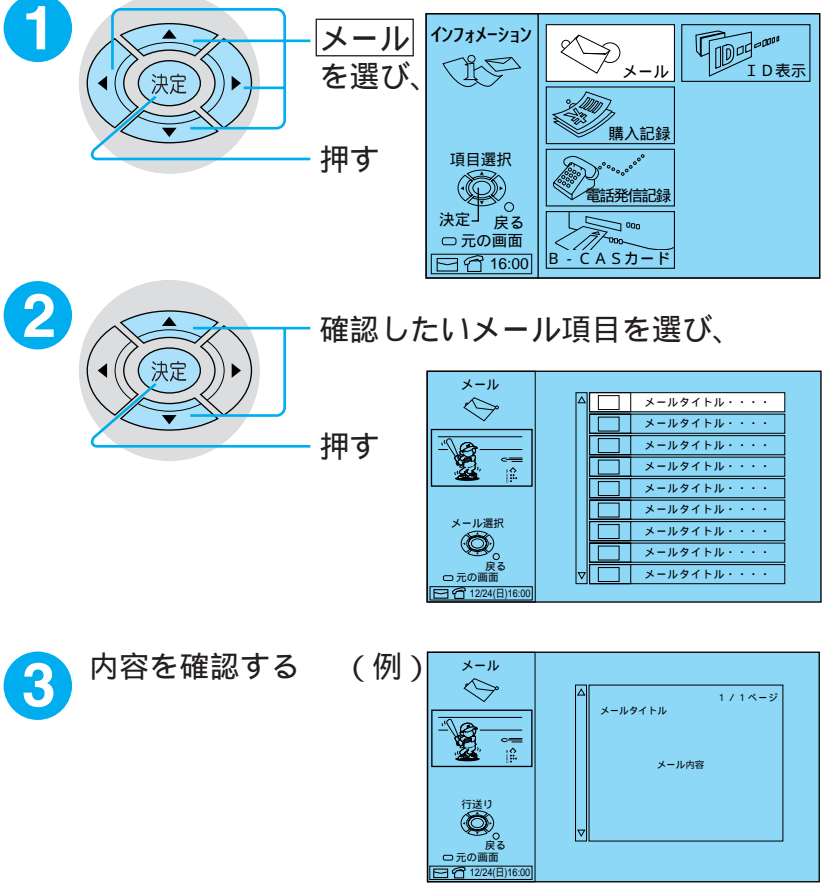
メールを見る

メールとはBSデジタル放送受信者（お客様）に送られるメッセージです。
メールの内容には電話回線の通信異常や、予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、下記の手順で届いたメールの内容を必ず確認してください。

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

1 メール を選び、押す

2 確認したいメール項目を選び、押す

3 内容を確認する （例）

● 他のメールを読みたいときは 戻る ボタンを押し、手順2から操作してください。

■確認を終了するときは

元の画面 ボタンを押す

お願い

B-CASカードが挿入されていないとメールを受信することができません。
B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

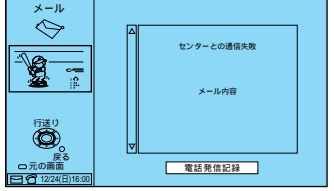
お知らせ

● メールの未読、既読についてはアイコンで表示されています。

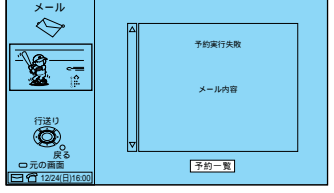
未読メール　既読メール

● BSデジタル放送局からのメールは最大で10通まで保存できます。10通を超えるメールは古い順から自動的に削除されます。
● このメールはインターネットのメールではありません。

電話回線の通信異常通知

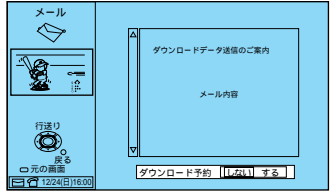
電話回線を使用した通信で異常があった場合に次のメールが届きます。

● 通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続（☞C編：51ページ）、電話設定（☞C編：34〜37ページ）を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV（ペイ・パー・ビュー）の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
（TEL：0570-000-250）
● 決定 ボタンを押すと「電話発信記録」画面が表示されます。（☞44ページ）

予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に次のメールが届きます。

● 決定 ボタンを押すと「予約一覧」画面が表示されます。（☞34ページ）

ダウンロードの通知

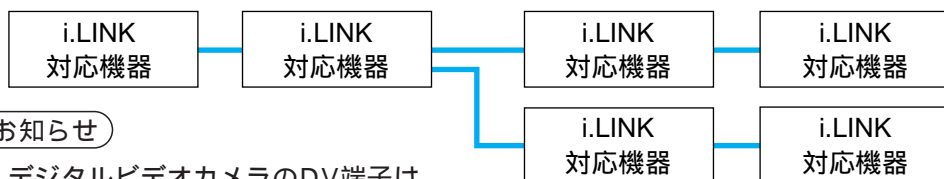
ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについてはC編：46ページをご覧ください。

i.LINKについて

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100 Mbps／200 Mbps／400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200 Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

■i.LINKの接続方法

● i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルで接続します。最大17台まで接続することができます。ただし、本機で確認できるi.LINK対応機器は15台までです。

データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。
操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

● i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。

お知らせ

● デジタルビデオカメラのDV端子は仕様が異なるため、接続できません。

■本機で操作できるi.LINK対応機器は

本機では、当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムの基本的な操作のみができます。
当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーでは、本機を使用してデジタル録画したBSデジタル放送を再生し、本機で視聴することができます。

■i.LINK接続上のお願い

● 本機は最大転送速度が200 Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。（☞C編：54ページ）
● i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKケーブルを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
● 接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
● i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切換えできます。（☞C編：59ページ）
● パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

i.LINK対応機器を操作する

本機のリモコンを利用してi.LINKに対応した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムの基本的な操作が行えます。
C編：54、55ページに記載のi.LINKの接続を行い、この説明書60ページ記載のi.LINK接続設定を確認のうえ、次の操作を行ってください。

操作画面の表示のさせかた

本機でi.LINK対応機器を操作するには、操作画面を表示させます。
表示された操作画面で▲▼◀▶ボタンと（決定）ボタンで操作できます。

リモコンの機器操作パネルボタンで操作画面を表示させる場合

1

押して操作したい機器の映像にする

2

押す

手順1で選択した機器の映像により、表示される操作画面が異なります。

視聴中の映像	表示される操作画面	
地上波放送 または BSデジタル放送	アンプ	52ページ
D-VHS＊ （i.LINK接続したD-VHSビデオデッキ）	D-VHSビデオデッキ	48ページ
HDR＊ （i.LINK接続したハードディスクビデオレコーダー）	HDR	48ページ
DVD＊ （i.LINK接続したDVDホームシアターサウンドシステム）	DVD	50ページ
i.LINK対応機器を接続していない場合	機器操作パネルボタンを押しても無効です。	

「機器操作」画面から操作画面を表示させる場合

1

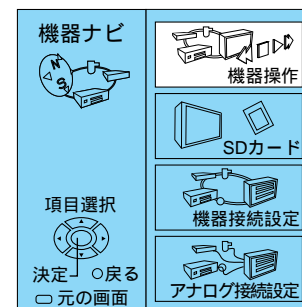
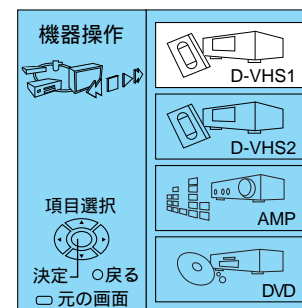
押して「機器ナビ」画面にする

機器操作 を選び、
押す

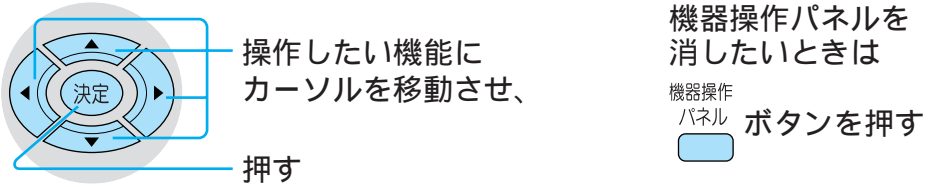
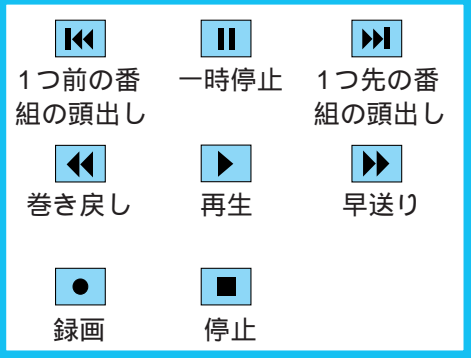
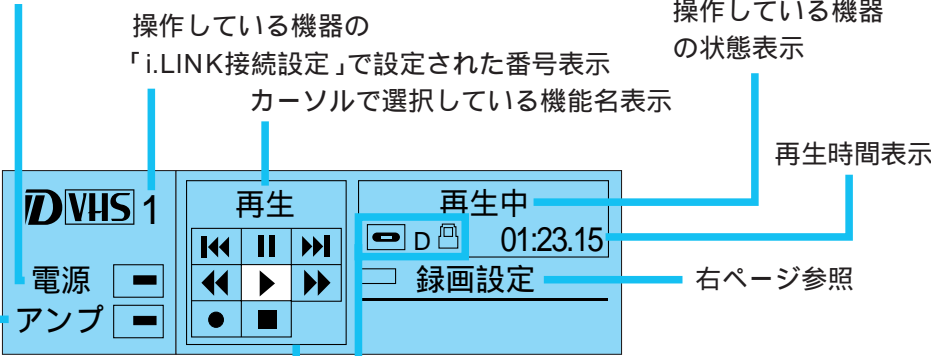
2 操作したい機器を選び、
押す

・「D-VHS」、「HDR」は48ページ、「DVD」は50ページ、「AMP」は52ページを参照ください。

お知らせ

● i. LINK接続設定されていないと、i. LINK端子に接続されていても操作画面は表示されません。（☞60ページ）
● 入力切換 ボタンを押して「DVD＊」に切換える場合は、「アナログ接続設定」（☞C編：66ページ）が必要です。
●「D-VHS＊」「HDR＊」「DVD＊」の＊印は、「i. LINK接続設定」で表示される番号です。（☞60ページ）

D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー(HDR)を操作する

「D-VHS操作パネル」画面では、D-VHSビデオデッキの基本的な操作が行えます。
「HDR操作パネル」画面では、ハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作が行えます。

まず、47ページの操作で操作画面を表示する。

各操作パネル画面からBSデジタル放送を録画するには

1. 録画したいBSデジタル放送画面にする
2. 操作パネルを表示させる
   - 「機器操作」画面から操作パネルを表示させます。(☞47ページ)
3. 録画する
   - ● (録画)を選んで、決定 ボタンを押すと、録画が開始されます。

録画設定

録画するときの録画時間などの設定を行います。

録画終了時間

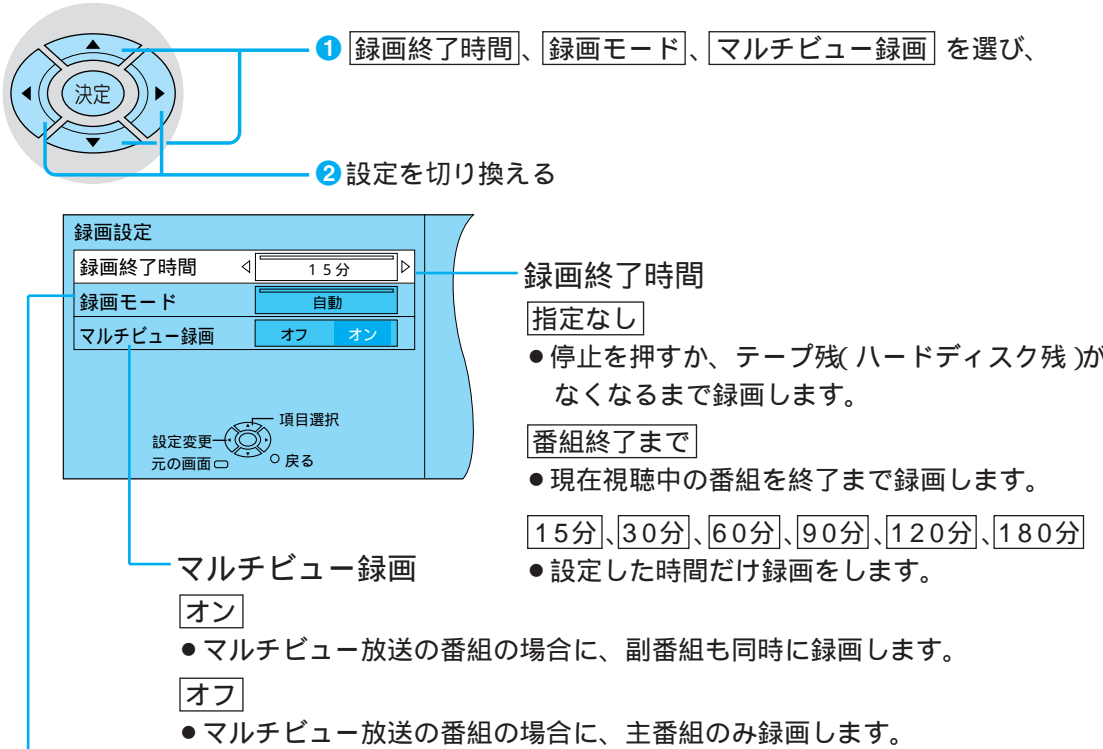
指定なし
- 停止を押すか、テープ残(ハードディスク残)がなくなるまで録画します。

番組終了まで
- 現在視聴中の番組を終了まで録画します。

15分、30分、60分、90分、120分、180分
- 設定した時間だけ録画をします。

マルチビュー録画

オン
- マルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。

オフ
- マルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

録画モード

自動
- デジタルハイビジョン放送を録画時は「HS」で記録し、デジタル標準テレビ放送は「STD」で記録をします。ただし、デジタル標準テレビ放送の場合でも、放送局側の設定情報により「HS」で記録される場合もあります。また､デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。

標準、3倍、5倍
- 各録画時間で録画します。

お知らせ
- 録画中は「録画設定」画面を表示できません。
- 予約中の操作パネルは表示できません。
- 1台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーが録画中の場合、もう1台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーの操作画面は表示できません。
- 操作する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使用できなくなります。
- カーソルが「電源」または「アンプ」以外の所にあるときは、数秒たつとパネル左側の「電源」「アンプ」部分が消えます。再度、表示させたい場合は、カーソルを左へ移動すれば、表示されます。

お願い
- 大切な番組を録画する場合は、予約設定で録画予約をしてください。操作画面から録画を行うと、操作した画面が録画される場合があります。予約設定については、20ページをご覧ください。

お知らせ
- 選択した録画モードの機能がないD-VHSビデオデッキの場合は、D-VHSビデオデッキに設定されている録画モードで録画されます。
- 「録画終了時間」は録画開始から23時間59分まで設定できます。また「録画終了時間」を「指定しない」に設定した場合、録画開始から23時間59分経つと自動的に録画を停止します。

DVDホームシアターサウンドシステムの

DVD機能を操作する

「DVD操作パネル」画面では、DVDホームシアターサウンドシステムのDVD機能の基本的な操作が行えます。

メモ DVDホームシアターサウンドシステムの電源が「入」のときは

本機のリモコンで、DVDホームシアターサウンドシステムの音量調整ができます。

（ただし、本機でDVDホームシアターサウンドシステムが使用可能な状態で53ページの「セレクタ」画面で「TVデジタル」を選択している必要があります。また、SDメモリーカードの操作中は「SD音楽再生」以外の音が出ません。（☞62ページ））

まず、 47ページの操作で操作画面を表示する。

操作したい機能にカーソルを移動させ、

押す

■ 機器操作パネルを消したいときは

機器操作パネル ボタンを押す

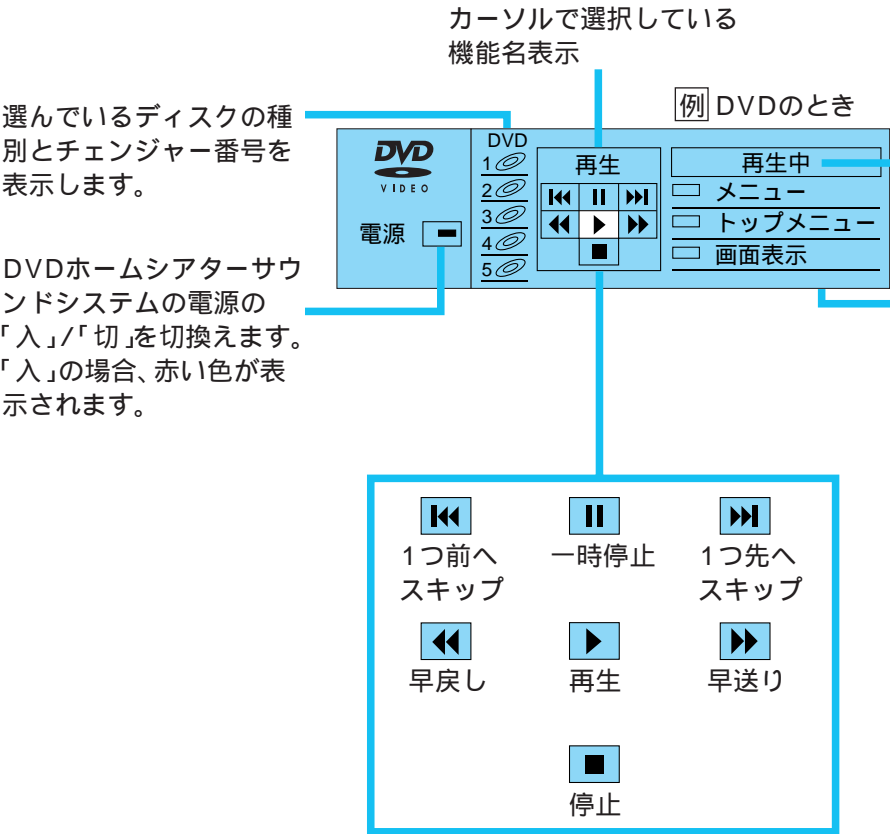
カーソルで選択している機能名表示

例 DVDのとき

選んでいるディスクの種別とチェンジャー番号を表示します。

DVDホームシアターサウンドシステムの電源の「入」／「切」を切換えます。「入」の場合、赤い色が表示されます。

DVDホームシアターサウンドシステムの状態表示

ボタン	機能
⏮	1つ前へスキップ
⏸	一時停止
⏭	1つ先へスキップ
⏪	早戻し
▶	再生
⏩	早送り
■	停止

メニュー
- DVDのディスク挿入時、DVDのメニューを表示します。

トップメニュー
- DVDのディスク挿入時、DVDのタイトルメニューを表示します。

画面表示
- DVDホームシアターサウンドシステムの操作メニューバー（GUI画面）を表示します。2枚目以降の操作メニューバーを表示させたいときは、機器操作パネルボタンを押して「DVD操作パネル」画面を表示させて再度「画面表示」を選んでください。

リターン
- ビデオCDのディスク挿入時、ビデオCDのメニューを表示します。

お知らせ
- 「メニュー」「トップメニュー」「画面表示」「リターン」を選ぶと、「DVD操作パネル」画面が消える場合がありますが、機器操作パネルボタンを押すと、再度、操作パネルを表示します。
- CDの場合は「画面表示」などの項目は表示されません。
- ビデオCDの場合は、「リターン」のみが表示されます。
- DVDホームシアターサウンドシステムの取扱説明書もよくお読みください。
- カーソルが「電源」以外の所にあるときは、数秒たつとパネル左側の「電源」部分が消えます。再度、表示させたい場合は、カーソルを左へ移動すれば、表示されます。

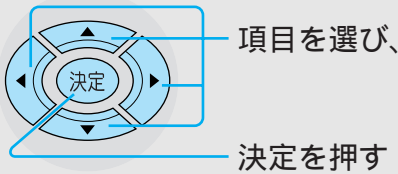
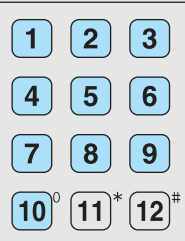
DVDやビデオCDのメニューが表示されたら

本機のリモコンで操作することができます。

（表示例）

1 全編	4 撮影日誌
2 場面	5 インタビュー
3 音声	6 出演者

項目を選び、

決定を押す

または

数字ボタンを押す

※ビデオCDの場合は、数字ボタンでのみ操作できます。

DVDホームシアターサウンドシステムの

アンプ機能を操作する

「AMP操作パネル」画面では、DVDホームシアターサウンドシステムのアンプ機能の基本的な操作が行えます。

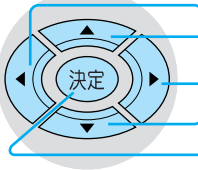
まず、 47ページの操作で操作画面を表示する。

メモ DVDホームシアターサウンドシステムの電源が「入」のときは

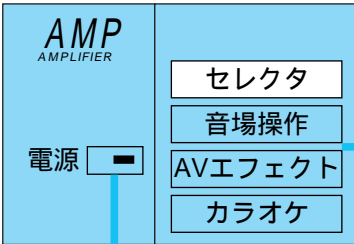
音量 ＋ － 消音 本機のリモコンで、DVDホームシアターサウンドシステムの音量調整ができます。

（ただし、本機でDVDホームシアターサウンドシステムが使用可能な状態でこのページの「セレクタ」画面で「TVデジタル」を選択している必要があります。また、SDメモリーカードの操作中は「SD音楽再生」以外の音が出ません。（☞62ページ））

操作したい機能にカーソルを移動させ、

押す

■機器操作パネルを消したいときは

機器操作パネル ボタンを押す

「AMP操作パネル」画面

DVDホームシアターサウンドシステムの電源の「入」/「切」を切換えます。「入」の場合、赤い色が表示されます。

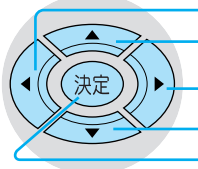
セレクタ
- DVDホームシアターサウンドシステムに接続している機器の入力選択画面を表示します。（☞53ページ）

音場操作
- DVDホームシアターサウンドシステムの音場操作の選択画面を表示します。（☞54ページ）

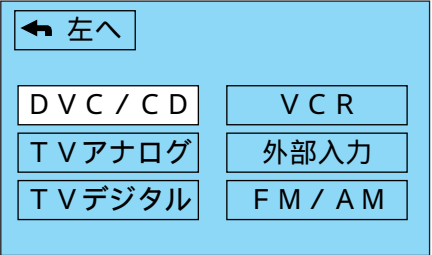
AVエフェクト
- DVDホームシアターサウンドシステムのエフェクト選択画面を表示します。（☞56ページ）

カラオケ
- DVDホームシアターサウンドシステムのカラオケモードの選択画面を表示します。（☞58ページ）

セレクタ画面（入力機器の選択）

アンプ操作パネルから「セレクタ」を選び決定すると、下図のような「セレクタ」画面を表示します。DVDホームシアターサウンドシステムの入力機器を選択することができます。

入力したい機器にカーソルを移動させ、

押す

「セレクタ」画面

例 DVD／CDを選ぶ

- ビデオデッキのとき …………………… VCR
- カセットデッキなど……………… 外部入力
- アナログテレビのとき ……… TVアナログ
- 本機のとき …………………… TVデジタル
- FM/AMラジオ …………………… FM/AM

※ FM/AM はアンプの状態表示のみ。（カーソルを移動させることはできません。）

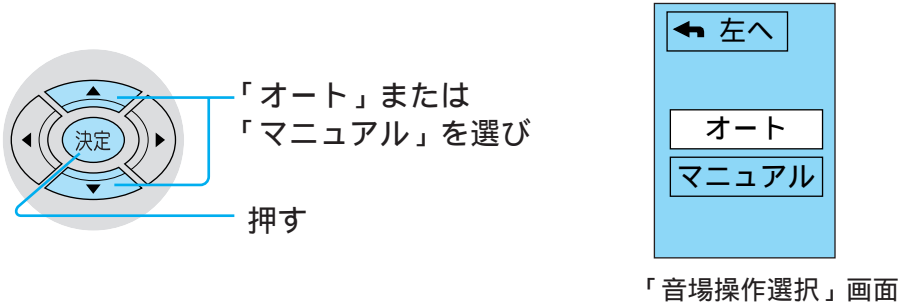
お知らせ
- DVDホームシアターサウンドシステムの電源が「切」のときは、右側の項目は選べません。
- DVDホームシアターサウンドシステムの取扱説明書もよくお読みください。

アンプを操作する（つづき）

音場操作

AMP操作パネル（☞52ページ）から「音場操作」を選び決定すると、下図のような「音場操作選択パネル」が表示します。

左へ
オート
マニュアル

「音場操作選択」画面

オート……本機でBSデジタル放送を楽しむときに、各番組のジャンル情報に合わせて、自動的に聞きやすい音声に切換わります。

マニュアル……マニュアルを選んで決定すると、下図の「音場操作（マニュアル）」画面が表示され、お好みのAVサラウンドやSFC（音場モード）の設定ができます。

左へ
AVサラウンド
SFC（音場モード）

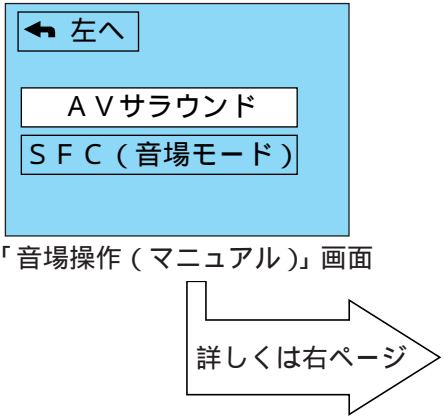
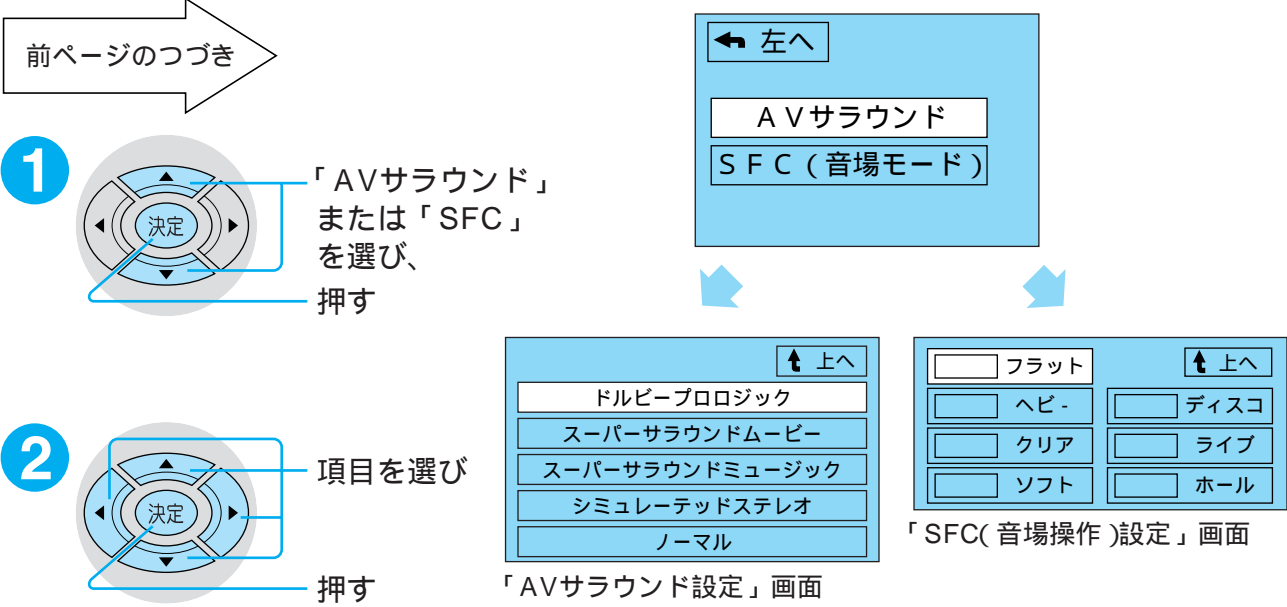
「音場操作（マニュアル）」画面

詳しくは右ページ

音場操作（マニュアル）

前ページのつづき

「AVサラウンド設定」画面

「SFC（音場操作）設定」画面

AVサラウンドの効果

ドルビープロロジック……ドルビーサラウンドで記録されたDVD、ビデオテープ、CDなどのとき

スーパーサラウンドムービー…普通のステレオ音声の映画のとき

スーパーサラウンドミュージック…ステレオ音声の音楽のとき

シミュレーテッドステレオ…モノラル音声のとき

ノーマル……………………サラウンド効果を使わない通常の音声に

SFC（サウンドフィールドコントロール）の効果

フラット…SFC効果を使わない通常の音声に

ヘビー……ロックなど。パンチを効かせます。

クリア……ジャズなど。高音部を鮮明にします。

ソフト……BGMなど。ソフトな音声にします。

ディスコ…ディスコのような長い残響音があります。

ライブ……ボーカルにつやを出します。

ホール……大ホールのような音の広がりがあります。

お知らせ

- 「音場モード」を「オート」にしても、送られてくるBSデジタル放送の情報によっては、自動的に切換わらない場合があります。

アンプを操作する（つづき）

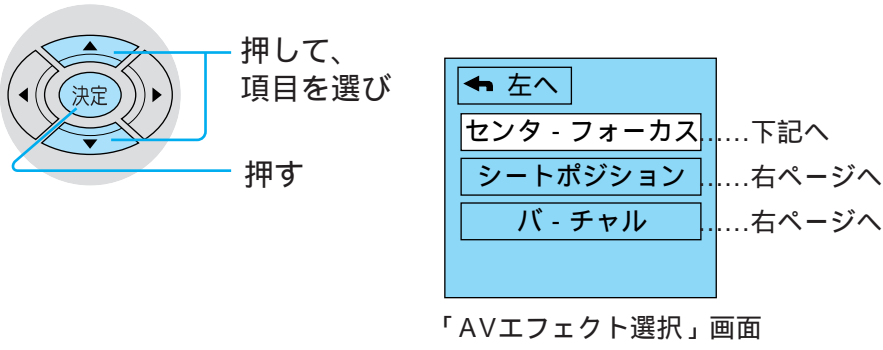
AVエフェクト

AMP操作パネル（☞52ページ）から「AVエフェクト」を選び決定すると下図のような「AVエフェクト選択」画面が表示します。

押して、
項目を選び

押す

↩ 左へ	
センターフォーカス	……下記へ
シートポジション	……右ページへ
バーチャル	……右ページへ

「AVエフェクト選択」画面

センターフォーカス

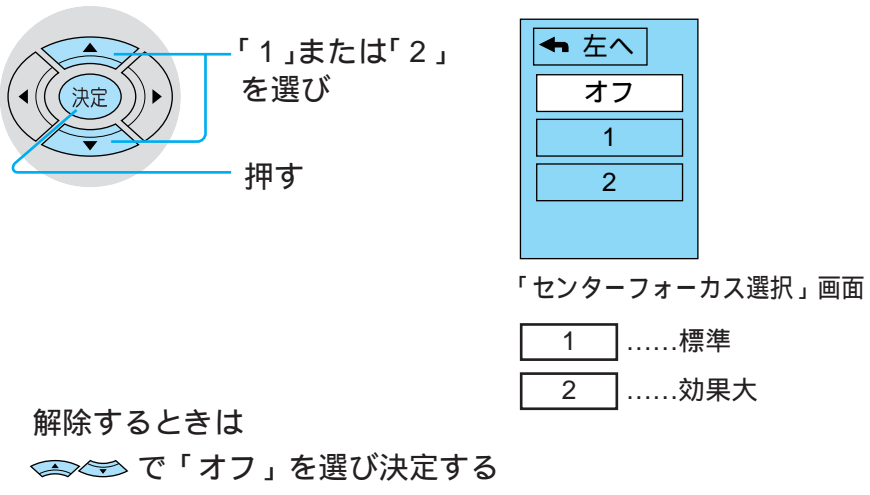
センタースピーカーの音が、テレビ画面の位置から出ているように聞こえます。

「1」または「2」
を選び

押す

「センターフォーカス選択」画面

1 ……標準
2 ……効果大

■解除するときは
で「オフ」を選び決定する

シートポジション

室内の配置などによって理想的な位置（中央）で視聴できない場合に調整します。

1
「ポジション設定」
を選び、

押す

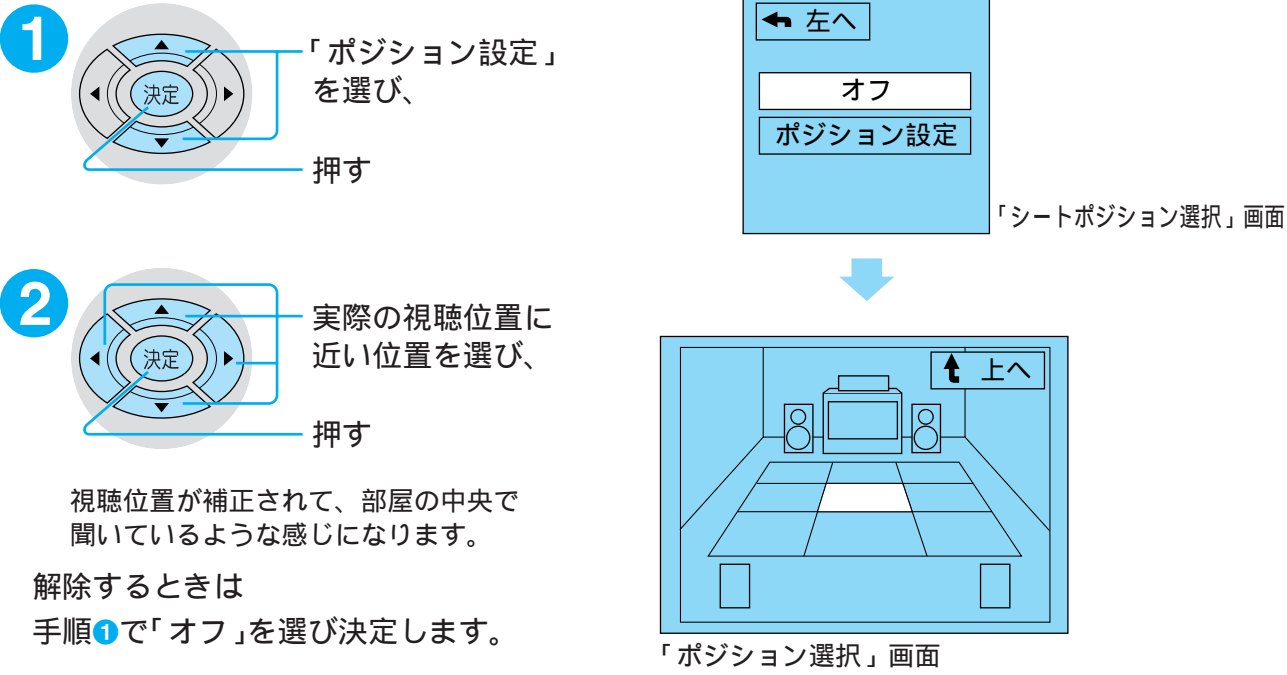
「シートポジション選択」画面

2
実際の視聴位置に
近い位置を選び、

押す

視聴位置が補正されて、部屋の中央で
聞いているような感じになります。

「ポジション選択」画面

■解除するときは
手順1で「オフ」を選び決定します。

バーチャル

設置場所の都合でサラウンドスピーカーをフロントスピーカーの横に置いている場合（バーチャルリア）や、いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果を作りたい場合（マルチリア）に設定します。

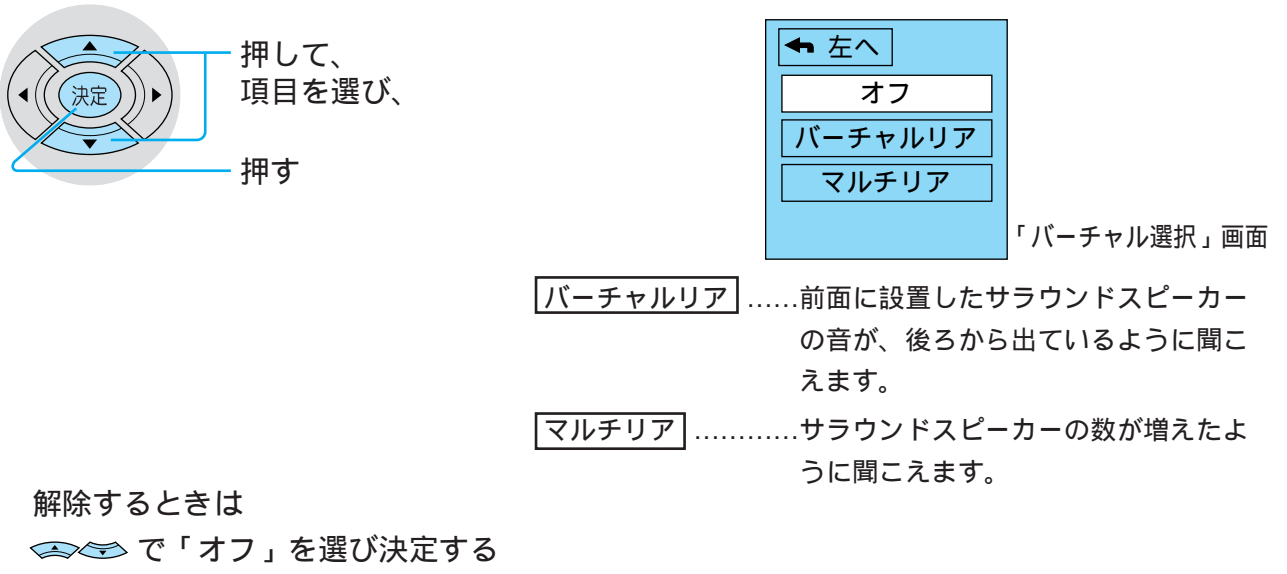
押して、
項目を選び、

押す

「バーチャル選択」画面

バーチャルリア ……前面に設置したサラウンドスピーカーの音が、後ろから出ているように聞こえます。

マルチリア …………サラウンドスピーカーの数が増えたように聞こえます。

■解除するときは
で「オフ」を選び決定する

お知らせ
- 「AVエフェクト」の設定は、2チャンネルの音声の場合、無効になります。

お知らせ
- 「バーチャル」の設定を「バーチャルリア」にしている場合は、「シートポジション」の設定できる位置が3個所になります。また、DVDホームシアターサウンドシステム側で「3Dエンハンストサラウンド」機能を設定している場合にも3個所になります。

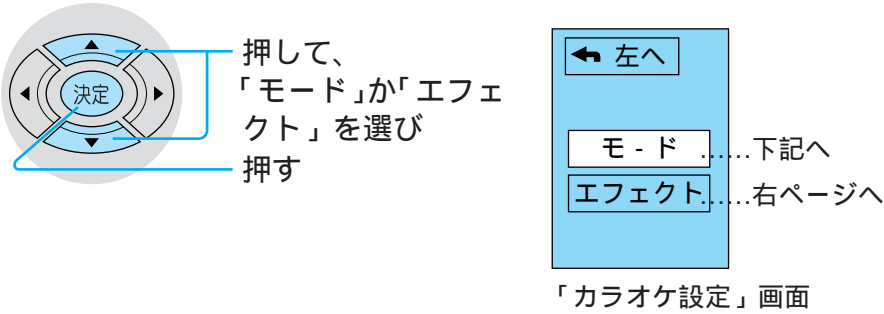
アンプを操作する（つづき）

カラオケ

AMP操作パネル（☞52ページ）から「カラオケ」を選び決定すると
下図のような「カラオケ設定パネル」が表示されます。

押して、
「モード」か「エフェクト」を選び
押す

……下記へ
……右ページへ

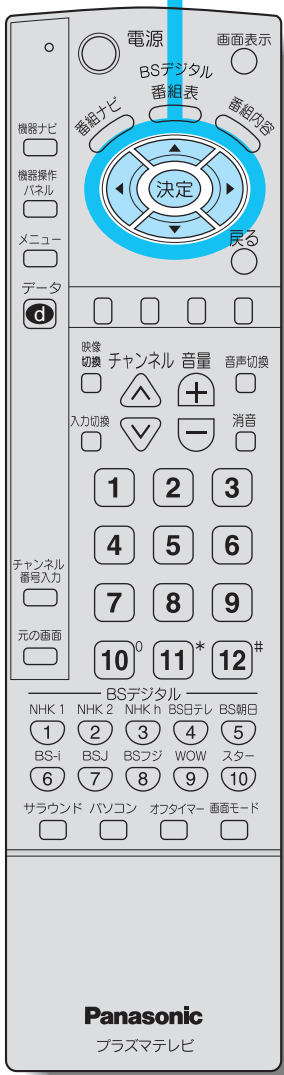
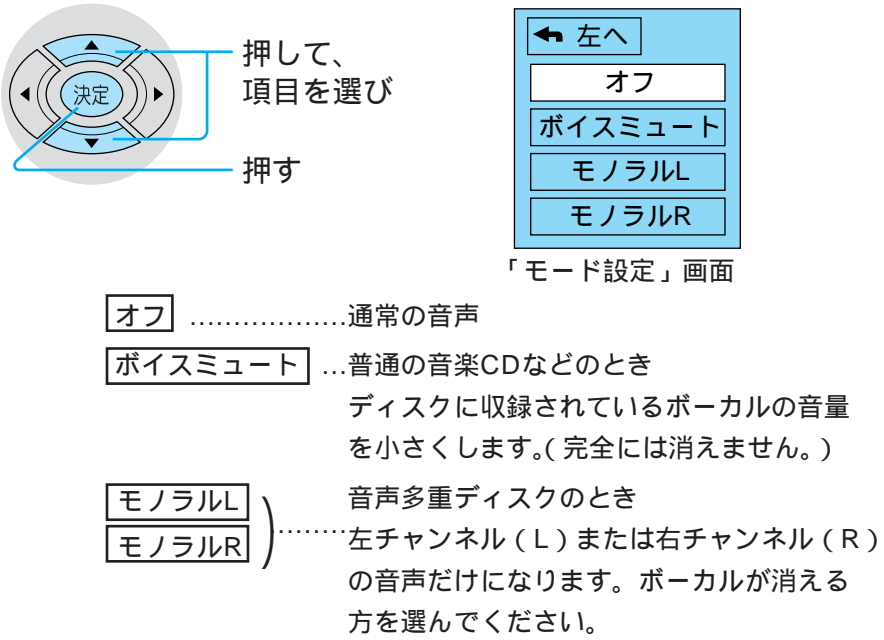
「カラオケ設定」画面

モード

ビデオCDやCDの再生中にボーカルの音声を「入」／「切」できます。

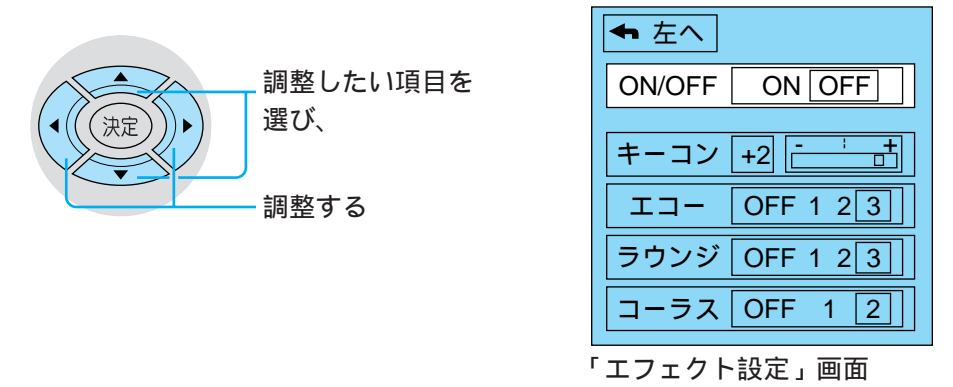
「モード設定」画面

オフ ……………………通常の音声

ボイスミュート …普通の音楽CDなどのとき
ディスクに収録されているボーカルの音量を小さくします。（完全には消えません。）

モノラルL
モノラルR ………音声多重ディスクのとき
左チャンネル（L）または右チャンネル（R）の音声だけになります。ボーカルが消える方を選んでください。

エフェクト

カラオケを楽しんでいるときに、音に次の効果をかけることができます。

「エフェクト設定」画面

ON／OFF …エフェクト（効果）を「入」／「切」します。

キーコン ……キー（音の高さ）を調整します。

エコー ………エコーをかけます。

ラウンジ ……エコーをかけたマイクの音をセンターとサラウンドのスピーカーから出すことによってラウンジで楽しんでいるような雰囲気を作ります。

コーラス ……コーラスをしているような雰囲気を作ります。

お知らせ

- ディスクによっては、選べないこともあります。
- ボイスミュートはボーカルの音声を完全に消すものではありません。
また、モノラル録音されたディスクでは使用できません。

お知らせ

- 複数のエフェクト（効果）を同時に使うことができます。ただし、エコーとラウンジの効果を同時に使うことはできません。
- 「ON／OFF」の設定が「OFF」のとき、「キーコン」「エコー」「ラウンジ」「コーラス」の設定を変更することはできません。

i.LINK対応機器の確認、設定

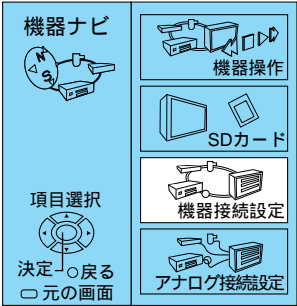
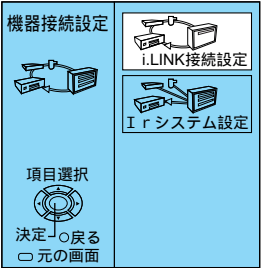
本機でi.LINK対応機器の操作や予約録画を行うには、「i.LINK接続設定」で設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー合わせて2台とDVDホームシアターサウンドシステム1台です。

1 機器ナビ 押し、

機器接続設定 を選び

押す

2 i.LINK接続設定 を選び

押す

3 接続しているi.LINK機器を確認する

機器名

i.LINK接続されている機器の名称を表示
D-VHSビデオデッキを接続している場合はD-VHS＋番号（接続した順番）が表示されます。
ハードディスクビデオレコーダーを接続している場合はHDR＋番号（接続した順番）が表示されます。
DVDホームシアターサウンドシステムを接続している場合はDVDサウンドシステム＋番号（接続した順番）が表示されます。
「機器操作」画面などでは、「AMP+番号」と「DVD+番号」で表示されます。

メーカー名

i.LINK接続されている機器のメーカー名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

機種名

i.LINK接続されている機器の機種名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

接続状態

「オン」…… 電源オンの状態で接続されている
「オフ」…… i.LINKで制御できる電源オフの状態で接続されている
「未接続」… i.LINKで制御できない電源オフの状態で接続されている
または、一度接続されたが現在は接続されていない状態
「予約」…… 予約録画の待機状態で接続されている
「不明」…… 制御できない機器、または「使用」の項目が「しない」に設定されている機器

使用

「する」…… 本機で制御する設定
「しない」… 本機で制御しない設定
「不可」…… 本機で制御できない機器

■確認のみで終了するときは

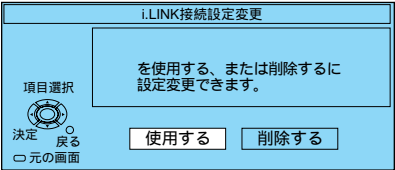
元の画面 ボタンを押す

4 使用するi.LINK対応機器を設定または変更する場合

設定または変更したい機器を選び

押す

項目を選び

押す

使用する

本機で使用する設定に変更します。「使用しない」に設定されている場合にのみ表示されます。すでに合わせて2台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーや1台のDVDホームシアターサウンドシステムが設定されている場合はさらに他の機器を「使用する」に設定変更することはできません。別の「使用する」に設定されている機器を「使用しない」に設定すると「使用する」に設定できます。

使用しない

本機で使用しない設定に変更します。「使用する」に設定されている場合にのみ表示されます。

削除する

この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除できます。接続状態が「未接続」の場合にのみ表示されます。

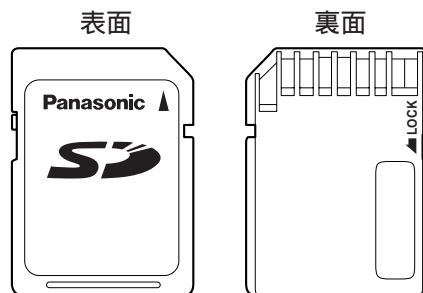
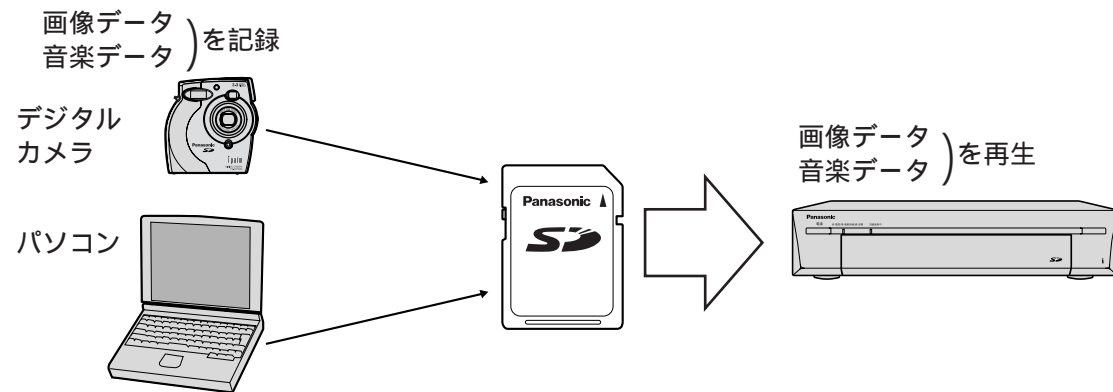
● 戻る ボタンを押すと設定せずに「i.LINK接続一覧」画面に戻せます。

■確認のみで終了するときは

元の画面 ボタンを押す

● 「i.LINK接続設定」画面が消えます。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードは、「Secure Digital」の頭文字をとった名前で著作権保護機能を内蔵したメモリーカードです。24mm×32mm×2.1mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープに替わる次世代の記録媒体です。

本機では、デジタルカメラやパソコンなどで用意した画像データや、音楽データを再生することができます。（本機ではテレビの映像や音声を記録することはできません。）

■本機で再生できる画像データ、音楽データについて

再生できる画像データ

- DCF規格の画像データ
- SDメモリーカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ
  ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

再生できる音楽データ

- AAC方式の音楽データ
  ただし、サンプリング周波数がハーフレート（24kHz、22.05kHz、16kHz）のデータは再生できません。

■SDメモリーカードの使用上のお願い

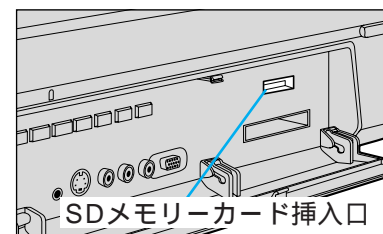
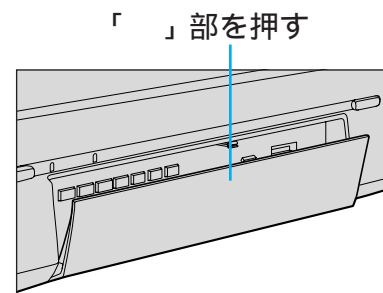
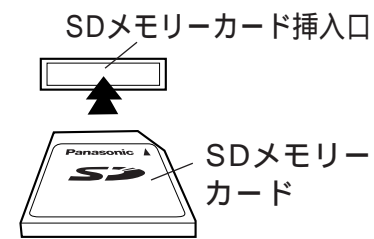
SDメモリーカード使用中（「SDカード」画面での操作中）は電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。

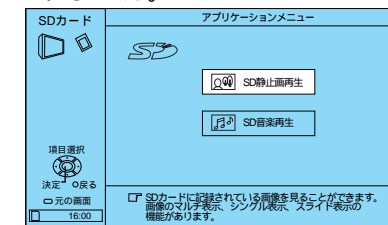
DCF（Design rule for Camera File system）
デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

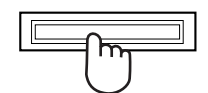
AAC（Advanced Audio Coding）
音声符号化の規格の一つです。
CD（コンパクトディスク）並みの音質の音楽データを約1／12にまで圧縮できます。

SDメモリーカードの入れかた

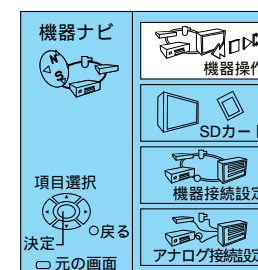
1 本機前面の扉を開ける

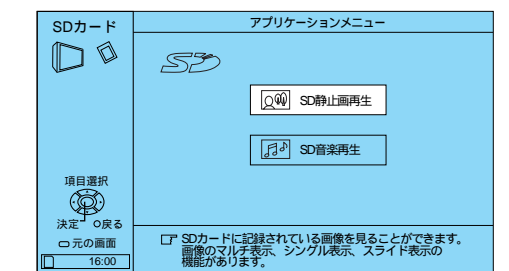
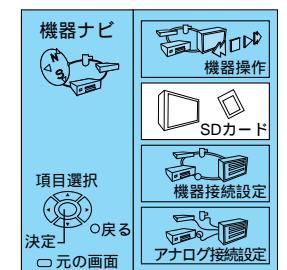
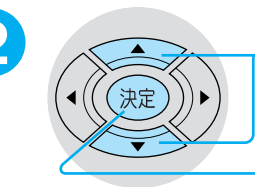
「△」部を押す

2 SDメモリーカードを挿入する

- カードの表面を上にして、奥まで押し込んでください。
- 電源を入れたままSDメモリーカードを挿入すると「SDカード」画面が表示されます。ただし、予約実行中の場合は表示されません。

3 本機の前面扉を閉める

SDメモリーカードの抜きかた
挿入されているSDメモリーカードを奥に押して指をはなせば出てきます

※必ず「SDカード」画面を消してから抜いてください。
読み込み中に抜くとデータが破壊されることがあります。

「機器ナビ」画面から「SDカード」画面を表示させる

1 機器ナビ ボタンを押す

2 押して、「SDカード」を選び、決定する

SDメモリーカードの
画像を見る

まず、 ● 63ページの操作で「SDカード」画面にする。

押して、
「SD-静止画再生」
を選び、
押す

「SDカード」画面

「SD静止画再生（マルチ表示）」画面

画像を見るには、3つの方法があります

「SD静止画再生」画面を表示させた状態で、操作します。

マルチ表示
画面に最大9個の縮小画像を表示させて見ることができます。

押す（緑）☞65ページ

シングル表示
1つの画像ずつ、画面に大きく表示させて見ることができます。

押す（青）☞66ページ

スライド表示
連続して画像を表示させて見ることができます。

押す（赤）☞67ページ

「マルチ表示」「シングル表示」「スライド表示」は、「表示方法選択」画面からも切換えできます。

1 「SD静止画再生」画面を表示中に 決定 ボタンを押す

2 ボタンで項目を選び、決定 ボタンを押す

お知らせ

● 緑、青、赤ボタンは、「マルチ表示」画面、「シングル表示」画面、「スライド表示」画面で使用できます。
「番組表」画面など別の画面では、ボタン機能が変わります。

SDメモリーカードの
画像を見る（マルチ表示）

SDメモリーカードに入っている画像データを一度に最大9個の縮小画像で表示させることができます。
また各画像の日付や画素数などの確認も行うことができます。

カーソルを移動させて、
画像を確認する

収録数
SDメモリーカードに記録されている画像の総枚数表示

カーソル　画像番号

黄色の△▽マークを表示します。
10枚以上の画像があるとき、
ボタンで表示送りをして
確認してください。

エラー表示
画像データが読み込めないなど小画像が表示できない場合に表示されます。

アクセス中表示
SDメモリーカードの読み込み中は「□アクセス中」が表示されます。このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

画像情報（カーソル位置の画像）
● No.……………画像番号（ファイルネーム）
● 日付 …………画像がSDメモリーカードに書き込まれた日付
● 画素数 ………原画の画素数（横×縦）
● プリント枚数 …「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数表示。本機では枚数の変更はできません。すでに設定されている枚数を表示します。

※ 画像データが読み込めないなど主画像が表示できない場合は、エラー表示されます。

お知らせ

● 元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの
画像を見る（シングル表示）

SDメモリーカードに入っている画像を1つずつ大きく表示させて見ることができます。横に向いた画像や上下反転した画像を回転させたり、拡大、縮小させることができます。

まず、63、64ページの操作で「シングル表示」画面にする。

押して、画像を切換える

SDメモリーカードに記録されている画像の総枚数表示

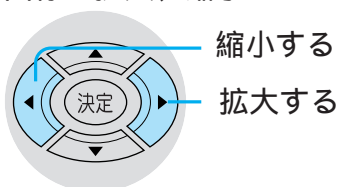
表示中の画像の倍率表示

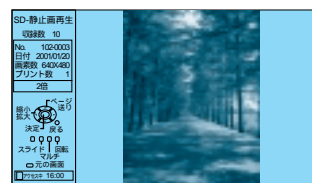
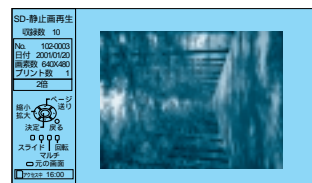
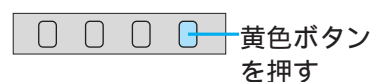
画像情報（現在表示されている画像）（☞65ページ）

アクセス中表示（☞65ページ）

「SD静止画再生（シングル表示）」画面

画像を拡大、縮小させる

縮小する
拡大する

●「2倍」､「原寸」､「1／2倍」の切換えができます。

画像を回転させる

黄色ボタンを押す

●黄色ボタンを押すごとに、時計回りに90度ずつ回転します。

お知らせ

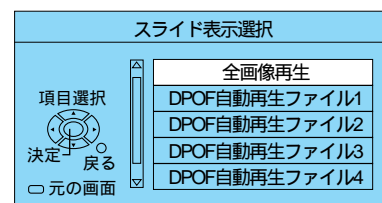
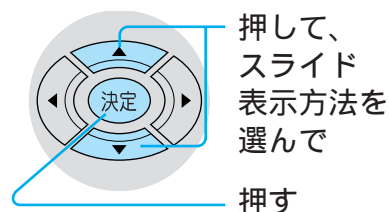
元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの
画像を見る（スライド表示）

SDメモリーカードに入っている画像を連続して見ることができます。

まず、63、64ページの操作で「スライド表示」画面にする。

1 SDメモリーカードに「DPOF自動再生ファイル＊」が入っていない場合は、下記の画面は表示されません。手順2を行ってください。

押して、スライド表示方法を選んで
押す

●「全画像再生」を選ぶとすべての画像を「マルチ表示」画面の順番に表示されます。
●「DPOF自動再生ファイル」が5個以上あるとき、黄色の△▽マークを表示します。ボタンで表示送りをしてください。

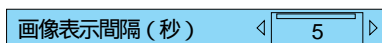
2

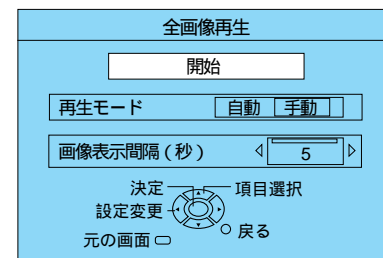
押して、「再生モード」を選び、切換える

手動 …リモコンのボタンを押すごとに画像が切換わる設定になります。

自動 …設定した時間間隔で自動的に画像が切換わります。画像表示間隔を下記の手順で変更することができます。

押して、「画像表示間隔」を選び、秒数を切換える

画像表示間隔（秒） 5

3

押して、「開始」を選び、押す

スライド表示が始まります

●「再生モード」を「手動」に設定した場合は、ボタンで画像を切換えてください。

スライド表示を止めるには

● 決定 ボタンを押して､「表示方法選択」画面を表示させます。（☞64ページ）
この場合､「スライド表示」を選ぶか、戻る ボタンで、スライド表示の再開ができます。

＊DPOF自動再生ファイルとは
●スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ
●横に向いた画像は、「シングル」画面で、画像を回転させると、正常に表示させることができ、その設定でスライド表示されます。
● 元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの

音楽を聞く

SDメモリーカードに入っている音楽を再生することができます。

まず、63ページの操作で「SDカード」画面にする。

聞きたい曲を選んで再生する

1

押して、
「曲選択」
を選び、
押す

2

SDメモリーカードに
「プレイリストファイル」
が入っていない場合は、
下記の画面は表示されません。
手順3を行ってください。

押して、
プレイリストファイルを
選び、
押す

3

押して、
聞きたい
曲を選び、
押す

再生が始まり、手順1の画面が表示されます。

プレイリストファイルとは

- 再生する曲と順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ

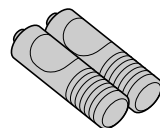
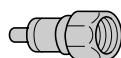
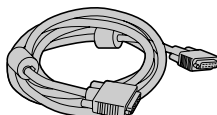
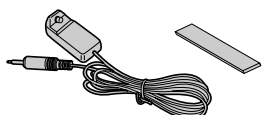
- 戻る ボタンで1つ前の画面に戻すことができます。また、元の画面 ボタンで「SD音楽再生」画面を消すことができます。
- 画面上に表示しきれない曲やファイルがあるとき、黄色の△▽マークを表示します。
  ボタンで表示送りをして確認してください。
- 「SD音楽再生」のときは、静止画での画面焼き付きを防ぐため、5分後静止画を消した暗い画面になります。（文字案内を表示）リモコンまたはチューナー本体の何れかの操作ボタンを押すと再び静止画を表示します。

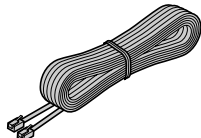
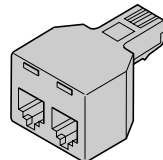
付属品

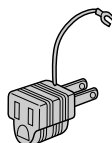
設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。（　）は個数です。

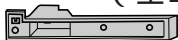
チューナーユニットに付属

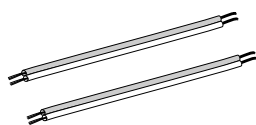
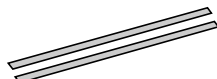
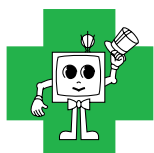
□リモコン（1）

□単4形乾電池（2）

□F型接栓
3C-2V用（1）
4C-2V用（1）
5C-2V用（1）

□接続ケーブル（3m）（1）

□Ir（アイアール）システムケーブル（1）両面テープ（1）

□B-CAS（ビーキャス）カード（1）

□モジュラーケーブル（10m）（1）

□モジュラー分配器（2分配用）（1）

ディスプレイユニットに付属

□3P-2P AC変換器（1）

スピーカーユニットに付属

□取り付け成型品（右2）（左2）

□取り付けねじ（12）

□スピーカーコード（2）

□スポンジ（2）

愛情点検 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

このような症状はありませんか
- ●電源スイッチをいれても映像や音が出ない。
- ●映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ●ジージー・パチパチと異常な音がする。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品番	
	販売店名	☎（　）ー	お客様ご相談窓口 ☎（　）ー	

ID番号 A編：7ページに記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）
	デコーダーID

S0901-0A

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部
〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

Panasonic　BSデジタルプラズマテレビ　取扱説明書（テレビの使い方）

BSデジタルプラズマテレビ

品番 TH-42PM50/S（42型）
TH-37PM50/S（37型）

取扱説明書

テレビの使い方　ふだんテレビをご覧になるときの説明です

B編 Basic

上手に使って上手に節電

保証書別添付

- ●取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- ●この取扱説明書は、42型（TH-42PM50/S）と37型（TH-37PM50/S）共用です。
- ●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- ●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBA0233

安全上のご注意
本機の楽しみかた
各部のなまえとはたらき
テレビを見よう
便利機能を使おう
拡大画面の使い方
見やすい映像にしよう
聞きやすい音にしよう
テレビを上手に使うために

もくじ

●このたびは、パナソニック プラズマテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「BSデジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用の前に、4〜9ページの安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐ見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。

テレビの使い方（B編）
BasicのBです

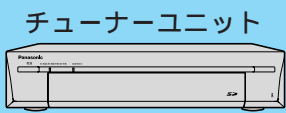
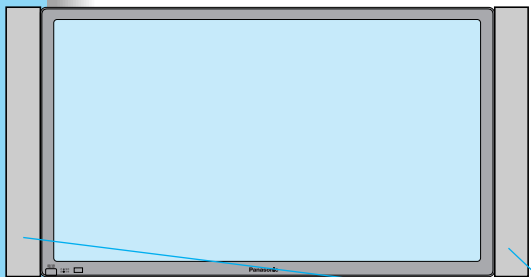
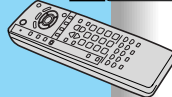
■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき／故障かな？と思うとき

設置／接続と設定（C編）
ConnectionのCです

■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

BSデジタルの応用／機器操作（A編）
ApplicationのAです

■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■SDメモリーカードについて

本機は3製品の組合わせで構成されています。

ディスプレイユニット
チューナーユニット
スピーカーユニット

組み立て、接続の方法は別冊のC編：4〜6ページを参照ください。

安全上のご注意 4 ページ〜

各部のなまえとはたらき 12 ページ〜

<各部の基本説明>
●リモコン …… 12
●リモコンのメニューボタン …… 14
●ディスプレイユニット …… 16
●チューナーユニット（前面操作部／端子部）…16
●チューナーユニット（背面端子部）…… 18

便利機能を使おう 30 ページ〜

●放送内容などを知りたいとき …… 30
●一時的に音を消したいとき …… 30
●タイマーで自動的に電源を切る …… 30
●テレビ放送終了時、自動的に電源を切る…31
●長時間、操作をしなかったとき、自動的に電源を切る …… 31

見やすい映像にしよう 40 ページ〜

●最適な画質を選ぼう（映像メニュー）……40
●映像メニューの内容を調整したいとき …41
●画質をプロ級に調整しよう（テクニカル調整）…42
●映像のざらつき感を少なくする（NR） …43
●ビデオなどの映像が不自然に見えるとき（3次元Y／C分離） …… 43

聞きやすい音にしよう 44 ページ〜

●最適な音質を選ぼう（音声メニュー）……44
●音声メニューの内容を調整したいとき …45
●音声多重放送を聞く …… 46
・2ヵ国語（二重）放送の副音声を聞くとき…46
・ステレオ放送で雑音があるとき …… 46
・BSデジタル放送の音声信号を切換えるとき…47
●臨場感のある音声を楽しむ …… 47

本機の楽しみかた 10 ページ〜

テレビを見よう 22 ページ〜

●地上放送（VHF/UHF）を楽しむ …… 22
●パソコンを使う …… 23
●ビデオなどの外部機器を楽しむ …… 24
●D-VHSビデオデッキ（当社製）を楽しむ…25
●BSデジタル放送を楽しむ …… 26
●SDメモリーカードで画像や音楽を楽しむ…28

拡大画面の使い方 32 ページ〜

●自動で拡大画面にする場合 …… 32
●映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合 …… 33
●画面の位置やサイズを調整する …… 34

<テレビ画面やビデオ入力のとき>
・画面の幅を切換える …… 35
・画面の縦サイズを変える …… 35
・画面外にはみ出た映像を見る …… 35

<パソコン入力画面のとき>
・最適な映像を選ぶ …… 37
・お好みの画質に調整する …… 37
・テクニカル調整 …… 37
・画面の位置や大きさの調整 …… 38
・クロック位相合わせ …… 38
・最適な音質を選ぶ …… 39
・お好みの音質に調整する …… 39
・コンサートホールの臨場感を楽しむ …39
・パソコン画面を安定させる …… 39

テレビを上手に使うために 48 ページ〜

●故障かな!? …… 48
●アイコン一覧 …… 54
●メッセージ表示一覧 …… 56
●仕様 …… 57
●お手入れ／上手な使い方 …… 58
●How to Use …… 59
●総合索引 …… 60
●保証とアフターサービス …… 62

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

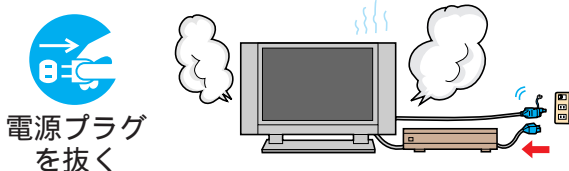
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

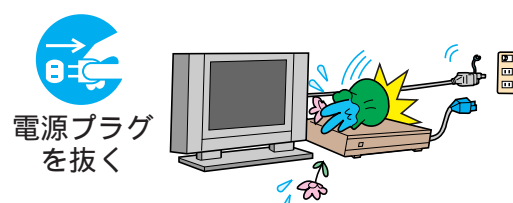
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

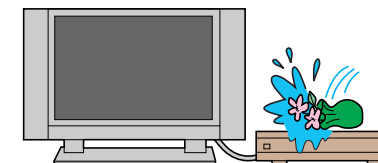
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

●表紙および4ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

警告

■上に水などの入った容器を置かないでください

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器。）

■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
●特にお子様にはご注意ください。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

火災・感電の原因となります。

■壁掛け工事や天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください

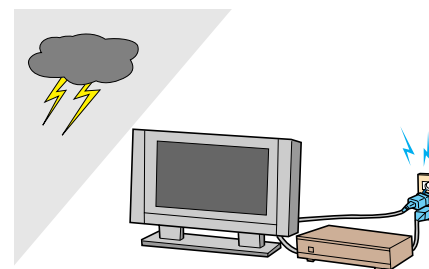
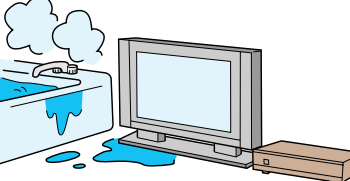
工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。
●指定の取り付けユニットをご使用ください。

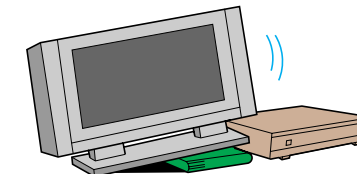
■ぬらしたりしないでください

火災・感電の原因となります。

■アースは確実に行ってください

本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。
●アース工事は専門業者にご依頼ください。
●AC変換器は別冊：C編の7ページを参照。

■雷が鳴りだしたらアンテナ線や本機には触れないでください

感電の原因となります。

■不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■デジタル音声出力（光）端子のカバーは幼児の手の届かないところへ保管してください

お子様が誤って飲み込むと、窒息死する恐れがあります。

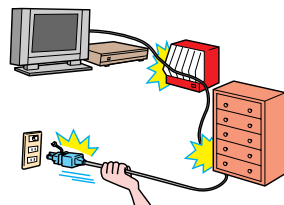
●万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
●特に小さなお子様にはご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

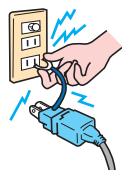
電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

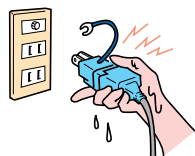
禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

●電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■アース端子を電源コンセントに差し込まないでください

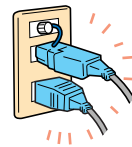
禁止

火災・感電の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。

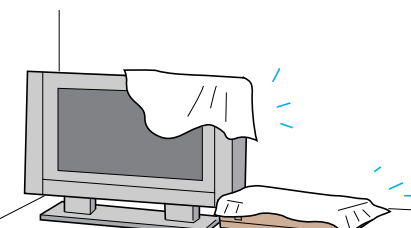
⚠	**高圧注意** サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分があり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

■本機の通風孔をふさがないでください

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

●ディスプレイユニットは上面、左右は10cm以上、下面は6cm以上、後面は7cm以上の間隔を、またチューナーユニットも壁から5cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
●押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
●あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

禁止

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

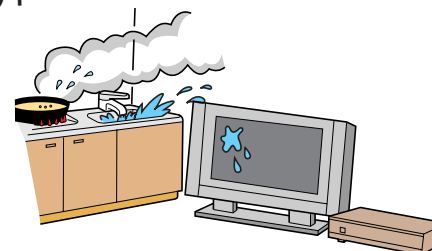
●特にお子様にはご注意ください。

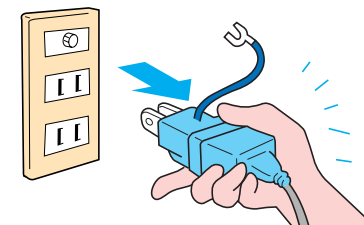
■本機にぶらさがったり、脚立を立てかけるなどしないでください

禁止

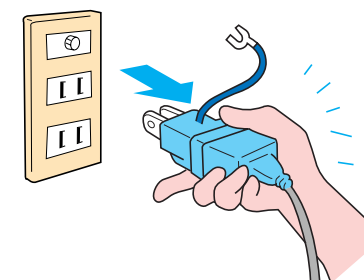
落下してけがの原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

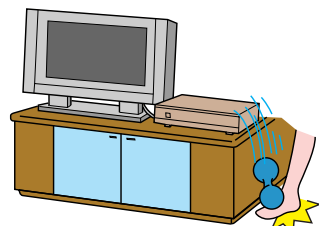
■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

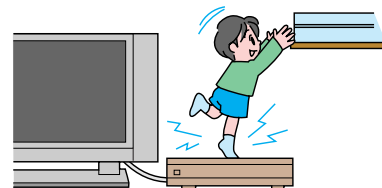
安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■上に重い物を置かないでください

禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■本機に乗らないでください

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
●特に、小さなお子様にはご注意ください。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。
●電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
●開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
●本機に衝撃を与えないでください。

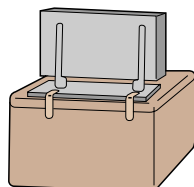
■電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■据え置きスタンド（別売）をご使用になるときは、転倒防止の処置をしてください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。
●据え置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。
●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
●BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

⚠注意

スピーカーについて

■本機を移動させるときは、スピーカー部を持たないでください

禁止

スピーカーの取り付け部が破損し、けがの原因となることがあります。

■プラズマテレビ／ディスプレイ用スピーカーです

他のアンプと接続される場合は定格入力以内（8W）でご使用ください。
定格入力を超えると、火災の原因となることがあります。

■壁などへの取り付けはしないでください

禁止

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■取り付け時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

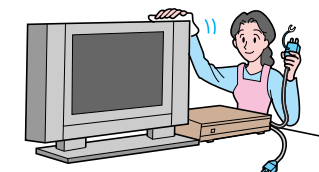
不十分な取り付けかたをすると強度が保てず、落下したり破損してけがの原因となることがあります。

お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

ふつうのテレビとして楽しむ

操作方法はこの冊子をご覧ください

- 今までお使い慣れたテレビと同様の操作で、地上波放送がご覧になれます。
- BSデジタル放送をふつうにご覧になりたいときも、今までのテレビに近い感覚でご覧になれます。
- 一般的な画質調整機能に加え、さらに細かな調整が可能です。
- 豊富な音声調整機能により、音楽好きな方からちょっと聞きづらいと思われるお年寄りの方まで、お好みの調整が可能です。
- 「オフタイマー」、「無操作自動オフ」、「無信号自動オフ」などの省エネに役立つ設定ができます。

本機ご使用にあたってのご留意

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

最新のデジタル端子対応機器を接続して楽しむ

接続方法は別冊：C編をご覧ください
※接続機器の取扱説明書もご覧ください

■D端子を装備

本機は、D4映像入力端子を装備しています。コンポーネントビデオ出力端子付きの機器を接続しますと、美しい映像をお楽しみいただけます。

D端子の種類と対応できる映像信号

端子＼信号	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)
D1	○	×	×	×
D2	○	○	×	×
D3	○	○	○	×
D4	○	○	○	○

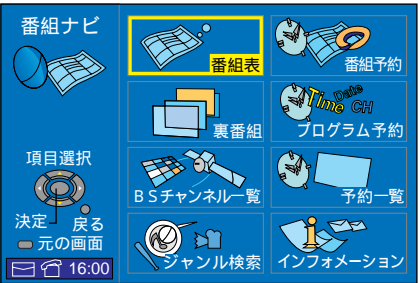
■i.LINK端子を装備

i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを接続すると、本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
また、D-VHSビデオデッキへの録画予約が簡単に行えます。

■AAC5.1チャンネル出力可能な光デジタル音声出力端子を装備

光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器と接続して、高品位の音声がお楽しみいただけます。また本機はBSデジタル放送の音声（AACフォーマット）をそのまま出力することもできます。
さらに、本機はAACデコーダーを内蔵しているため、マルチステレオ放送の番組では、5.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプに接続するだけでも臨場感のある音声をお楽しみいただけます。

BSデジタル放送やi.LINK対応機器、SDメモリーカードに関連する色々な機能を楽しむ

操作方法は別冊：A編をご覧ください

各選択画面（番組ナビや番組表など）では、ボタンで項目を選び、決定ボタンを押すことにより、ご希望の画面に切換わります。

■BSデジタル放送に対応

BSデジタル放送で放送されるBSテレビ放送や、BSデータ放送、BSラジオ放送などのサービスも受信可能です。

■EPG（電子番組ガイド）機能

BSデジタル放送の番組表を新聞のテレビ欄のように最大8日間まで表示できます。また、チャンネル一覧やジャンル別に表示できる機能もあり簡単に選局できます。

■視聴制限設定機能

視聴年齢制限付き番組に対する視聴可能年齢の設定とPPV（ペイ・パー・ビュー）などで一度に購入できる上限金額の設定ができます。

■字幕表示機能

字幕付きの番組を選局した場合は、字幕の表示ができます。

■i.LINK

当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを接続すれば、本機のリモコンで基本的な操作ができます。

■アイコン情報（シンボルマークによる情報）表示

番組の視聴制限や信号の種類、予約内容、メールの有無など各画面において有効なアイコンが表示されます。

■Irシステム

付属のIrシステムケーブルを使用すると、ビデオデッキなどへの録画予約が簡単にできます。Irシステムに対応できる機器についてはC編：60ページをご覧ください。

■ダウンロード機能

衛星から送られてくるダウンロードデータを本機に取り込む機能があります。

■SDメモリーカード

SDメモリーカードにあらかじめ入っている画像データを見たり、音楽データを聞くことができます。

商標について

各部の基本説明

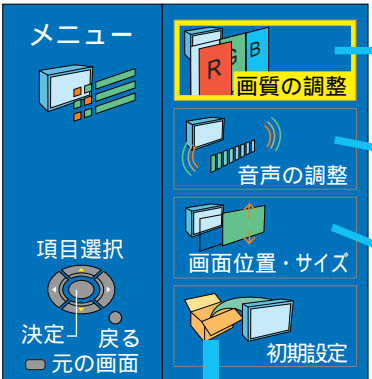
リモコン

BSデジタル放送の「プリセット選局」に使用します。（☞26ページ）

地上波放送のチャンネルを直接選んだり、数字入力に使用

各部の基本説明

リモコンのメニュー

メニューボタンは本機の各種調整や設定機能を操作する入口です。

各部の基本説明

ディスプレイユニット

[前面]

[背面]

チューナーユニット

チューナーユニットおよびディスプレイユニット（☞20ページ）の電源ボタンで電源「入」のときの

■電源ランプについて

- リモコンで電源を切る …………赤色
- リモコンで電源を切っている状態で…
  - ●i.LINK待機を「する」にしているとき（☞C編：59ページ）
  - ●自動的にダウンロード中、情報の受信中、視聴記録の送信中（通常、深夜から早朝）、予約録画が実行中のとき

  …橙色
- リモコンで電源を入れる …………緑色

■回線使用中ランプについて

- 電話回線に接続時 …………赤色

  本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

[前面端子部]

M3プラグ専用

ヘッドホン（ステレオ）　または　イヤホン（モノラル）

イヤホンの場合は2ヵ国語（二重）放送で、「主＋副」を選ぶと「主」音声が聞こえます。
※接続するヘッドホン／イヤホンにより音量・音質に差があります。

カード挿入部

B-CASカード挿入口
付属のB-CASカードを挿入します。

SDメモリーカード挿入口
別売のSDメモリーカード挿入口です。

お知らせ

- B-CASカードを挿入前に必ず本機の電源を「切」にし、C編：50ページをよくお読みのうえお取り扱いください。
- カードの挿入前に、この取扱説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。

各部の基本説明

チューナーユニット

[チューナーユニット背面]

20、21ページで説明をしています。

5.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプを接続
(☞C編：65ページ)

i.LINK端子
i.LINK対応機器を接続する端子です。
本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキとハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムです。
S200は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約200Mbpsのデータ転送が行えます。(☞A編：46ページ)

回線接続端子
電話回線を接続する端子です。
(☞C編：51ページ)

Irシステム端子
付属のIrシステムケーブルユニットを接続するとビデオデッキに対し、録画するためのリモコン信号が出力できる端子です。
使用できるビデオデッキメーカーについてはC編：53ページをご覧ください。

D4映像端子について
D1映像、D2映像、D3映像、D4映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
（D4映像端子は750p(720p)、1125i(1080i)、525p(480p)、525i(480i)の各信号に対応しています。）

接続端子の形状
- M3ジャック ………ヘッドホン／イヤホン、Irシステムの各端子
- ピンジャック ……モニター出力、ビデオ入力の各映像、音声端子とコンポーネント(色差)ビデオ入力の音声端子と音声モニター出力の音声端子
- S映像 ………………モニター出力、ビデオ入力のS2映像の端子
- F型接栓 ……………BS-IF入力、VHF／UHF入力の各端子
- D4映像 ……………コンポーネント(色差)ビデオ入力1・2の各端子
- ミニD-sub26P …ディスプレイ信号入力、出力の各端子

お知らせ

●コンポーネント(色差)ビデオ入力の接続について

色同士の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号（緑系は3つの信号から自動算出）に分け、それぞれの専用回路で信号処理後、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみになれます。

お知らせ

コンポーネント(色差)ビデオ入力について
- 入力信号は、750p(720p)、1125i(1080i)、525p(480p)、525i(480i)の各信号に対応しています。
- 525i(480i)信号は、機器によって、「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」、「Y、B-Y、R-Y」と表示されています。

各部の基本説明

チューナーユニット

デジタル音声出力（光）端子
（☞C編：57ページ）
デジタル音声の光出力端子です。
使用する場合はカバーを外して光デジタルケーブル（別売：RP-CA2010A<1m>）を接続してください。
※この端子を使わないときは、ほこりの付着を防止するため、必ずカバーを装着しておいてください。

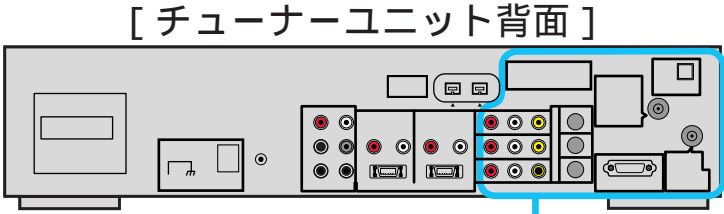
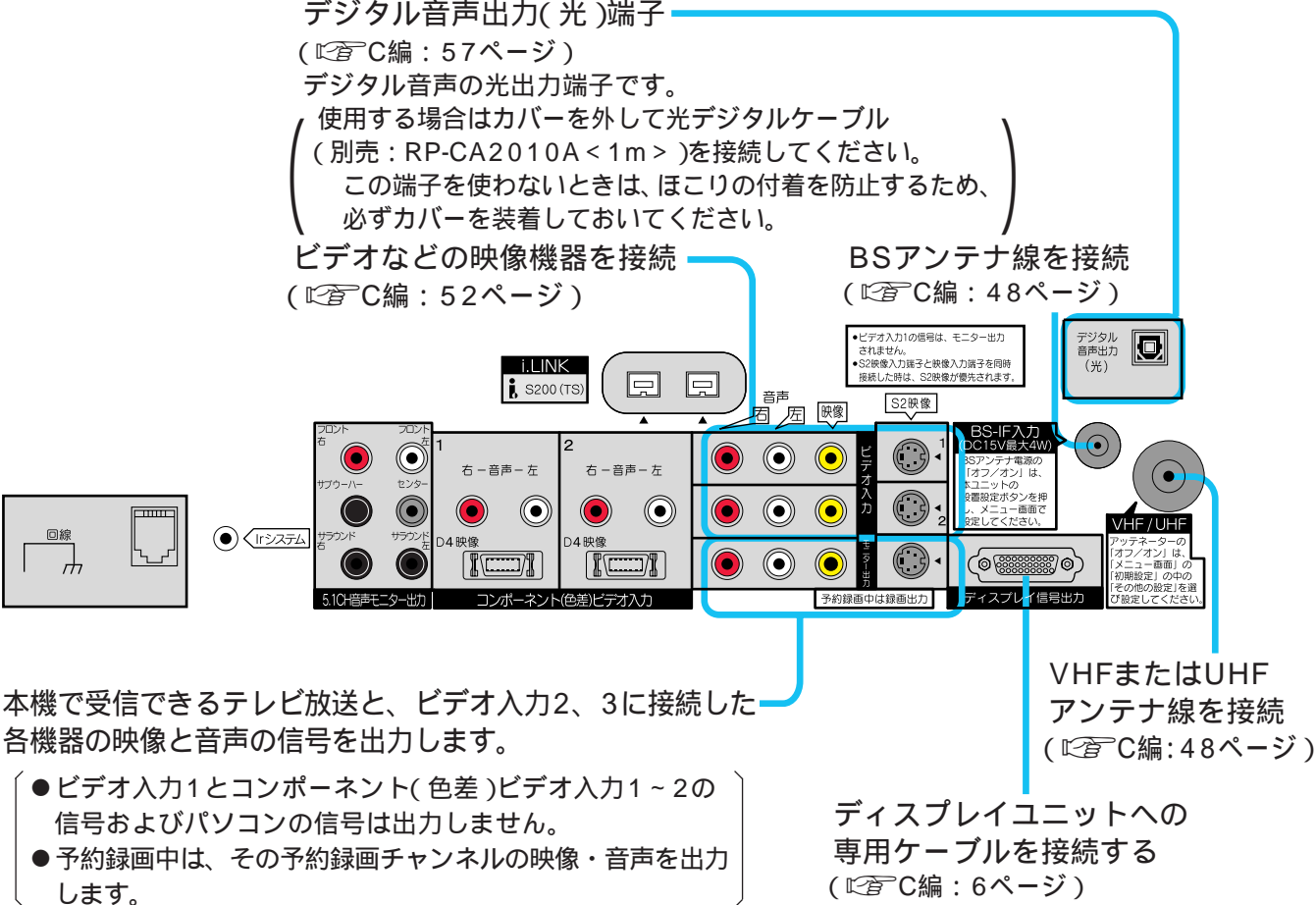
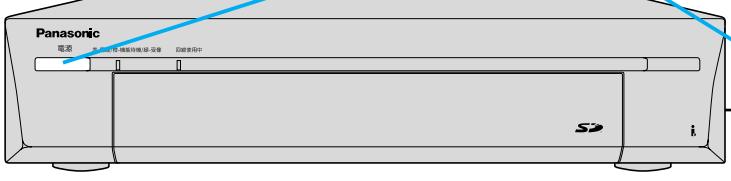
ビデオなどの映像機器を接続
（☞C編：52ページ）

BSアンテナ線を接続
（☞C編：48ページ）

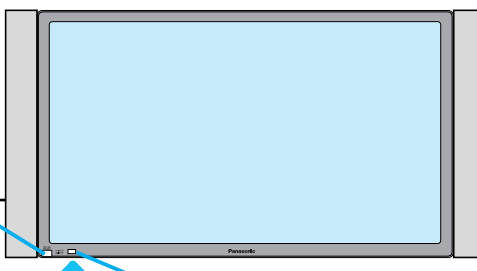
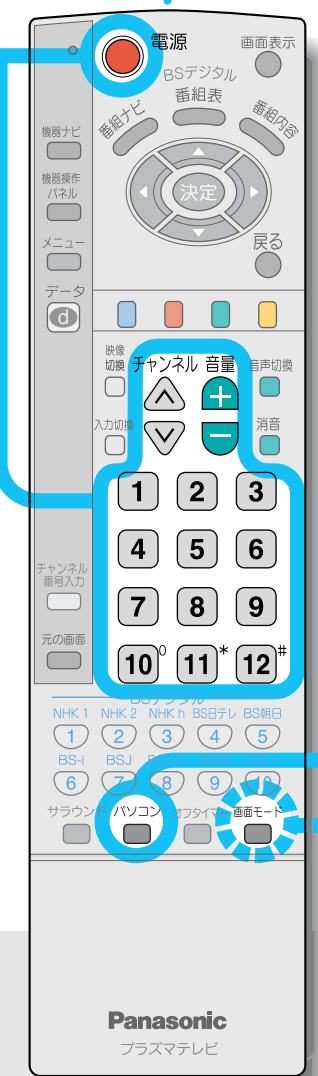
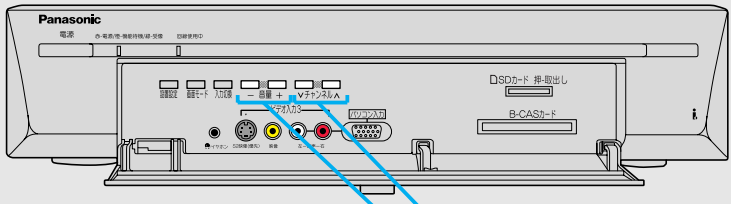
本機で受信できるテレビ放送と、ビデオ入力2、3に接続した各機器の映像と音声の信号を出力します。

- ビデオ入力1とコンポーネント（色差）ビデオ入力1～2の信号およびパソコンの信号は出力しません。
- 予約録画中は、その予約録画チャンネルの映像・音声を出力します。

VHFまたはUHFアンテナ線を接続
（☞C編：48ページ）

ディスプレイユニットへの専用ケーブルを接続する
（☞C編：6ページ）

- **ID-1検出機能について**
  ビデオ入力1～3の「映像」端子やS2映像端子、およびコンポーネント（色差）ビデオ入力（525i又は525p信号）にID-1対応機器を接続したとき、ID-1検出が働くと、縦長映像は「フル」画面に、横長映像は「ワイド」画面になります。

お知らせ

- **S2映像端子の機能について**
  S映像、S1映像にも対応します。（音声コードは同時に接続してください。）
  S映像……良い画質を得るため映像信号を輝度信号と色信号に分離したもの。
  S1映像 …S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオなどからの縦長映像は「フル」画面になります。
  S2映像 …S映像とS1映像機能に加え、ワイドクリアビジョン映像の場合は「ワイド」画面になります。
- **モニター出力の「S2映像」端子の出力信号について**
  ビデオ入力2、3の「S2映像」に入力した信号とBSデジタル放送の信号を出力します。
  （ビデオ入力1の「S2映像」は出力されません。）
- **接続端子の優先について**
  「S2映像」と「映像」端子は「S2映像」が優先します。（同時接続時）

地上放送（VHF／UHF）を楽しむ

1 電源 押して、テレビをつける

2 見たいチャンネルを選ぶ

3 音量 押して、お好みの音量にする

お知らせ

- 電源を切っても…
  チャンネルや音量などは記憶されます。
- 音量を下げると…
  消費電力や音のひずみが少なくなります。

リモコンが使えないとき

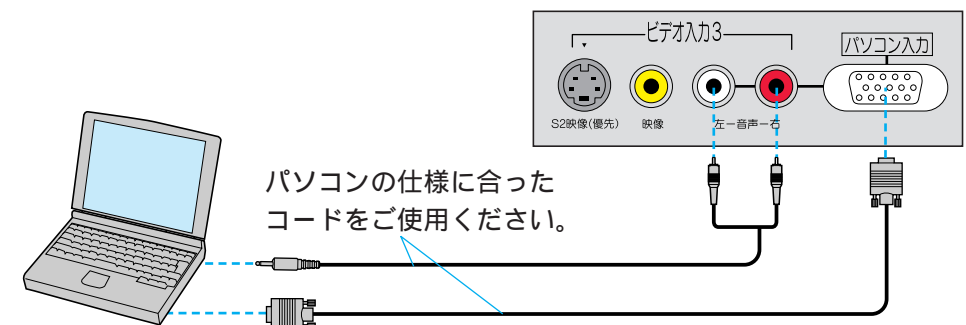
- チャンネルを選ぶ
- お好みの音量にする

パソコンを使う

まず、お確かめください

1 パソコンを接続する

音声の入力は前面の ビデオ入力3 の音声端子に接続（チューナーユニットの前面扉内）

パソコンの仕様に合ったコードをご使用ください。

- モノラル音声の場合は「左」の端子に接続してください。左右スピーカーから同じ音声が出力されます。
- パソコンの接続はC編：58ページをご覧ください。

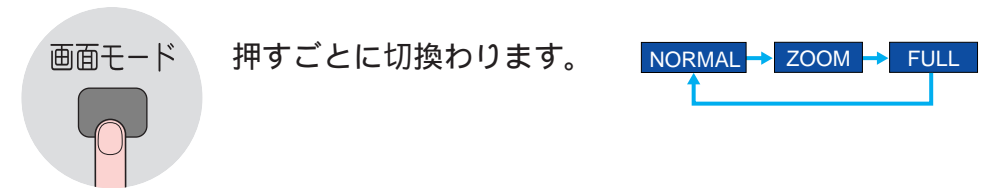
パソコンを使う

1 パソコン 押して、「PC」の画面に切換える

2 パソコンを操作する

■ 画面のサイズを切換えるときは

画面モード 押すごとに切換わります。

NORMAL → ZOOM → FULL

お知らせ

- パソコンを接続（チューナーユニットの前面扉内）し、リモコンの「メニュー」ボタンを押すと、英語でメニューを表示します。
  メニューからご希望の項目を選び、調整・設定をするときや、音量の調整、画面モードの表示、オフタイマーの設定なども英語表示となります。
- 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き（残像現象）を起こす恐れがあります。

ビデオなどの外部機器を楽しむ

まず、接続を確認する

ビデオデッキ（VHS）
DVDプレーヤー

背面 端子へ接続できます。詳しくは、C編を参照ください。

ビデオカメラは接続が簡単な前面の ビデオ入力3 端子をおすすめします。

1 テレビをつける

2 押すごとに切換わります。

（接続していない入力先には切換わりません）
※は、現在選択されているi-LINK接続機器の番号が表示されます。（☞A編：60ページ）

メモ
リモコンが使えないとき、チューナーユニットの 入力切換 ボタンでも切換わります。

3 接続機器を操作します。

お知らせ
- S映像をS2端子に入力した場合は、「S-ビデオ」の表示をします。
- 接続に合わせてビデオ入力やコンポーネント（色差）ビデオ入力の表示を書換えることができます。（☞C編：66ページ）

D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を楽しむ

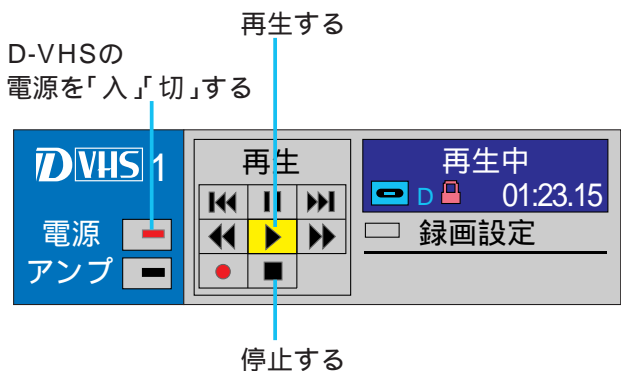
通常の操作（☞24ページ）以外に、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキの操作パネルを画面上に表示し、本機のリモコンで基本的な操作ができます。また、ハードディスクビデオレコーダーやDVDホームシアターサウンドシステムの操作もできます。（当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムのみ）

ビデオデッキ（D-VHS）

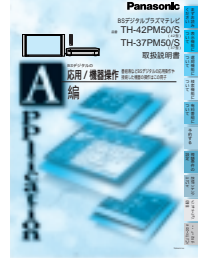
背面 端子へ接続できます。詳しくは、C編を参照ください。

1 押して、テレビをつける

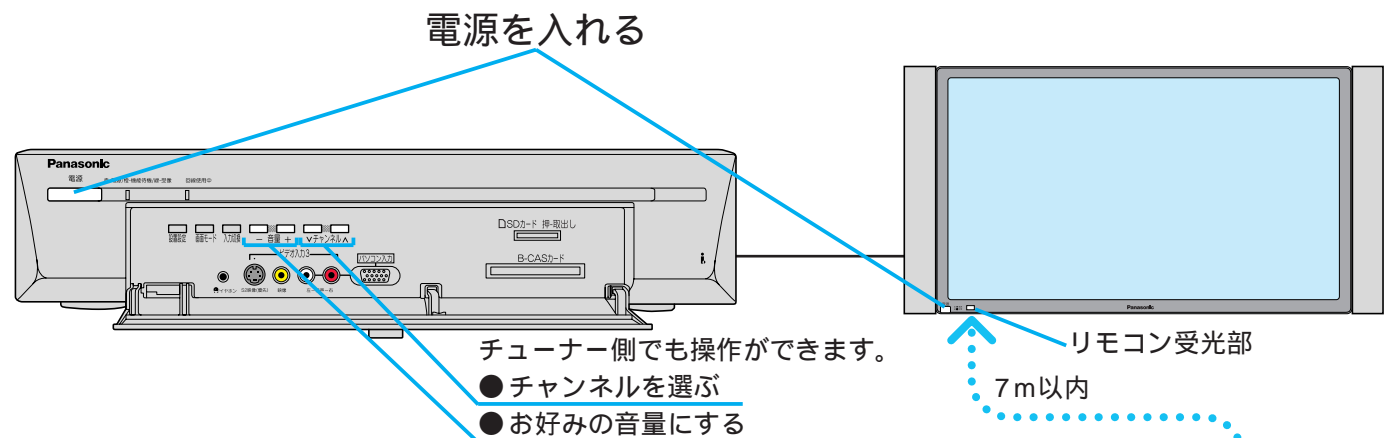
2 24ページの操作で、再生したいD-VHSの入力に切換える

3 押して、操作画面を表示する

■機器操作パネルを消したいときは

 ボタンを押す

機器操作パネルのさらに詳しい説明やハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムについては

別冊のA編：47ページをご覧ください。

お知らせ
- D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを、機器操作パネルで操作する場合、i.LINK端子への接続と（☞C編：54、55ページ）、i.LINK接続設定（☞A編：60ページ）が必要です。

BSデジタル放送を楽しむ

プリセット選局

本機では、あらかじめBSデジタル選局ボタン 1 ～ 10 にチャンネルを設定（プリセット）しています。直接 1 ～ 10 ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

例 1 に設定されているNHK（BS1）を選局する場合

押して、
テレビをつける

押す

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（☞A編：18ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（☞A編：35ページ参照）

押して、
お好みの音量にする

番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめわかっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

例 チャンネル番号101を選局する場合

押す

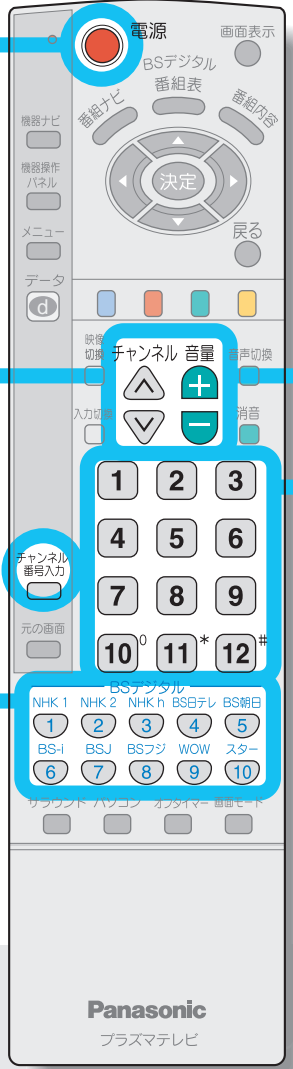
- 「チャンネル番号入力」画面が表示されます。

選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（☞A編：18ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（☞A編：35ページ）

押して、
お好みの音量にする

順送りして選ぶ（アップダウン選局）

リモコンのチャンネル △・▽ボタンを押すとチャンネルを順送りに選局することができます。

選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（☞A編：18ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（☞A編：35ページ）

工場出荷時のプリセット設定

1（101チャンネル）	NHK1（NHK BS1）	6（161チャンネル）	BS-i
2（102チャンネル）	NHK2（NHK BS2）	7（171チャンネル）	BSJ（BSジャパン）
3（103チャンネル）	NHKh（NHK ハイビジョン）	8（181チャンネル）	BSフジ
4（141チャンネル）	BS日テレ	9（191チャンネル）	WOW（WOWOW）
5（151チャンネル）	BS朝日	10（200チャンネル）	スター（スター・チャンネル）

※放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

お知らせ

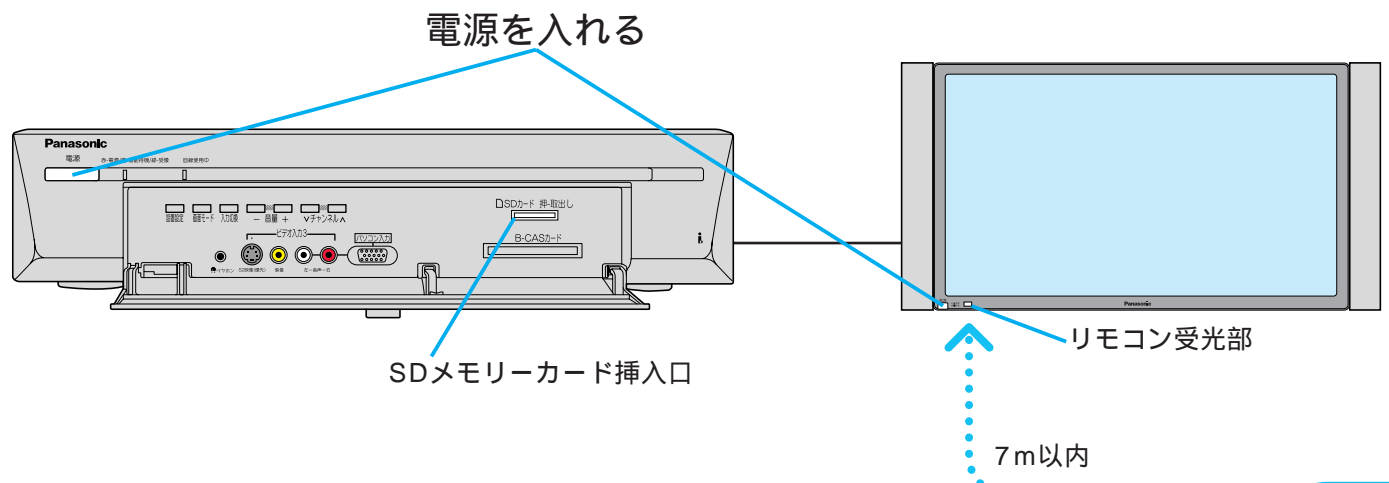
- プリセットされているチャンネルは変更ができます。（☞C編：40ページ参照）

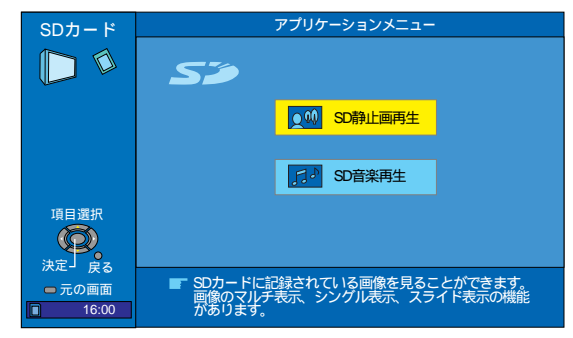
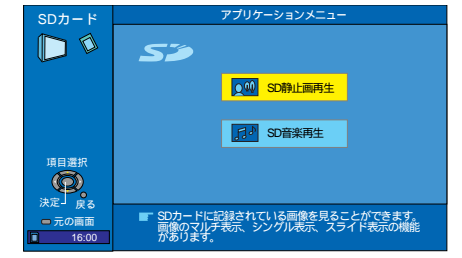
お知らせ

番号入力選局は…
- チャンネル番号を正しく入力しなかったときや、約5秒以内につづきの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局は…
- 「BSデジタル設定」画面の選局対象の設定により順送りするチャンネルが異なります。なお、順送りするチャンネルがない場合は選局できません。選局対象の設定についてはA編：40ページをご覧ください。

BSデジタル放送を録画されるときは…
- 録画予約をしてください。（☞A編：20ページ）
- ご覧中の番組を録画する場合も録画予約をしてください。
  録画予約の操作をしませんと違ったチャンネルの番組が録画されたり、全く録画されなかったりします。

SDメモリーカードで画像や音楽を楽しむ

3

押して、
項目を選び、

押す

画像を見る場合は SD静止画再生 を選ぶ

音楽を聞く場合は SD音楽再生 を選ぶ

●SDメモリーカードに画像データや音楽データが記録されていない場合は選択できません。

4

SD静止画再生

「マルチ表示」画面

●画像の表示方法には、他に2つあります。
「シングル表示」… 青ボタンを押す
「スライド表示」… 赤ボタンを押す

SD音楽再生

● ボタンで ▶ を選び、
決定 ボタンを押せば音楽の再生が始まります。

■画面を消したいときは

元の画面 ボタンを押す

「SD静止画再生」「SD音楽再生」の
さらに詳しい説明は

A編

別冊のA編:
62～69ページを
ご覧ください。

お願い

●SDメモリーカードからデータを読み込み中は、画面左下に「アクセス中」が表示されます。
このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

「画面表示」「消音」「オフタイマー」について

放送内容などを知りたいとき「画面表示」

押すとチャンネル番号やオフタイマー残り時間、画面モードの状態などの表示をします。最後はチャンネル番号が残り、表示を消すときもこのボタンを押します。（表示は約30秒後自動的に消えます。）

■BSデジタル放送のときは
●番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示できます。（☞A編：12ページ）

一時的に音を消したいとき「消音」

電話応対や来客などのときに便利です。

押すと画面に「消音」の文字が出て音が消えます。もう一度押すと解除されます。

●電源の「切」「入」や、音量を変えても解除されます。

タイマーで自動的に電源を切る「オフタイマー」

押すごとに設定時間（分）が選べます。

●「0」表示にするとオフタイマーが解除されます。
●電源が切れる3分前になると3、2、1と点滅表示の後、自動的に電源が切れます。
●オフタイマーの残り時間を知りたいときは ボタンを押します。

お知らせ
●オフタイマーをセット中に停電などで電源が切れると…停電が回復後オフタイマーは解除され、リモコンで電源を切った状態になります。

自動的に電源を切りたいとき（無信号自動オフ、無操作自動オフ）

「無信号自動オフ」
●「入」にすると、テレビ放送が終了して電波が来なくなったときなど、約10分後自動的に電源が切れます。
「無操作自動オフ」
●「入」にすると最後の操作から約3時間以上、リモコンや本体操作部で操作をしなかったとき、自動的に電源が切れます。

まず、14、15ページの手順で「その他の設定」画面にする。

例「無操作自動オフ」の設定をする場合

1 押して、「無操作自動オフ」を選び

2 押して、設定する

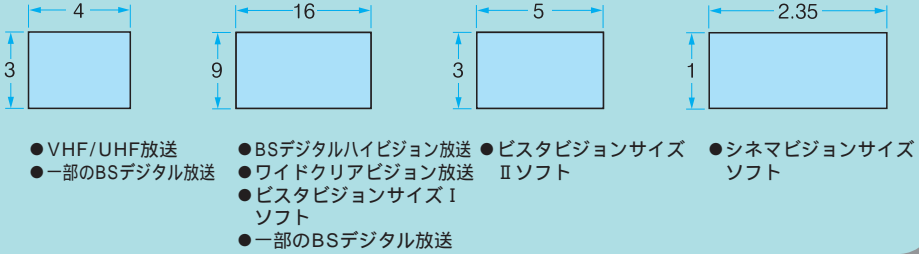
メニュー
押して、終了する

●「その他の設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ
●無操作自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無操作自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
●無信号自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無信号自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
●ビデオ入力やコンポーネント（色差）ビデオ入力時も、映像がなくなると無信号自動オフが働きます。ただし、BSデジタル放送受信時や、ビデオなどがブルーバック画面のときは働きません。
●パソコン入力時は、無信号自動オフおよび無操作自動オフは働きません。

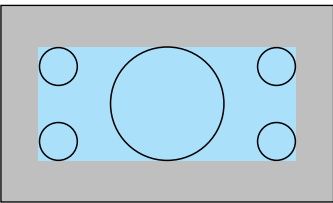
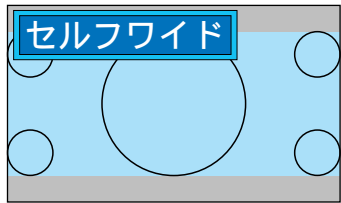
映像に合わせた拡大画面にする

メモ ■映像の横縦比（アスペクト比）
放送や映像ソフトの映像比率（画面の横と縦の比）には、次のような種類があります。

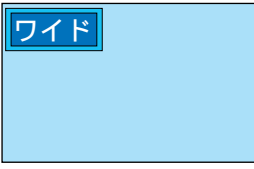
4:3	16:9	5:3	2.35:1
●VHF/UHF放送 ●一部のBSデジタル放送	●BSデジタルハイビジョン放送 ●ワイドクリアビジョン放送 ●ビスタビジョンサイズⅠソフト ●一部のBSデジタル放送	●ビスタビジョンサイズⅡソフト	●シネマビジョンサイズソフト

自動で拡大画面にする場合

1回押すと「セルフワイド」になり自動的に拡大画面になります。
●本体のボタンでも操作できます。

シネマビジョンサイズの映像

セルフワイド

普通の映像（4：3）や横に長い映像（16：9、5：3）のとき

C編：29ページで設定した「ジャスト」画面か、「ノーマル」画面に。

「ワイドクリアビジョン」の放送と映像ソフトも楽しめます。

ワイド

ED2信号を検出すると自動的に「ワイド」画面になります。（☞C編：29ページ）
現行のテレビ放送（横縦比4：3）と画面のワイド化（横縦比16：9）の両立性を確保しつつ、映像の高画質化を目的としたものです。本機は自動的に画面を拡大する回路を内蔵しています。

■「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると「ワイド」にはなりません。（再度「ワイド」にするときは、画面モードボタンを1回押す。）

映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合

押すごとに画面モードが切換わります。（表示が消えてから押すと セルフワイド に戻ります）
セルフワイド → ノーマル → ジャスト → ズーム → フル → （セルフワイドに戻る）
●本体のボタンでも操作できます。

映像	画面モード	拡大画面
ノーマル	ノーマル に切換える	普通の映像（4：3）そのまま
	ジャスト に切換える	横に広がり、違和感の少ない映像に
横長	ズーム に切換える	画面いっぱいに映像を拡大
縦長	フル に切換える	横に広がり、正常な映像に

お知らせ

■コマーシャルのときなど画面サイズが変わって見づらく思われるとき（映像の比率が短い時間で変わるため）
●画面モードボタンでご希望の拡大画面をお選びください。
■接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
●ID-1検出をしたときも、画面サイズが切換わります。（☞C編：28ページ）

お知らせ

●画面モードは地上波放送、BSデジタル放送（またはD-VHS）、ビデオ1～3・色差ビデオ1～2・パソコンごとに記憶します。
●525p（480p）信号のときは「フル」、「ズーム」の切換えになります。
●750p（720p）信号、1125i（1080i）信号のときは「フル」に固定されます。
●パソコン信号のときは「NORMAL」「ZOOM」「FULL」の切換えになります。
●接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
●ID-1検出をしたときも、画面サイズが切換わります。（☞C編：28ページ）

画面の位置やサイズを調整する

<テレビ画面やビデオ入力のとき>

まず、調整画面にする

1 押して、調整したい画面モードにする

2 押して、「メニュー」画面を出し

3 押して、「画面位置・サイズ」を選び、決定を押す

画面位置・サイズ
標準
サイズ
1
戻る
元の画面

例「ノーマル」画面の場合

画面の幅を切換える

ノーマル 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）

押すと映像を左右縮小します。（サイズ「1」）

押すと映像を左右に拡大します。（サイズ「2」）

（サイズ「1」）（サイズ「2」）

ジャスト 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）

押すと映像を左右縮小します。（サイズ「1」）

押すと映像を左右に拡大します。（サイズ「2」）

（サイズ「1」）（サイズ「2」）

●標準に戻すとき→ 決定

●「メニュー」画面に戻るとき→ 戻る

●調整が終わったら→ メニュー

画面の縦サイズを変える

ズーム 画面または1125i映像のとき

押すと、上下を縮小します。（最小1）

押すと、拡大します。（最大15）

●標準に戻すとき→ 決定

●「メニュー」画面に戻るとき→ 戻る

●調整が終わったら→ メニュー

※1125i映像のときは、サイズ「1」、サイズ「2」の切換えになります。（下部をほぼ基として上部が変化）

画面外にはみ出た映像を見る

ズーム・ジャスト 画面、およびワイドクリアビジョン映像のとき

押すと、映像が上がります。

押すと、映像が下がります。

●上下の調整は、「ズーム」およびワイドクリアビジョン映像では、連続変化し、「ジャスト」では、上下各1段階です。

ご注意

●このテレビは、各種の画面モード切換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

●テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換え機能（ズーム等）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

●ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

お知らせ

●チューナー背面の「モニター出力」端子からの信号は画面サイズや位置を調整しても変わりません。

●画面モードが「フル」（1125i映像以外）のときは調整できません。

パソコン画面の調整／設定

<パソコン入力画面のとき>

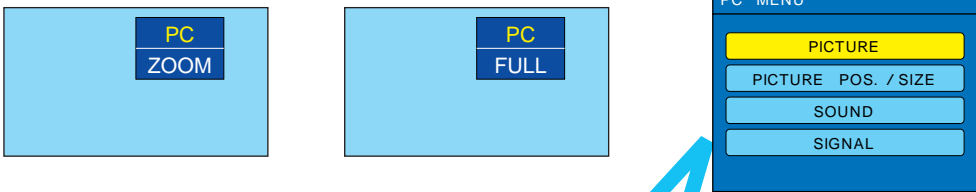
まず、メニュー画面を出す

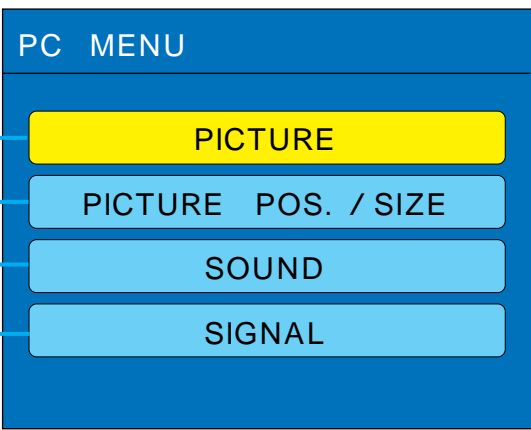
① パソコン を押して、PC画面にする。

② 画面モード を押して調整／設定したい画面にする。

③ メニュー を押して「PC MENU」を出す。

PC ZOOM　PC FULL

PC MENU: PICTURE / PICTURE POS.／SIZE / SOUND / SIGNAL

PC MENU画面の説明

- PICTURE：パソコン画面の濃淡が調整可能（専門的な細かな調整も可能です。）
- PICTURE POS.／SIZE：パソコン画面の位置、サイズが調整可能
- SOUND：音質が調整可能
- SIGNAL：パソコンの映像信号（同期信号）に合わせた設定が可能

●37〜39ページの各調整、設定はこの「PC MENU」を出した状態から行ってください。

Panasonic プラズマテレビ

お知らせ

●調整、設定内容は電源を「切」、「入」しても記憶しています。

●調整画面を出したまま、約1分以上、次の操作をしない場合は表示が消えます。

●各調整レベルを標準値に戻すには「NORMALIZE」を選び、決定 を押します。

●調整や設定を終了後、調整／設定画面を消すには再度 メニュー を押します。

●画面に何も映っていない（無信号）状態では調整不可能です。

表示画面の説明

例「PICTURE POS./SIZE」画面

PICTURE POS./SIZE: NORMALIZE NORMAL / H-POS / H-SIZE / V-POS / V-SIZE / CLOCK PHASE

△ ◀か▶を押すと左右に動きます。（調整の目安に。）

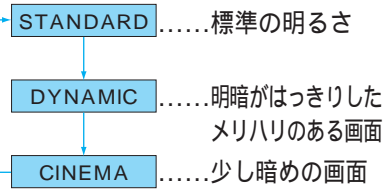
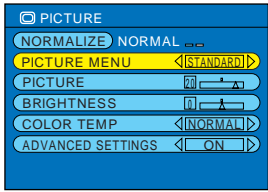
▲▼で項目が選べます。

■最適な映像を選ぶ（映像メニュー <PICTURE MENU>）

①「PC MENU」から▲▼を押して、「PICTURE」を選び、決定 を押す。（「PICTURE」画面になる）

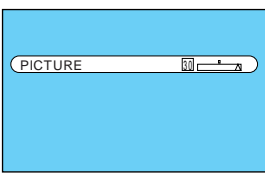
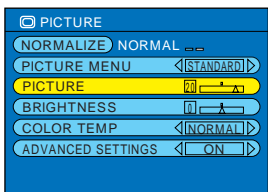
② ▲か▼を押して、<PICTURE MENU>を選び、

③ ◀か▶を押して、ご希望の映像メニューを決める

- STANDARD……標準の明るさ
- DYNAMIC……明暗がはっきりしたメリハリのある画面
- CINEMA……少し暗めの画面

■お好みの画質に調整する

①「PC MENU」から▲▼を押して、「PICTURE」を選び、決定 を押す。（「PICTURE」画面になる）

② ▲か▼を押して、調整したい項目を選ぶ。

③ ◀か▶を押して、調整する。

（調整中の画面）

お知らせ

●「ADVANCED SETTINGS」を「OFF」にするとテクニカル調整の内容は反映されません。

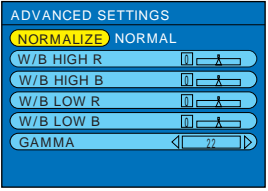
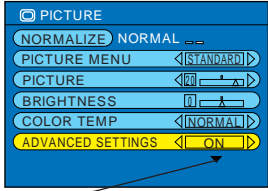
■テクニカル調整…一層きめ細かな調整をする

① 上記の手順③で「ADVANCED SETTINGS」を「ON」にする。

▼マークが出ます。

② ▼を押して、（「ADVANCED SETTINGS」の表示になる）

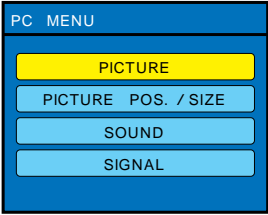
さらに▲か▼を押して調整したい項目を選び、

③ ◀か▶を押して、調整する。

●「画質の調整」画面に戻すとき→▲▼で「NORMALIZE」より上、または「GAMMA」より下を選ぶ。

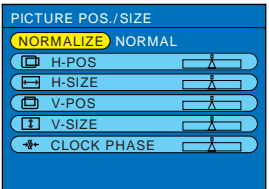
項目	調整範囲	内容
BLACK EXTENSION［黒伸長］	0（補正なし）〜8（補正強）	中間より暗い部分の階調の変化を調整します
W/B HIGH R［R ドライブ］	-30（色温度高）〜30（色温度低）	赤色の明るい部分の色温度を調整します
W/B HIGH B［B ドライブ］	-30（色温度低）〜30（色温度高）	青色の明るい部分の色温度を調整します
W/B LOW R［R カットオフ］	-30（色温度高）〜30（色温度低）	赤色の暗い部分の色温度を調整します
W/B LOW B［B カットオフ］	-30（色温度低）〜30（色温度高）	青色の暗い部分の色温度を調整します
GAMMA［ガンマ］	2.0　2.2　2.5	通常は「2.2」でご使用ください

パソコン画面の調整／設定

<パソコン入力画面のとき>

●36ページの要領で「PC MENU」を出してください。

■画面の位置や大きさ（サイズ）の調整

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「PICTURE POS./SIZE」を選び、決定 を押す。
（「PICTURE POS./SIZE」画面になる）

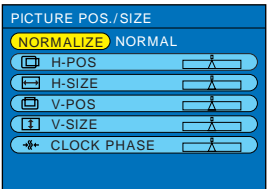
② ▲ か ▼ を押して、調整したい項目を選び、

③ ◀ か ▶ を押して、見やすいように調整する。

■クロック位相合わせ

パソコンの信号によっては画面に輪郭のにじみやぼけが発生することがあります。

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「PICTURE POS./SIZE」を選び、決定 を押す。

② ▲ か ▼ を押して、「CLOCK PHASE」を選び、

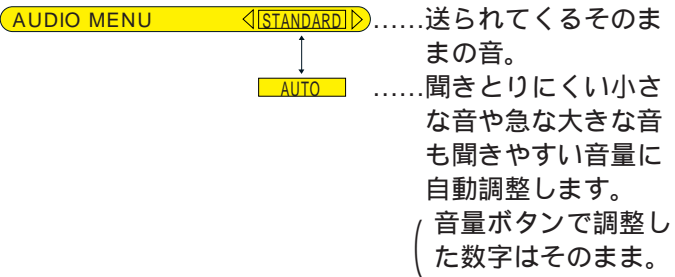
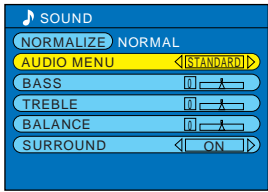
③ ◀ か ▶ を押して、見やすいようにする。

■最適な音質を選ぶ（音声メニュー <AUDIO MENU>）

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「SOUND」を選び、決定 を押す。

② ▲ か ▼ を押して、「AUDIO MENU」を選び、

③ ◀ か ▶ を押して、ご希望の音声メニューを選ぶ。

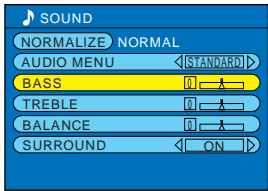
AUDIO MENU STANDARD ……送られてくるそのままの音。

AUTO ……聞きとりにくい小さな音や急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。
（音量ボタンで調整した数字はそのまま。）

■お好みの音質に調整する

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「SOUND」を選び、決定 を押す。

② ▲ か ▼ を押して、調整したい項目を選び、

③ ◀ か ▶ を押して、調整する。

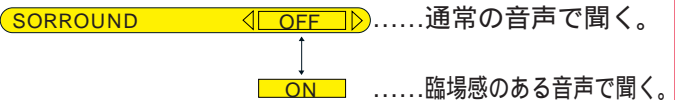
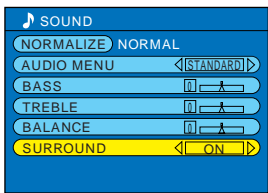
お好みの音声に調整できる項目は、次の3つです。

BASS ……低音調整
TREBLE ……高音調整
BALANCE ……左右音量調整

■コンサートホールの臨場感を楽しむ

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「SOUND」を選び、決定 を押す。

② ▲ か ▼ を押して、「SURROUND」を選び、

③ ▶ を押して、「ON」にする。
（「OFF」… ◀ を押す。）

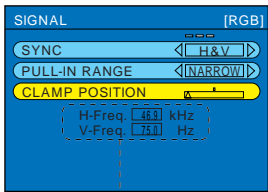
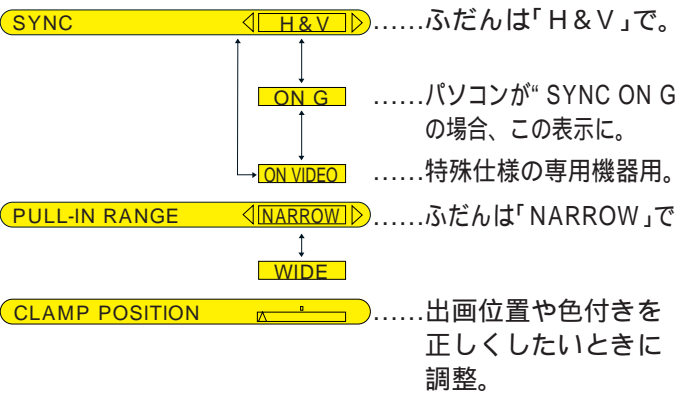
SORROUND OFF ……通常の音声で聞く。
ON ……臨場感のある音声で聞く。

●リモコンの サラウンド でも「ON」、「OFF」の設定ができます。
●サラウンドの設定は音声メニュー（AUDIO MENU）の「STANDARD」、「AUTO」ごとに記憶します。

■パソコン画面を安定させる

①「PC MENU」から ▲▼ を押して、「SIGNAL」を選び、決定 を押す。

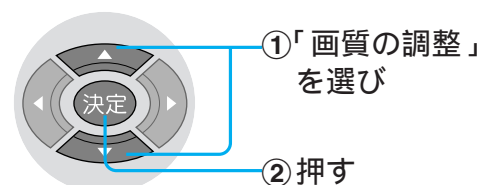
② ▲ か ▼ を押して、項目を選び、

③ ◀ か ▶ を押して、調整・設定する。

SIGNAL [RGB]
SYNC H&V
PULL-IN RANGE NARROW
CLAMP POSITION
H-Freq. kHz
V-Freq. Hz

現在接続しているパソコン・信号の周波数を表示します。
●H-freq.ー水平走査周波数（kHz）
●V-freq.ー垂直走査周波数（Hz）

最適な画質を選ぼう

「映像メニュー」

まず、「画質の調整」画面にする

●14、15ページの手順で「メニュー」画面にしたあと、次の操作をしてください

①「画質の調整」を選び

②押す

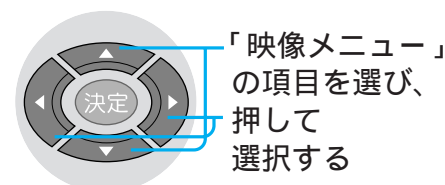
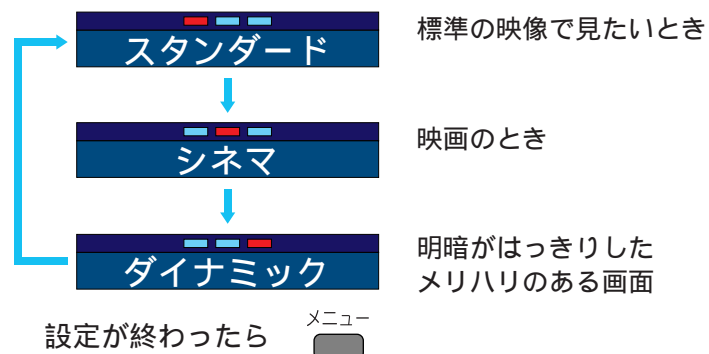
「画質の調整」画面

最適な映像メニューを選ぶ

映像ソフトの明るさや、部屋の明るさに合った最適映像で楽しめます。

「映像メニュー」の項目を選び、押して選択する

スタンダード	標準の映像で見たいとき
シネマ	映画のとき
ダイナミック	明暗がはっきりしたメリハリのある画面

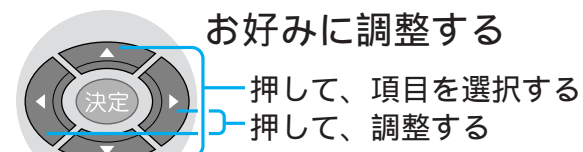
■設定が終わったら→ メニュー

お好みの画質にしよう

「映像メニュー」の内容をお好みの画質に調整したいとき

1 40ページの手順で調整したい「映像メニュー」を選ぶ

例 映像メニュー「スタンダード」のとき

2 お好みに調整する

押して、項目を選択する
押して、調整する

項　目

ピクチャー
部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに

黒レベル
夜の画面や髪の毛などを見やすく

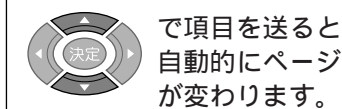
色の濃さ
やや、うすめの色に

色あい
肌色をきれいに

シャープネス
シャープな映像に

色温度
お好みの色調に
（低：暖色、高：寒色）

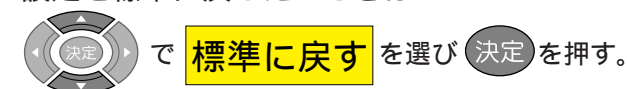
●「画質の調整」画面は「テクニカル」を「オン」にすると2ページ構成になります。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

テクニカル
映像メニュー「スタンダード」、「シネマ」のとき、テクニカル「オフ」、「オン」が切換わります。

テクニカル オフ オン
さらにきめ細かく、プロ級に調整した映像がご覧になれます。
（☞42ページ）

テクニカル オフ オン
今選んでいる映像メニューの画質になります。

■設定を標準に戻したいときは

 で 標準に戻す を選び 決定 を押す。

■設定が終わったら→ メニュー

お知らせ

● 調整値は色差（又はBSデジタル）の525i、525p、1125i、750P、それ以外の映像ごとに、さらに映像メニュー（スタンダード、シネマ、ダイナミック）ごとに記憶します。
●「ピクチャー」を明るい映像で上げても変化しません。また暗い映像で下げても変化しません。

画質をプロ級に調整しよう

「テクニカル調整」

映像メニューが「スタンダード」か「シネマ」のときのみ調整ができます。

一層きめ細かな調整をする（テクニカル調整）

1 41ページの手順で「テクニカル」を「オン」にする

2 押して、2／2ページの「テクニカル」画面にする

3 押して、各項目を選び

例 Rドライブを選んだとき

押して、調整する

●通常画面に戻すとき→ メニュー

●「画質の調整」画面に戻すとき→ で「標準」より上、または「Bカットオフ」より下を選ぶ

●標準に戻すとき→ で 標準に戻す を選び 決定 を押す

項目	調整範囲	内容
黒伸長	0（補正無し）～15（補正強）	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
Rドライブ	-30（色温度高）～30（色温度低）	赤色の明るい部分の色温度を調整します。
Bドライブ	-30（色温度低）～30（色温度高）	青色の明るい部分の色温度を調整します。
Rカットオフ	-30（色温度高）～30（色温度低）	赤色の暗い部分の色温度を調整します。
Bカットオフ	-30（色温度低）～30（色温度高）	青色の暗い部分の色温度を調整します。

映像のざらつき感を少なくする「NR」
ビデオなどの映像が不自然に見えるとき「3次元Y／C分離」

まず、14、15ページの手順で「その他の設定」画面にする。

お知らせ

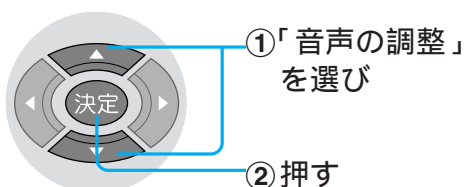
●「NR」はBSデジタル放送やコンポーネント（色差）ビデオ入力で525P、750P、1125i信号のときは働きません。

●「3次元 Y／C分離」はBSデジタル放送、D-VHS、HDR、コンポーネント（色差）ビデオ1～2、ワイドクリアビジョン映像のときは選べません。

最適な音質を選ぼう

「音声メニュー」

まず、「音声の調整」画面にする

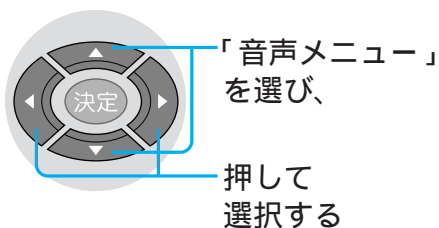
14、15ページの手順で「メニュー」画面にしたあと、次の操作をしてください

①「音声の調整」を選び

②押す

「音声の調整」画面

最適な音声メニューを選ぶ

「音声メニュー」を選び、

押して選択する

オート　小さな音・大きな音を聞きやすい音量に自動調整

スタンダード　送られてくるそのままの音

ダイナミック　メリハリ感を強調した音に

快聴　音の高域部分（4kHz付近）を強調

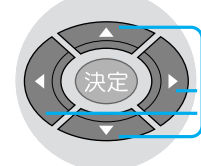
少し聞こえにくくなったと思われる高齢の方へのおすすめ機能です。

パソコン入力画面のときは オート か スタンダード の選択になります。

■設定が終わったら→ メニュー

「音声メニュー」の内容をお好みの音質に調整したいとき

1 44ページの手順で調整したい「音声メニュー」を選ぶ

2 お好みに調整する

押して、項目を選択する
押して、調整する

例 音声メニュー「スタンダード」のとき

バス　低音を調整するとき

トレブル　高音を調整するとき

バランス　左右の音量を調整するとき

サラウンド　コンサートホールの臨場感を楽しむとき

「サラウンド」を「オフ」から切換えると

ステレオ音声やソフト再生のとき
サラウンド ワイド

モノラル音声のとき
サラウンド モノラル

になります。

※リモコンにも サラウンド ボタンがありますが、ここでの設定と連動しています。

■項目を単独で調整したいときは

を押して、項目を選び　で調整する

■設定を標準に戻したいときは

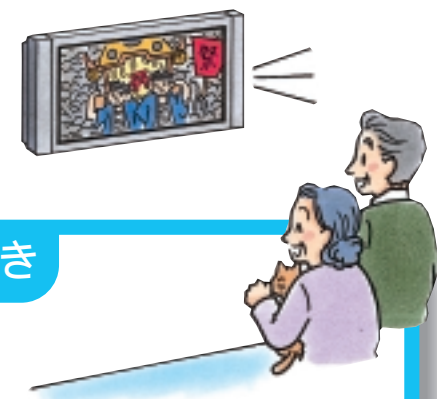
で 標準に戻す を選び を押す

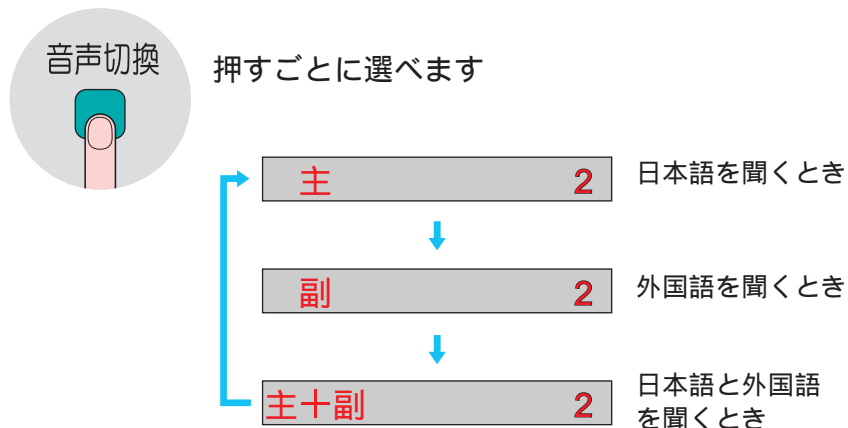
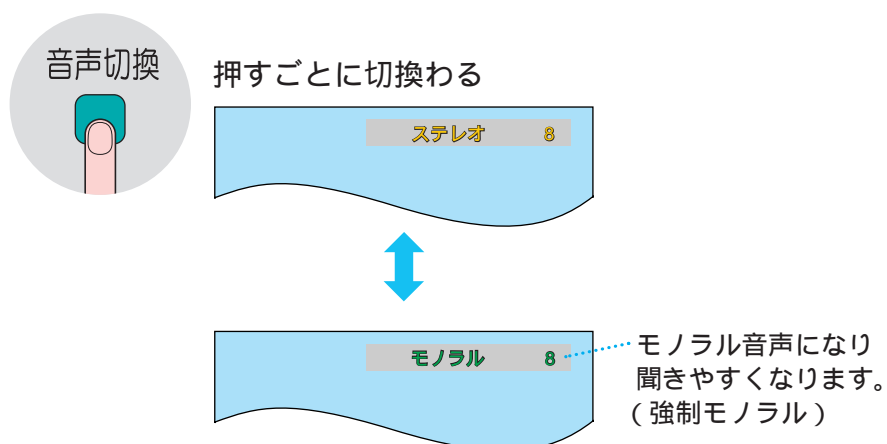
■設定が終わったら→ メニュー

お知らせ

● 音声メニュー（オート、快聴）は聞きとりにくい小さな音や、急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。（音量ボタンで調整した数字はそのまま。）

お知らせ

●「バス」「トレブル」「バランス」「サラウンド」は、音声メニューごとに記憶します。
● 2ヵ国語（二重）放送で「主＋副」音声のときはサラウンドは「オフ」になります。
● ヘッドホンまたはイヤホンをご使用の場合、「音声の調整」画面での調整機能は働きません。

音声多重放送を聞く／コンサートホールの臨場感を楽しむ

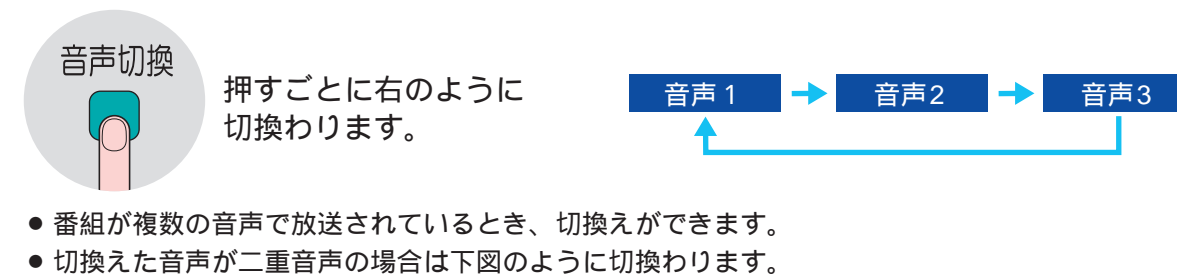
2ヵ国語（二重）放送の副音声を聞く

お知らせ

● ステレオ放送は地上放送の場合のみ、モノラルに切換えができます。

2ヵ国語（二重）放送のとき…

● 電源を「切」「入」したときは「主」に戻ります。
● 放送によっては「主」で原語を、「副」で日本語を送る場合があります。
● 外部入力時は、接続機器側で切換えてください。ただし次の場合は本機側で切換えてください。
・i.LINK接続のD-VHSビデオデッキでBSデジタル放送をデジタル録画した場合

BSデジタル放送の音声信号を切換えるとき

番組により、音声の信号を切換えて楽しむことができます。
切換え可能な信号の内容は番組により異なります。
また切換えた信号が有料な場合もあります。

音声切換

押すごとに右のように切換わります。

● 番組が複数の音声で放送されているとき、切換えができます。
● 切換えた音声が二重音声の場合は下図のように切換わります。

（例）音声1が二重音声の場合

二重音声について

二重音声には2種類あります。

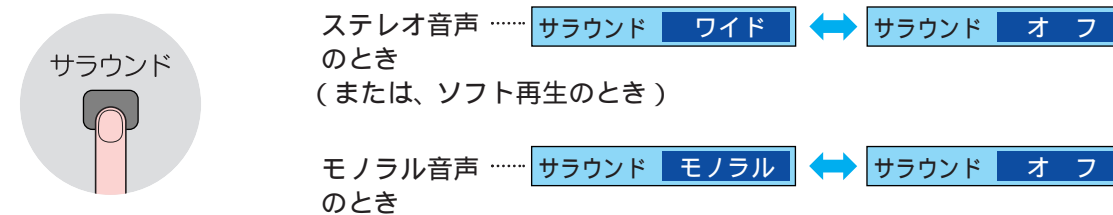
● 2ヵ国語放送
主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）

● 音声多重放送
主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

お知らせ

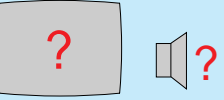
● 有料番組を購入するときは、画面の表示に従って操作してください。

臨場感のある音声を楽しむ

ステレオ音声のとき（または、ソフト再生のとき）	サラウンド　ワイド	⇔	サラウンド　オフ
モノラル音声のとき	サラウンド　モノラル	⇔	サラウンド　オフ

お知らせ

● 2ヵ国語（二重）放送で「主＋副」音声のときはサラウンド「オフ」になります。
● 音声メニューの中にも「サラウンド」がありますが、ここでの選択と連動しています。
● サラウンドの内容は、音声メニューおよびパソコンごとに記憶します。

故障かな!?

テレビ放送のとき(VHF・UHF)

症状	原因と処置	ページ
映像が揺れる 映像が不鮮明	●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ ●アンテナ線は正しく接続されていますか？ ●ビデオをご使用の場合はビデオの「テレビ／ビデオ」切換えが「テレビ」側に切換わっていますか？ ●チャンネルの微調整は正しく調整されていますか？	— C編48 — C編26
画面にはん点が出たり、画面が揺れる	●自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？	—
映像が2重3重に見える	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波を受けていませんか？ ●GRの設定が「オフ」になっていませんか？	— — C編27
色模様が出たり、色が消える	●他のテレビからの影響（妨害電波）を受けていませんか？ →本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ビデオで選局すると一瞬横縦に黒い帯が出る	●チャンネルが切換わるときに発生するノイズです。故障ではありません。	—
あるチャンネルだけ映りが悪い	●チャンネルの微調整は、正しいですか？	C編26
電源が入らない	●ディスプレイユニットやチューナーユニットの電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●ディスプレイユニットと、チューナーユニットの接続ケーブルは正しく接続されていますか？ ●リモコンで電源が入らない場合は、ディスプレイユニットとチューナーユニットの電源が「入」になっていますか? ●ディスプレイユニットの電源ランプが、緑色に約10秒程度点滅する場合、チューナーユニットの電源が「入」になっているかをお確かめください。	— C編6 22 22
リモコンが操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ ●本機専用リモコンを使用していますか？（他のリモコンでは動作しません。）	C編7 — —
時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。	—

症状	原因と処置	ページ
セルフワイドのとき画面のサイズが時々変わる	●ソフトによっては自動的に「ズーム」になる場合でも最初暗いシーンのときは、しばらく「ズーム」にならない場合があります。 ●CM映像のとき画面サイズが変わり、見づらいときは画面モードを切換えてご覧ください。	— 33
画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができます。	33
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	●映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか？ →画面位置の調整をしてください。	35

チューナーユニット、ディスプレイユニットについて

症状	原因と処置	ページ
画面に光らない点がある	●プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	—
残像が発生する	●ビデオの静止画像などを長時間映したままにしておくと、焼付き（残像）が発生する場合があります。この場合、テレビ番組など、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、次第に軽減されます。	—
内部から音がする	●電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。	—
チューナーユニットやディスプレイユニットの一部が熱くなる	●天面や背面の一部は温度が高くなっておりますが、品質、性能には異常ありませんので、あらかじめご了承ください。	—
チューナーユニットから「ヒュンヒュン」と音がする	●放熱のためのファンが回転したときに発生する風切り音です。電源を入れたときもファンの風切り音が聞こえる場合があります。また電源を切っている状態（電源ランプ：橙色）でもダウンロードや情報の受信など自動的に動作するときもファンの音がします。	—

故障かな!?

BSデジタル放送のとき

症　状	原　因　と　処　置	ページ
電源をオン（受像）にしたときや選局操作したときに「アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。」と表示が出る	●BS-IF入力端子に接続されているアンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していませんか。 →電源をオフにして、異常個所を調べ原因を取り除いてください。処置後は電源をオン（受像）にしたときに「アンテナとの接続に不具合があります。…」と表示されないことを確認してください。 ●「BSアンテナ設定」で「BSアンテナ電源」の設定が間違っていませんか。 →電源をオフにしてからBS-IF入力端子に接続されているケーブルを抜き、電源をオン（受像）にして「BSアンテナ電源」の設定を確認してください。	C編 42
映像も音も出ない	●「BSアンテナ設定」は正しく設定や調整ができていますか。 →「BSアンテナ設定」を正しく設定や調整してください。	C編 42
映像や音声が出なくなったり または時々出なくなる 映像が静止したり または時々静止する	●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。 →「BSアンテナ設定」で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。	C編 42
	●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星放送は、雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	—
有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	C編 50
	●有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。	—
	●電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。	C編 34

症　状	原　因　と　処　置	ページ
予約が実行されない	●「視聴」で予約して、電源がオフ（または機能待機）になっていませんか。 →「視聴」で予約した場合、電源をオフ（または機能待機）にしていると予約が実行されません。	A編 21
画面に「購入できませんでした。」などが表示され購入または予約ができない状態が続く	●電話回線が正しく接続されていますか。 →電話回線を正しく接続してください。	C編 51
	●「電話設定」が間違っていませんか。 →「電話設定」を正しく設定してください。	C編 34
	●B-CASカードが正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	C編 50
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか。 →メニューや操作説明画面などを消してください。 ●BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか。 →BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」に設定してください。	A編 41
	●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕の場合、字幕のアイコン（シンボルマーク）が表示された番組を視聴してください。	—
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—

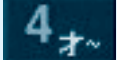
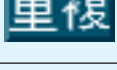
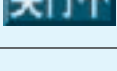
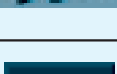
故障かな!?

BSデジタル放送のとき（つづき）

症状	原因と処置	ページ
電話機にノイズ（雑音）が入る	●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	—
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	●本機とBSアンテナを接続するとき、BSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →BSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	—
急に画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても自動的に受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	—

接続機器の操作をするとき

症状	原因と処置	ページ
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく設置できていますか。 →Irシステムケーブルを正しく接続、設置してください。	C編53
	●「Irシステム」の設定は正しいですか。 →「Irシステム」の設定を正しく行ってください。	C編60
	●録画機器は正しく準備できていますか。 →録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。	—
i.LINK対応機器が操作できない	●本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。 →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー合わせて2台とDVDホームシアターサウンドシステム1台までです。	—
	●i.LINK接続設定で「使用する」に設定されていますか。 →「使用しない」に設定していると操作できません。「使用する」に設定してください。	A編60

本機を使用していないとき

症状	原因と処置	ページ
テレビを使用していないのに、内部から「カチッ」と音がする	●BSデジタル放送の番組情報などを送受信するため、チューナーユニット内部の回路が自動的に動作する音です。	—
	●BSデジタル放送を予約録画した時など、予約に従いチューナーユニット内部の回路が自動的に動作する音です。	—
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプ「橙」が点灯したまま	●有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態（橙ランプが点灯）になる場合があります。	—

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。
主なアイコンとその内容は次のとおりです。

	アイコン	内容	アイコン	内容
番組情報関連	テレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）の番組	ラジオ	BSラジオ放送の番組
	データ	BSデータ放送の番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
	+Ⓓテレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組に合わせたBSデータ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組	Ⓓテレビ	BSデジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組とは別のBSデータ放送を行っている番組
	+Ⓓラジオ	BSラジオ放送番組で番組に合わせたBSデータ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組	Ⓓラジオ	BSラジオ放送番組で番組とは別のBSデータ放送を行っている番組
	信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）
	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合
	モノラル	モノラル音声の番組	主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合
	ステレオ	ステレオ音声の番組	有料	有料の番組（ペイ・パー・ビュー番組）
	デジタル×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	無料	無料の番組
	アナログ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組	マルチビュー	マルチビュー放送の番組
	デジタル1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報がふくまれている番組
	デジタル×出力	i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組	視聴	「視聴」で予約している番組
	アナログ×出力	モニター出力端子から映像・音声信号を出力しない番組	録画	「録画」で予約している番組
		本機が電話回線を使用中の場合	20才~	視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）
	予	予約している番組		

	アイコン	内容	アイコン	内容
メール関連		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）
視聴制限関連	4才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連	視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約
	録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約	録画 D-VHS	D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約
	録画 HDR	ハードディスクビデオレコーダーで設定した「録画」の予約	録画 i.LINK	外部のi-LINK機器から設定されている予約
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
	済	予約の実行が予定通り終了した予約	済メール	予約の実行に問題が起こった予約（メールで問題内容を確認できます。（☞A編：45ページ））
	実行中	現在、予約を実行している予約	¥	有料の番組（ペイ・パー・ビューの番組）
	リレー	イベントリレー予約が実行された予約（☞A編：27ページ）		
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行った		

● 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内　　容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。（☞C編：34ページ）
受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。	有料番組を購入しなかった場合です。再度、購入操作を行ってください。
現在､このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合もあります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。（☞C編：50ページ）
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか、BSアンテナ設定でBSアンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。（☞C編：42ページ）
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。

仕様

このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

本体			
品番		TH-42PM50/S（42型）	TH-37PM50/S（37型）
種類		BSデジタルプラズマテレビ	
使用電源		AC100V　50／60Hz	
消費電力		347W	277W
		本体電源（ディスプレイユニット、チューナーユニット共）「切」時　約0.9W、リモコンで電源「切」時　約1.3W 機能待機時　約40W	
受信チャンネル		VHF ch1～12 ／ UHF ch13～62 ／ CATV c13～c38 ／ BSデジタル 000～999	
音声実用最大出力		16W（8W＋8W）JEITA	
スピーカー		専用分離型（ウーハー：8cm丸型4コ　ツイーター：6cm丸型2コ）	
プラズマディスプレイパネル		駆動方式　AC型 42型　アスペクト比16：9	駆動方式　AC型 37型　アスペクト比16：9
画面寸法		幅92.0cm　高さ51.8cm　対角105.6cm	幅81.8cm　高さ46.1cm　対角93.9cm
画素数		●408,960画素（横852×縦480）［ドット数2,556×480］プログレッシブ	
動作使用条件		周囲温度：0℃～40℃	
画面の輝度		パネル単体780cd/m²　実用上400cd/m²	パネル単体650cd/m²　実用上330cd/m²
コントラスト比		3000：1　（周囲光無し時）	3000：1　（周囲光無し時）
視野角		上下・左右160度	上下・左右160度
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～3　［S2映像　：輝度・色信号分離（75Ω）　映像：1V [p-p]（75Ω）／音声　：左・右　0.5V [rms]］ ●モニター出力　［S2映像　：輝度・色信号分離（75Ω）　映像：1V [p-p]（75Ω）／音声　：左・右　0.5V [rms]］ ※ビデオ入力1､コンポーネント（色差）ビデオ1～2､パソコン入力の信号はモニター出力しません。 お知らせ ●モニター出力のS2映像……「フル映像」出力のときはDC約5Vを重畳、「ワイドクリアビジョン映像」出力のときはDC約2Vを重畳	
	コンポーネント（色差）ビデオ関連	●入力1～2　［D4映像〔Y：1V [p-p]（75Ω）、PB／CB：0.7V [p-p]（75Ω）、PR／CR：0.7V [p-p]（75Ω）〕／音声　：左・右　0.5V [rms]］ ※ 入力信号（525i［480i］、525p［480p］、1125i［1080i］、750p［720p］）自動切換式	
	5.1CH音声モニター出力	●音声モニター出力：（フロント左･右、センター、サブウーハー、サラウンド左･右）：（0.5V [rms]）	
	パソコン入力	●マルチスキャン方式　対応周波数：水平15.75kHz～110kHz、垂直：48Hz～120Hz ●VGA対応（表示ドットがVGA規格を超える信号は簡易表示） ●RGB（ミニD-sub15P）　音声：左-右0.5V [rms]（音声入力はビデオ入力3と共用）	
	BS関連	●BS-IF入力（75Ω）兼BSアンテナ用電源（DC15V）出力	
	その他	●光デジタル音声出力端子：－18dBm 660nm JEITA CP-1201準拠 ●モジュラー端子（電話回線）：2400bps、MNP4（着呼機能なし） ●i.LINK端子 S200：IEEE1394準拠 ●Irシステム（Irシステムケーブル［付属品］用） ●ヘッドホン／イヤホン（16～32Ω推奨） ●ディスプレイ信号入力、出力（専用端子）	
外形寸法	ディスプレイユニット（専用スピーカー取付時）	横幅102.0cm　高さ61.0cm　奥行　8.9cm 横幅122.3cm　高さ61.0cm　奥行　8.9cm	横幅　92.0cm　高さ55.0cm　奥行　8.9cm 横幅112.3cm　高さ55.0cm　奥行　8.9cm
	チューナーユニット	横幅　43.0cm　高さ　9.9cm　奥行 30.9cm	横幅　43.0cm　高さ　9.9cm　奥行 30.9cm
	スピーカー（単体）	横幅　10.0cm　高さ61.0cm　奥行　8.9cm	横幅　10.0cm　高さ55.0cm　奥行　8.9cm
質量	ディスプレイユニット	29.5kg（専用スピーカー取付時33.7kg）	25.0kg（専用スピーカー取付時29.2kg）
	チューナーユニット	5.5kg	5.5kg
	スピーカー（単体）	2.1kg	2.1kg
キャビネット材質	ディスプレイユニット	前面：PPE樹脂、後面：アルミニューム	
	スピーカー	スチロール樹脂	
	チューナーユニット	前面：スチロール樹脂、その他：スチール（鉄板）	

リモコン（品番:TNQE257）	使用電源	DC3V（単4形乾電池2コ）	リモコン操作距離	約7m以内（ディスプレイユニット正面距離）
	質量	143g（乾電池含む）		約5m以内（受光部左右30°以内）

お手入れ／上手な使いかた

■お手入れについて

汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください

ひどい汚れは水でうすめた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

スピーカーのネットのお手入れは…

毛ばたきでほこりを軽く払うか、掃除機（パワーを下げる）で吸い取ってください。なお、42型のスピーカーネットは布製です。押しつけると傷むことがあります。

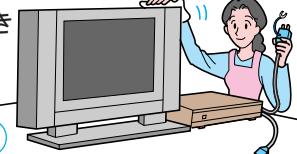
殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。（キャビネットの変質の原因）

洗剤を直接本機にかけない

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

ディスプレイパネルの前面は時々柔らかい布でふく

ほこりが付きやすい。

お知らせ

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ディスプレイパネル前面をぬれた布でふくと水滴などがディスプレイパネル表面を伝って本体内部に侵入し、故障の原因になります。

■設置されるとき

直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。

本機を設置するとき

振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。
指定の取り付けユニットをご使用ください。

見る距離と部屋の明るさは

画面の縦の長さの5～7倍程度、また新聞の読める明るさで。

機器相互のかんしょうに注意

重さによる変形や、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音などを避ける。
（特にビデオ機器はディスプレイ本体から十分に離してください。）

接続は電源を“切”にしてから

各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、ビデオ機器、ビデオディスク機器、スピーカーボックスなど）

アンテナは定期的な点検を

風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

良好な画面で見るために

アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■ご使用になるとき

適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は1.3W、本体（ディスプレイユニット、およびチューナーユニット）の電源を切った場合は0.9Wの電力を消費しております。

電池の異極性端子間（プラス⊕端子とマイナス⊖端子間）はショート（短絡）させないでください。

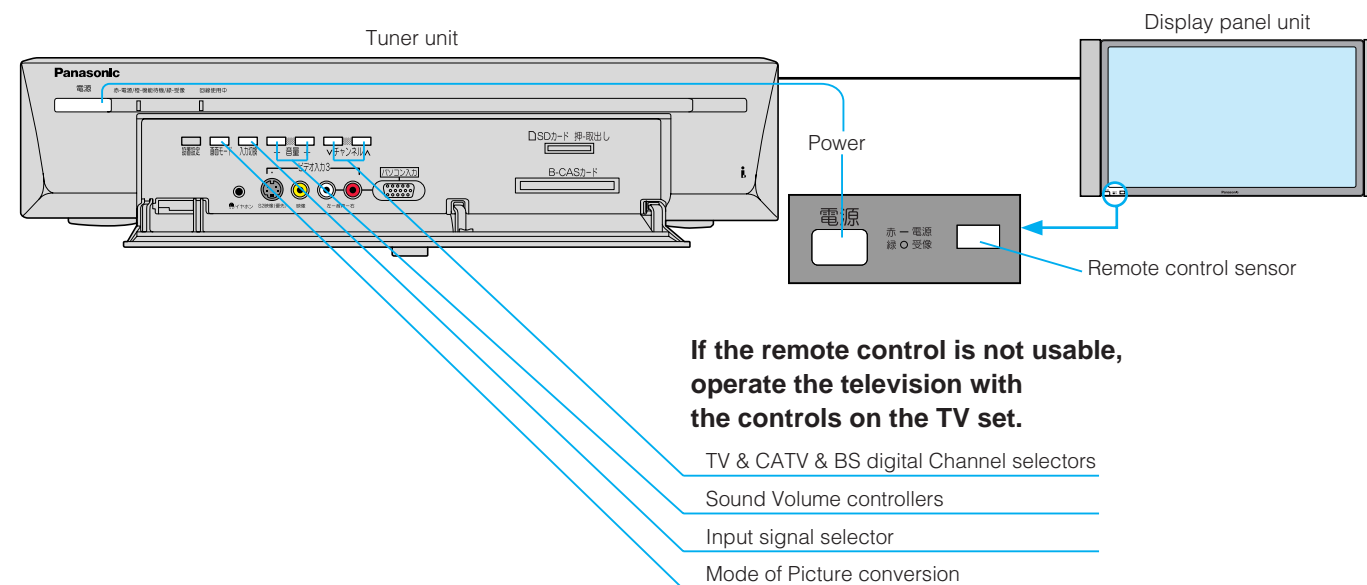
電池が使用できなくなることがあります。

液もれが生じたとき（リモコンの電池）

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れる。もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

How to Use　Basic Operations

If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

- TV & CATV & BS digital Channel selectors
- Sound Volume controllers
- Input signal selector
- Mode of Picture conversion

First, push the Power to turn on.
Operate your Remote Control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)

1. Turning ON/OFF
2. Select a channel
3. Control the sound volume

You can select an aspect ratio yourself according to your preferences.
Mode of Picture conversion（画面モード）

Self Wide（セルフワイド）
The on-screen indication "セルフワイド" is displayed. Automatically Set to the wide screen.
When the program is in wide Clear Vision, the screen changes to the zoomed size to let you enjoy higher definition pictures.

Normal（ノーマル）

Just（ジャスト）
Horizontally stretched a little at the center and gradually getting wider at both extremities.

Zoom（ズーム）
The entire picture area is enlarged with the mid-screen in the center.

Full（フル）
Horizontally widened with the mid-screen in the center.

総合索引

英数字 ページ

■3次元Y/C分離 ……43
■5.1チャンネル出力の設定 ……C編：65
■5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ …C編：56
■525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p) ……10
■「525p色マトリックス」設定 ……C編：30
■B-CASカードテスト ……C編：45
■B-CASカードの挿入 ……C編：50
■BSアンテナ設定 ……C編：42
■「BS初期設定」画面 ……C編：33
■BSチャンネル設定 ……C編：40
■「BSチャンネル設定」画面 ……C編：33
■BSデータ放送 ……A編：42
■「BSデジタル設定」画面 ……C編：32
■BSデジタル放送 ……11、26
■D4映像 ……10、19
■DVDホームシアターサウンドシステムの接続 C編：55
■D-VHSビデオデッキの接続 ……C編：54
■「ED2検出」設定 ……C編：29
■GR ……C編：27
■i.LINK ……A編：46
■「i.LINK待機」の設定 ……C編：59
■ID-1 ……C編：28
■「ID-1検出」設定 ……C編：28
■IEEE1394 ……A編：46
■Irシステム ……11、C編：53、60
■Irシステムケーブルの接続 ……C編：53
■Irシステムの設定 ……C編：60
■NR ……43
■SDメモリーカード ……28、A編：62

あ 行 ページ

■アイコン ……54、A編：4
■アッテネーター ……C編：31
■暗証番号登録 ……A編：37
■暗証番号取消し ……A編：39
■暗証番号入力 ……A編：35
■暗証番号変更 ……A編：39
■アンテナ線の接続 ……C編：48
■アンテナ入力レベル ……C編：43
■一番組限度額 ……A編：38
■イベントリレー予約 ……A編：27
■イヤホン ……17
■インフォメーション ……A編：7
■裏番組 ……A編：15
■映像切換 ……A編：43
■映像メニュー ……40
■オートサーチ ……C編：11、15
■オフタイマー ……30
■音声切換 ……46、A編：43
■音声メニュー ……44

か 行 ページ

■カーソル ……A編：5
■回線設定 ……C編：35
■かんたん設置設定 ……C編：8
■「外部入力」の設定 ……C編：62
■画面位置／サイズ ……34
■画面表示 ……30、A編：12
■画面モード ……32、33
■機器接続設定 ……A編：60
■機器操作 ……A編：47
■県域設定 ……C編：39
■購入記録 ……A編：19
■ゴースト ……C編：27
■コンポーネント（色差）ビデオ入力 ……18、19

さ 行 ページ

■サラウンド ……45、47
■市外局番 ……C編：11
■市外局番チャンネル一覧表 ……C編：20
■時間変更追従 ……A編：25、33
■視聴可能年齢 ……A編：38
■視聴購入 ……A編：18
■視聴制限 ……A編：9、35～38
■視聴制限設定 ……A編：37
■視聴制限の解除 ……A編：35
■字幕 ……A編：41
■字幕言語 ……A編：41
■ジャンル検索 ……A編：16
■受信設定 ……C編：44
■消音 ……30
■「初期設定」画面 ……C編：22
■信号設定 ……A編：26
■設定項目リセット ……C編：44
■セルフワイド ……32、C編：29
■選局対象 ……A編：40
■「その他の設定」画面 ……C編：22

た 行 ページ

■タイマー予約 ……A編：24、29
■ダウンロード ……C編：46
■地域設定画面 ……C編：38
■地域設定取消し ……C編：39
■チャンネル一覧 ……A編：14
■チャンネル設定 ……C編：24
■「チャンネル設定」画面 ……C編：23
■テクニカル調整 ……42
■デジタル音声出力の設定 ……C編：64
■デジタル音声端子付きオーディオ機器 …C編：57
■デジタル音声ー予約録画連動の設定 ……C編：67
■テスト（Irシステム） ……C編：63
■電話回線の接続 ……C編：51
■「電話設定」画面 ……C編：34
■電話テスト ……C編：37
■電話発信記録 ……A編：44
■トーン検出の設定 ……C編：35
■飛びこし選局 ……C編：25

な 行 ページ

■内線設定 ……C編：36

は 行 ページ

■パソコン ……23、C編：58
■番組購入 ……A編：18
■番組内容 ……A編：13
■番組ナビ ……A編：6
■番組表 ……A編：10、11
■番組予約 ……A編：20
■微調整（受信チャンネル） ……C編：26
■表示書換 ……C編：25
■プリセット選局 ……A編：8
■プログラム予約 ……A編：30
■ペイ・パー・ビュー ……A編：9、18
■ヘッドホン ……17

ま 行 ページ

■マニュアル設定 ……C編：11、16
■マルチビュー録画 ……A編：27、33
■無操作自動オフ ……31
■無信号自動オフ ……31
■「メーカー」の設定 ……C編：61
■メール ……A編：45
■メニュー画面 ……14
■文字スーパー ……A編：41
■文字スーパー言語 ……A編：41

や 行 ページ

■郵便番号 ……C編：39
■有料番組 ……A編：9、18
■予備-1～予備-23 ……C編：24
■予約 ……A編：20
■予約一覧 ……A編：34
■予約修正 ……A編：22
■予約取消し ……A編：34
■予約方式 ……A編：20

ら 行 ページ

■リモコン ……12
■「リモコン種別」の設定 ……C編：61
■連動予約 ……A編：24、29
■録画機器 ……A編：24
■録画機器の接続 ……C編：52
■録画購入 ……A編：18
■録画モード ……A編：25

わ 行 ページ

■ワイドクリアビジョン ……32、C編：29

保証とサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし…
●プラズマディスプレイパネルは2年間
●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 48～53ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品　名	BSデジタルプラズマテレビ
品　番	42型　TH-42PM50/S 37型　TH-37PM50/S
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

索　引

英 数 字　ページ

■5.1チャンネル出力の設定…65
■5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプの接続…56
■「525p色マトリックス」設定…30
■B-CASカードテスト……45
■B-CASカードの挿入……50
■BSアンテナ設定……42
■「BS初期設定」画面……33
■BSチャンネル設定……40
■「BSチャンネル設定」画面…33
■「BSデジタル設定」画面……32
■DVDホームシアターサウンドシステムの接続…55
■D-VHSビデオデッキの接続…54
■「ED2検出」設定……29
■GR……27
■HDR（ハードディスクビデオレコーダー）…54
■「i.LINK待機」の設定……59
■「ID-1検出」設定……28
■Irシステムケーブルの接続…53
■Irシステムの設定……62

あ 行　ページ

■アッテネーター……31
■アナログ接続設定……66
■アンテナ線の接続……48
■アンテナ入力レベル……43
■オートサーチ……15

か 行　ページ

■回線設定……35
■「外部入力」の設定……62
■県域設定……39
■ゴースト……27

さ 行　ページ

■市外局番……12
■市外局番チャンネル一覧表…20
■受信設定……44
■「初期設定」画面……22
■設定項目リセット……44
■セルフワイド……29
■「その他の設定」画面……22

た 行　ページ

■ダウンロード……46
■地域設定画面……38
■地域設定取消し……39
■チャンネル設定……24
■「チャンネル設定」画面……23
■デジタル音声出力の設定……64
■デジタル音声端子付きオーディオ機器の接続…57
■デジタル音声－予約録画連動の設定…67
■テスト（Irシステム）……63
■電話回線の接続……51
■「電話設定」画面……34
■電話テスト……37
■トーン検出の設定……35
■飛びこし選局……25

な 行　ページ

■内線設定……36

は 行　ページ

■微調整……26
■表示書換……25

ま 行　ページ

■マニュアル……16
■「メーカー」の設定……61

や 行　ページ

■郵便番号……39
■予備-1～予備-23……12、24

ら 行　ページ

■「リモコン種別」の設定……61
■録画機器の接続……52

わ 行　ページ

■ワイドクリアビジョン……29

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部

〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

S0901-1091B

Panasonic　BSデジタルプラズマテレビ　取扱説明書（設置／接続と各種の設定）

Panasonic

BSデジタルプラズマテレビ

品番 TH-42PM50/S（42型）

TH-37PM50/S（37型）

取扱説明書

設置／接続と設定

はじめてこのテレビを使うとき、機器の接続や各種の設定などはこの冊子

C編

Connection

TQBA0232

もくじ

●この説明書と別冊の「テレビの使い方」、「BSデジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用の前に、別冊：B編「テレビの使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は表紙に書いてあります。

設置／接続と設定（C編）
ConnectionのCです

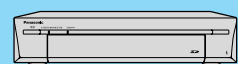
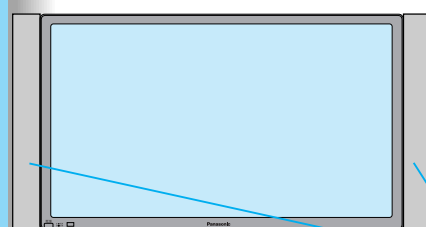
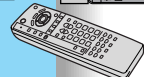
■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

テレビの使い方（B編）
BasicのBです

■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき／故障かな？と思うとき

BSデジタルの応用／機器操作（A編）
ApplicationのAです

■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■SDメモリーカードについて

本機は3製品の組合わせで構成されています。

組み立て、接続の方法はこの説明書4～6ページを参照ください。

電源を入れる前に
本機の組み立てかた 4 ページ～

かんたん設置設定 8 ページ～

テレビを視聴するための設定

設定画面の出しかた 22 ページ～

受信チャンネルの設定 24 ページ～
●チャンネル設定をする ……24
●受信チャンネルを微調整する ……26
●ゴーストを目立たなくしたいとき ……27

各機能の設定 28 ページ～
●ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切換える ……28
●「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切換える ……29
●自動で拡大画面にしたくない場合 ……29
●コンポーネントビデオ入力に525p（順次走査）信号を入力時の設定 ……30
●映像が不安定になるとき ……31

BSデジタルを視聴するための設定

設定画面の出しかた 32 ページ～
電話設定 34 ページ～
地域設定 38 ページ～
BSチャンネルの設定 40 ページ～
BSアンテナ設定 42 ページ～

その他 44 ページ～
●受信設定 ……44
●設定項目リセット ……44
●B-CASカードテスト ……45
●ダウンロードについて ……46

外部機器の接続と設定

接続 48 ページ～
●アンテナ線の接続 ……48
●B-CASカードの挿入 ……50
●電話回線の接続 ……51
●録画機器を接続する ……52
●Irシステムケーブルを接続する ……53
●i.LINK対応機器を接続する ……54
●5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ ……56
●デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 ……57
●パソコンを接続する ……58

接続後の設定 59 ページ～
●i.LINK待機の設定 ……59
●Irシステムの設定 ……60
●デジタル音声出力の設定 ……64
●5.1チャンネル出力の設定 ……65
●アナログ接続設定（ビデオ入力表示の書換え）……66
●デジタル音声ー予約録画連動の設定 ……67

索引 裏表紙

本機の組み立てかた

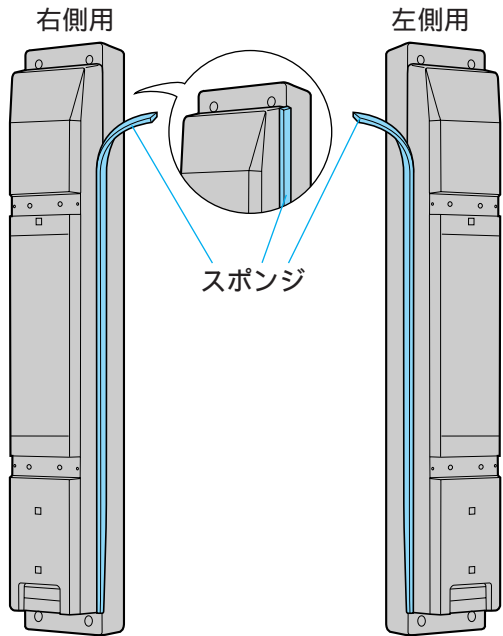
(別冊のB編：裏表紙に記載の「付属品」を確認してください。)

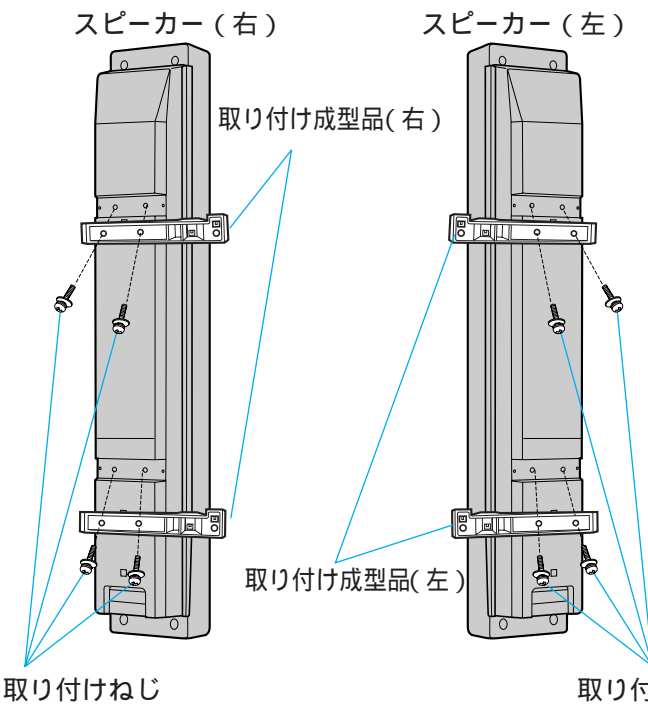
準備
- 組み立てにはプラス⊕ねじ回しが必要ですのでご用意ください。
- お好みや設置条件により、別売りの取付・設置オプションが必要です。本機を組み立てる前に、お求めの販売店にご相談ください。

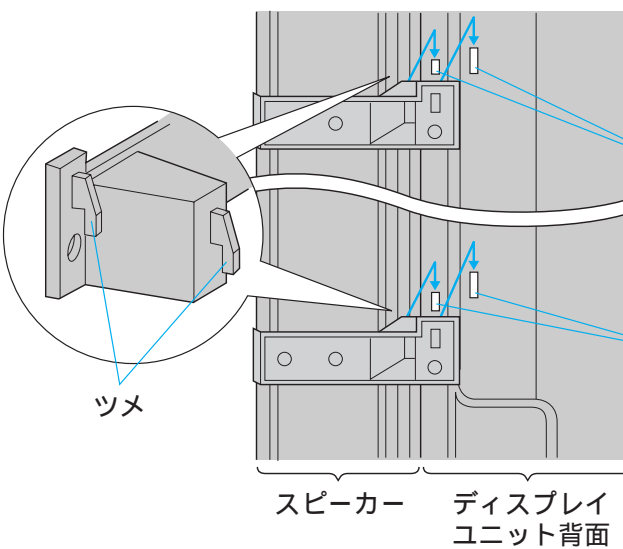
設置オプション（別売）の紹介（2001年4月現在）

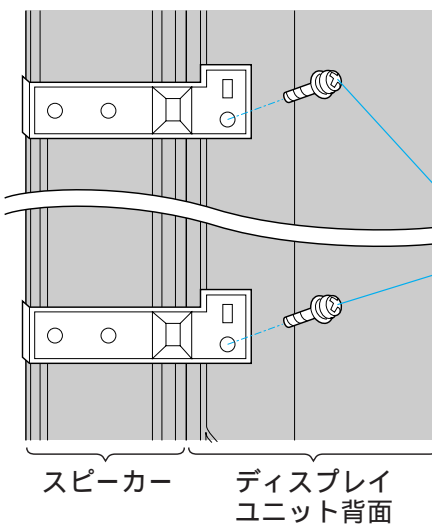
■据え置きスタンド（TY-ST05-S）
■壁寄せスタンド（TY-ST42PW1）
■移動式スタンド（TY-ST42PF3）
■壁掛け金具
- 垂直取り付け型<42型専用>（TY-WK42PV1）
- 垂直取り付け型<37型専用>（TY-WK37PV3）
- 角度可変型　（TY-WK42PR1）

組み立てかた

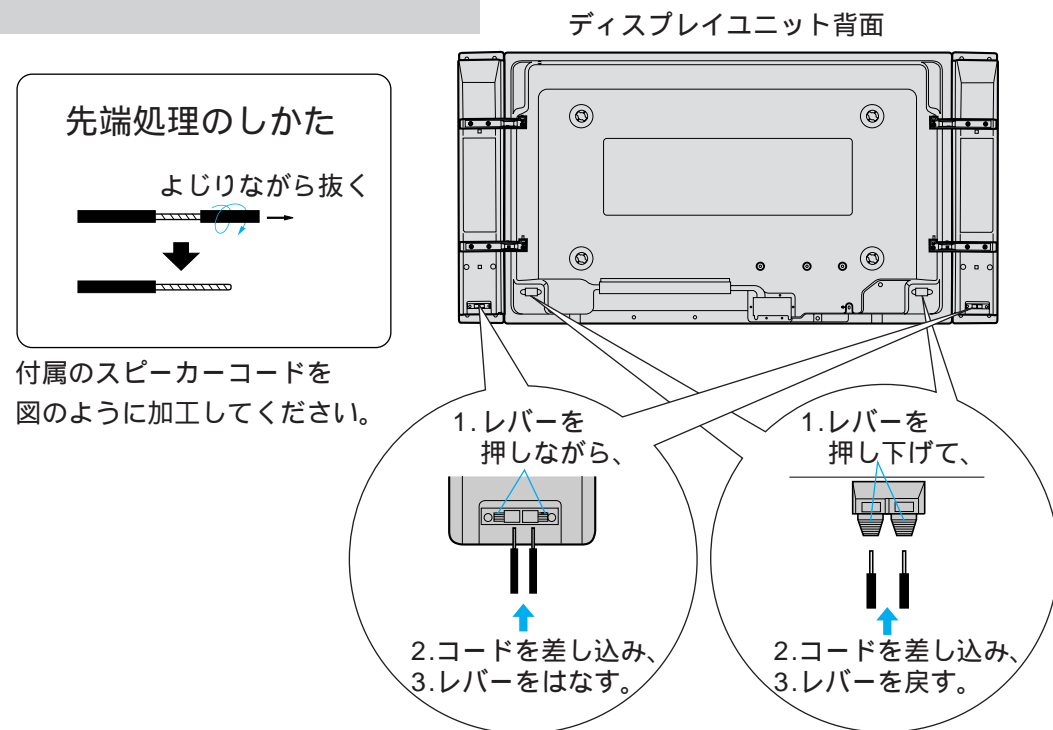
1 スピーカーに スポンジを貼り付ける

- スポンジを貼る前に表面を柔かい乾いた布などできれいにしてください。
- ディスプレイユニットと接する側にスポンジを貼ります。

2 スピーカーに 成型品を取り付ける

- 各ねじはがたつきやゆるみが無いように、しっかり締めつけてください。

3 ディスプレイユニットに スピーカーを取り付ける

- 上下の取り付け成型品のツメをディスプレイユニット背面のひっかけ穴に同時に入れ、下に降ろします。
- スピーカー（左）も同様に取り付けてください。

4 スピーカーを固定する

- 上下の取り付け成型品を取り付けねじ各1本で固定します。
- スピーカー（左）も同様に固定してください。
- スピーカーが、がたつきやゆるみが無いようにしっかり固定してください。

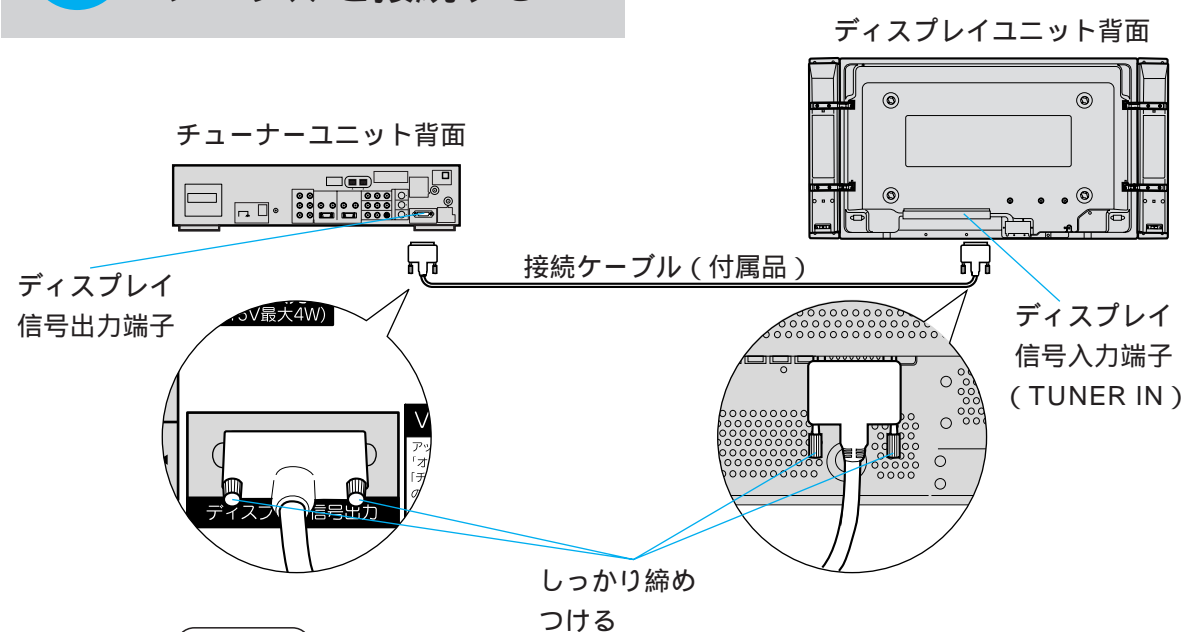
<TH-42PM50/Sのスピーカー>

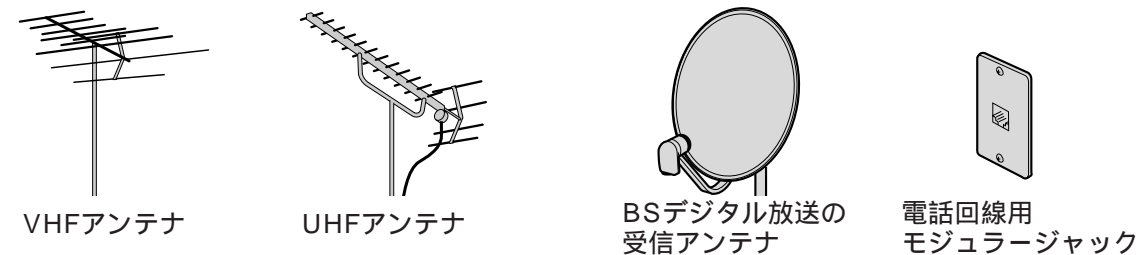
音の定位感をだすために……
本スピーカーをディスプレイユニットに取付けると前面の並びは一直線ではなく、本スピーカーが少し内側に向いた状態に取り付きます。

次ページへつづく

本機の組み立てかた

前ページからのつづき

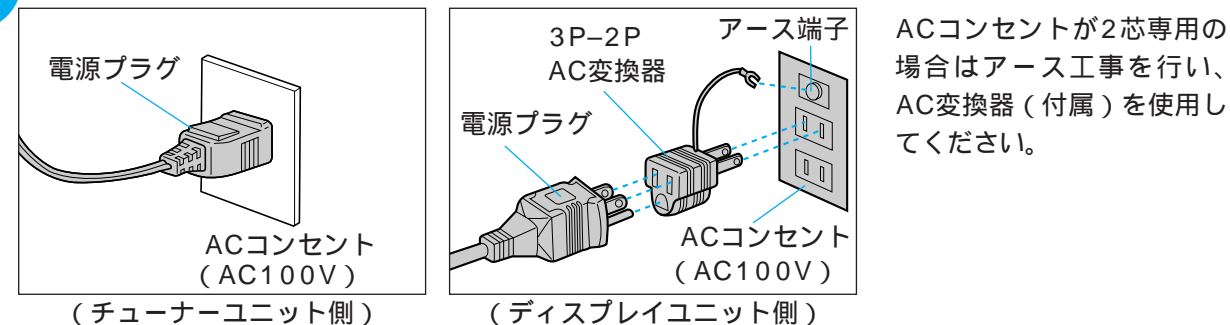
組み立てかた

ご使用の前に

1 アンテナや電話回線は正しく接続されていますか （☞48、51ページ）

VHFアンテナ　UHFアンテナ　BSデジタル放送の受信アンテナ　電話回線用モジュラージャック

2 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか

（チューナーユニット側）

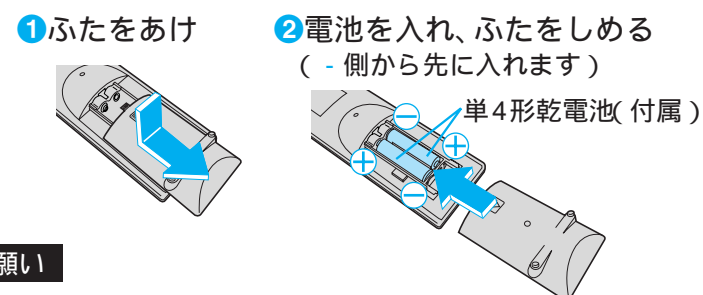
（ディスプレイユニット側）

※ACコンセントが2芯専用の場合はアース工事を行い、AC変換器（付属）を使用してください。

3 受信チャンネルは合っていますか （☞8ページ）

4 リモコンに電池は入っていますか

■電池の入れかた

❶ふたをあけ

❷電池を入れ、ふたをしめる
（⊖側から先に入れます）

電池の破裂や液もれを防ぐため
- 種類の違うものや新・旧を混ぜたり、充電式（Ni-Cd）電池は使わない。
- 電池は充電できません。
- 可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたり、分解したりしない。

お願い
- リモコンに液状のものをかけないように。
- リモコンを落とさないように。

5 ビデオなどは正しく接続されていますか

ビデオカメラ	☞B編：24ページ
録画機器	☞B編：52ページ
D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー	☞：54ページ
DVDホームシアターサウンドシステム	☞：55ページ
オーディオ機器	☞：56・57ページ
パソコン	☞：58ページ

B-CASカードを挿入する （☞50ページ）

かんたん設置設定のまえに

■かんたん設置設定について

本機をご購入後初めて電源を「入」にすると、自動的にかんたん設置設定の画面になります。
そのまま画面の内容をお読みになり設定をすすめますと、チャンネル設定など、本機を使用するために必要な設置設定が完了します。
ここでは、かんたん設置設定についてさらに詳しく解説しますので、画面を見てもわからないときにお読みください。

「かんたん設置設定」は次の4種類の設定と2種類の確認です。

1. 都道府県の区分設定
2. 地域の郵便番号の設定
3. 受信チャンネルの設定（3通りの方法）
4. BSアンテナへの電源供給有・無の設定
5. 電話線の接続確認
6. B-CASカードの挿入確認

まず、確認してください

●電源を「入」にする前に必ず次の内容をご確認ください。

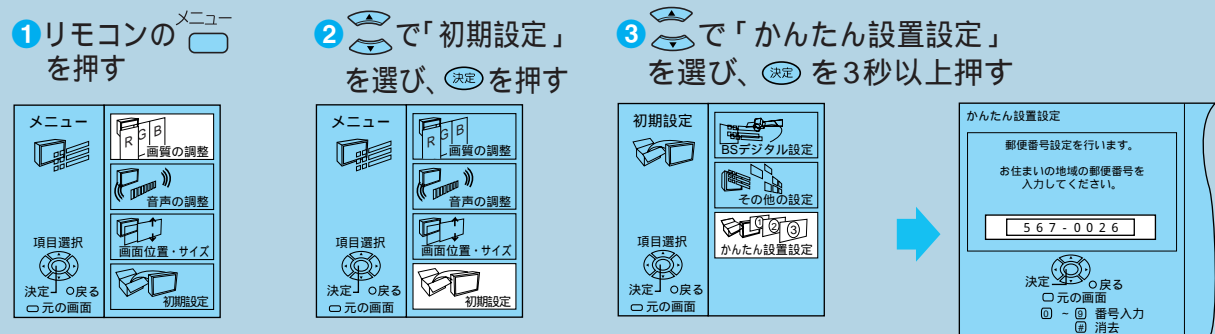
1. 本機の設置や外部機器の接続は正しくされていますか？

2. アンテナや電話回線は正しく接続されていますか？
3. B-CASカードは正しく挿入されていますか？

かんたん設置設定をやり直したいとき

一度かんたん設置設定をすると、次回からは電源を「入」にしてもかんたん設置設定の画面は表示されません。
もう一度やり直したいときは次の3通りの方法から選んで設定ができます。

方法1 メニューから「かんたん設置設定」を選ぶ（本体の 設置設定 を3秒以上押しても設定できます。）

1. リモコンの メニュー を押す
2. で「初期設定」を選び、決定 を押す
3. で「かんたん設置設定」を選び、決定 を3秒以上押す

方法2 メニューからやり直したい項目を選び設定する

かんたん設置設定の内容は、すべてメニューから個々に設定ができます。
取扱説明書をお読みになり、必要な項目を設定してください。

方法3 本機を工場出荷の状態に戻す

方法1 でかんたん設置設定をしたとき、市外局番入力（☞12ページ）で「0000」を入力すると、チャンネル設定や「郵便番号設定」、「地域設定」が工場出荷時の状態に戻ります。
この場合、一旦電源を「切」にし、再度電源「入」にすると自動的にかんたん設置設定画面になります。

お知らせ

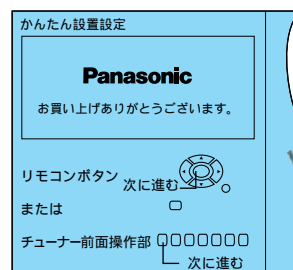
●かんたん設置設定は、最後まで設定を行い、「閉じる」で 決定 ボタンを押して「かんたん設置設定」画面を消すと、次回電源を「入」にしたときに表示されなくなります。

次ページへ続く

かんたん設置設定のしかた

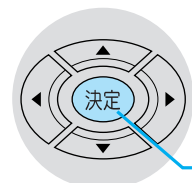
設定操作はリモコンでもチューナーユニット前面の操作ボタンでもできますが、設定の途中で、リモコン操作をチューナーユニット操作には変えられません。（その逆もできません）

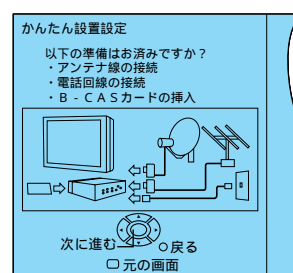
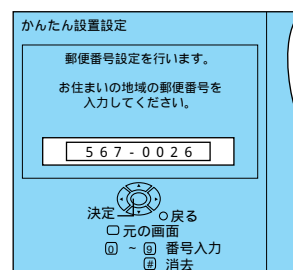
ここではリモコンで設定する場合の説明をしています。
リモコンはディスプレイユニットのリモコン受光部に向けて操作してください。

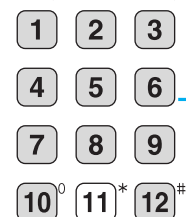
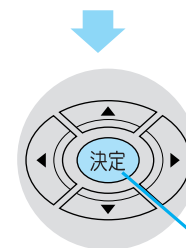
1 電源を入れる

初期画面
●メニューから「かんたん設置設定」を選んだときは表示しません。

決定 で次へ

2

■アンテナと電話回線の接続が済んでおり、B-CASカードも挿入済みで準備ができている場合

決定を押す

■まだ準備ができていない場合
電源を「切」にし、接続などを行ってください。

3

例「567-0026」の場合

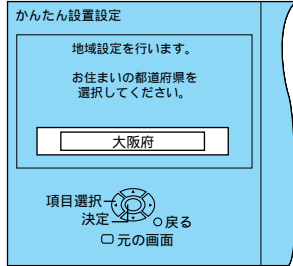
BSデータなどでお住まいの地域の情報を表示させるために
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

7桁の郵便番号を入力する

押す

● 12 ボタンを押すとカーソル位置以降の桁を消去します。
●「0」を入力するときは 10 ボタンを押してください。

お知らせ

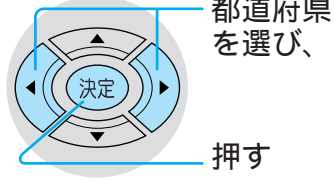
● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

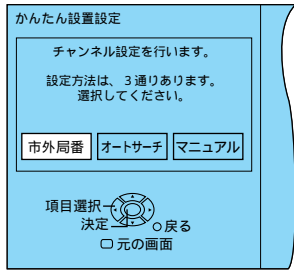
前ページの続き

4

例「大阪府」の場合

BSデータ放送などでお住まいの
地域の情報を表示させるために
お住まいの都道府県を設定してください。

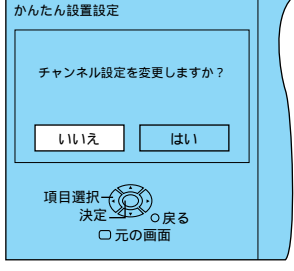
都道府県を選び、

押す

●伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

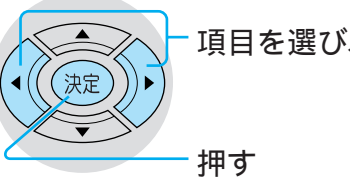
5

「チャンネル設定方法選択」画面

地上波放送のチャンネルを設定するために
チャンネルの設定方法を選んでください。

市外局番の場合	12ページ
オートサーチの場合	15ページ
マニュアル	16ページ

■メニューから「かんたん設置設定」を選んだ場合は

チャンネル設定を変更するか否なかの選択画面が表示されます。

項目を選び、

押す

はい …上記の「チャンネル設定方法選択」画面が表示されます。

いいえ …18ページの手順6へ

お知らせ

●戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

「チャンネル設定」の種類（3種類あります）

「市外局番」設定

自動的に「市外局番チャンネル一覧表」（20ページ）の放送チャンネルを設定します。
また、設定されたチャンネルがご使用になる地域で実際に受信できるかを自動的に調べることもできます。

「オートサーチ」設定

実際に受信可能な局だけを調べて、リモコンのボタン 1 から順番にチャンネル設定します。お住まいの地域の「市外局番」と「実際に受信できる放送局」が一致しない場合に便利です。

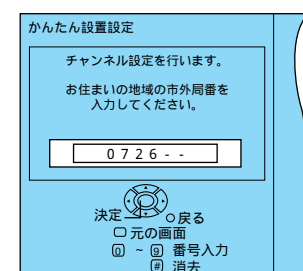
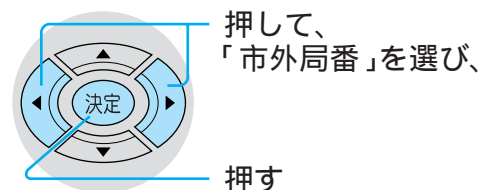
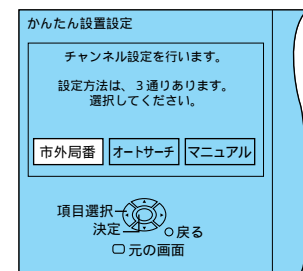
「マニュアル」設定

お好みに合わせて、1チャンネルずつお客様ご自身で設定できます。

次ページへ続く

市外局番の場合 （手順5のつづき）

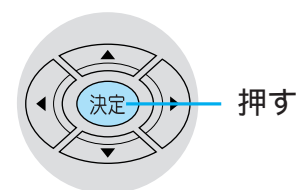
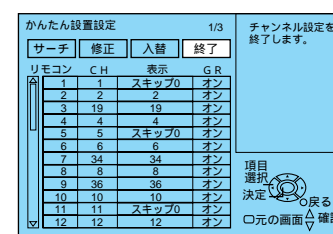
押して、
「市外局番」を選び、

押す

例「0726」の場合

次ページへ

電話番号の市外局番を入力してください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 — 番号を入力し、

押す

- 12ボタンを押すごとに最後の桁を1つずつ取消すことができます。
- 「0」を入力するときは10ボタンを押してください。

設定したチャンネルが正しく受信できているか確認します。

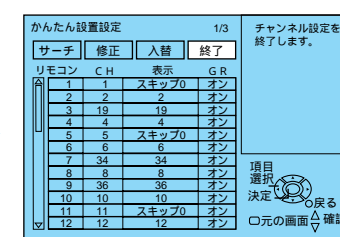
チャンネル — 押して確認する

確認後

正しく受信できている場合は

押して、
「終了」を選び、

押す

⇨ つづいて18ページの手順6へ

受信できていないチャンネルがある場合は ▶ 次ページの「サーチ」を行ってください。

修正したい場合は ▶ 16ページの マニュアルの場合 を参考に修正してください。

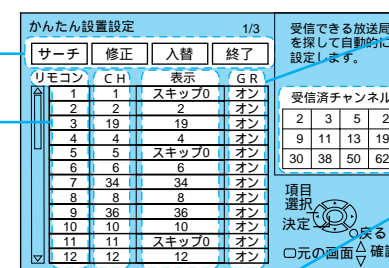
お知らせ

- 戻るを押すと､1つ前の画面に戻ります。
- 市外局番入力で設定される放送局は20ページの「市外局番チャンネル一覧表」でご確認ください。

「チャンネル設定」画面について

「チャンネル設定」で設定変更するときに使用する項目です。「サーチ」は「市外局番」の場合のみ表示されます。

リモコンの直接選局ボタン番号を示します。
数字以外に予備-1、予備-2、なども表示されます。これは、リモコンのボタンでは足りないときの予備です。「予備-1〜予備-23」に設定したチャンネルは△▽ボタンでご覧になれます。

実際に放送されている局のチャンネル番号です。

「GR」機能の設定状態を示します。(☞27ページ)

「サーチ」を実行したときや15ページの「オートサーチ」で受信できたチャンネルを表示します。

画面右上に表示されるチャンネル番号です。
16、17ページの方法で書き換えた場合はその番号になります。
（「表示」を“スキップ0”に設定すると本体やリモコンの△▽ボタンでそのチャンネルをスキップ（飛びこし）します。）

次ページへ続く

市外局番の場合(つづき)

■サーチ

押して、
「サーチ」
を選び、

押す

- 市外局番入力で設定されたチャンネル以外に、受信可能なチャンネルの有無を自動的に探します。
- 市外局番入力で設定されたチャンネルが実際には受信できなかった場合は、自動的に「表示」を“スキップ0”と書き換えます。

この画面では何もせず、次の画面に変るまでお待ちください。

「サーチ」によって、受信できたチャンネルです。

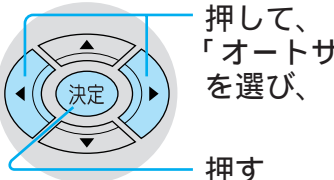
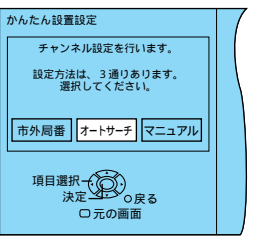
押して、
「終了」
を選び、

押す

⇨ つづいて18ページの手順6へ

修正したい場合は ▶ 16ページの マニュアルの場合 を参考に修正してください。

オートサーチの場合

（11ページ手順5のつづき）

押して、
「オートサーチ」
を選び、

押す

- 受信可能なチャンネルの有無を自動的に探します。

オートサーチをしています。
チャンネル 40

この画面では何もせず、次の画面に変るまでお待ちください。

正しく受信できている場合は ▶

押して、
「終了」
を選び、

押す

⇨ つづいて18ページの手順6へ

修正したい場合は ▶ 16ページの マニュアルの場合 を参考に修正してください。

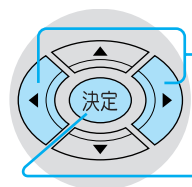
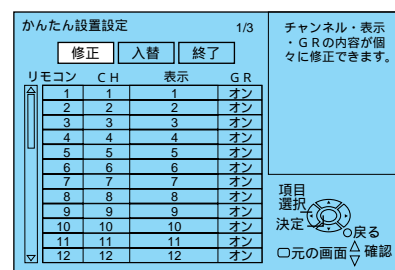
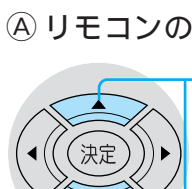
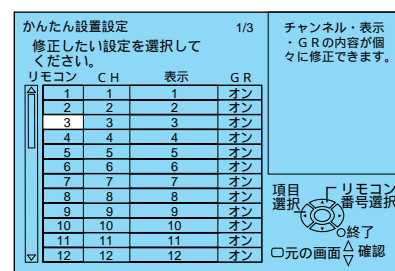
次ページへ続く

マニュアルの場合 （11ページ手順5のつづき）

押して、
「マニュアル」
を選び、

押す

押して、
「修正」
を選び、

押す

例 リモコンの「3」を選んだ場合

Ⓐ リモコンの番号を選ぶ

押して、
設定したいリモコン
の番号を選ぶ

「リモコン」の項目は
1～12 ― 予備－1～予備－23
の順に変化します。(自動的にページ送りします)

- 押し続けると早く変化します。
- チャンネル ∧・∨ ボタンでも操作できます。
- 予備-1～予備-23はリモコンのボタンだけで足りないときの予備です。設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル ∧・∨ ボタンで選んでください。

Panasonic
プラズマテレビ

Ⓑ チャンネルを選ぶ

押して、
「CH」の
項目を選び、

例 「19」チャンネルを受信の場合

押して、
設定する

「CH」の項目は
1～62 ― C13～C39
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

お知らせ

市外局番のサーチまたは、オートサーチを行ったあとに修正を行うと、「CH」の項目はサーチで受信できたチャンネルのみ切換えることができます。

Ⓒ 表示を書き換える（表示の書き換え）

押して、
「表示」の
項目を選び、

例 「19」に書き換える場合

押して、
設定する

「表示」は選局したとき画面に表示される番号です。
スキップ0 ― 1～99 ― C13～C39
表示なし ― VTR
の順に変化します。

- 押し続けると早く変化します。
- 放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。
- 続けて他のチャンネルも設定するときは、◁ボタンで「リモコン」を選び、手順Ⓐから操作をくり返してください。

戻る
修正が終われば押す

押して、
「終了」
を選び、

押す

⇨ つづいて18ページの手順6へ

■設定している内容を別のリモコン番号へ入替えることができます。

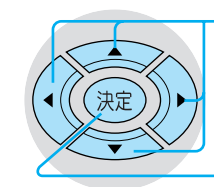
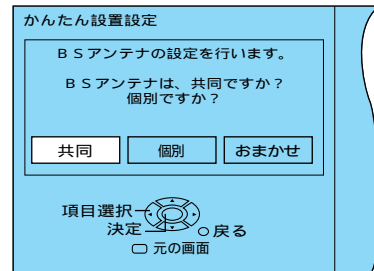
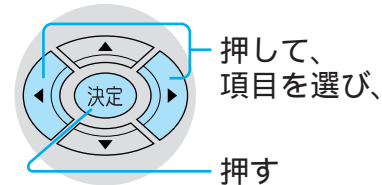
1. ◁ ▷ で「入替」を選び、決定を押す
2. △▽ で入替え元を選び、決定を押す
3. △▽ で入替えたい番号を選び、決定を押す

入替え終了

- 続けて他の番号も入替えたいときは手順2、3の操作をくり返してください。
- 入替えを終了したい場合は 戻る ボタンを押す。

6

BSアンテナの設定を行います。

押して、
項目を選び、

押す

● BSアンテナの設定は、BSアンテナ電源の設定です。本機からBSアンテナへ電源供給が必要な場合は 個別 か おまかせ を選ぶ。これ以外の場合は 共同 を選ぶ。BSアンテナ電源の設定は「BSアンテナ設定」からも可能です。(☞42ページ)

7

かんたん設置設定
これより電話テストを行います。
事前に次の点を確認してください。
・電話回線が接続されていますか？
・同じ回線で電話が話し中になっていませんか？
テスト開始
次に進む　戻る
元の画面

電話回線に正しく接続できているか、テストを行います。

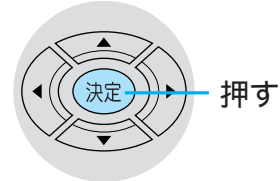
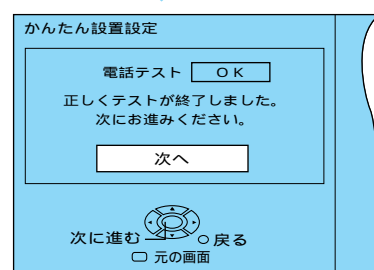
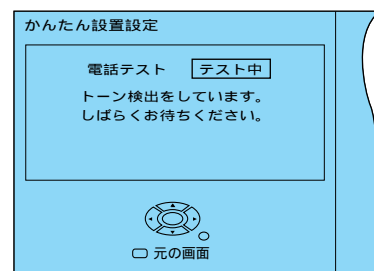
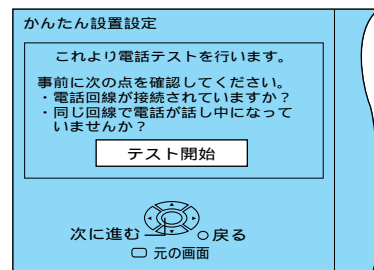
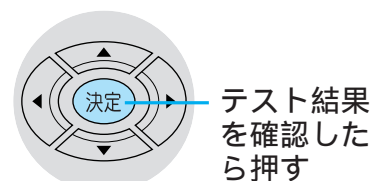
押す

かんたん設置設定
電話テスト　テスト中
トーン検出をしています。
しばらくお待ちください。
元の画面

トーン検出のテストは接続している電話回線によって、センター接続のテストを行います。最大で約3分かかる場合があります。
この画面のまま何もせず、次の画面に変わるまでお待ちください。

かんたん設置設定
電話テスト　ＯＫ
正しくテストが終了しました。
次にお進みください。
次へ
次に進む　戻る
元の画面

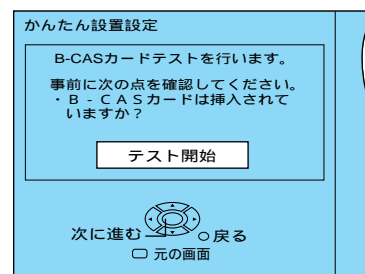
電話テスト結果を確認する

テスト結果を確認したら押す

(結果表示について)

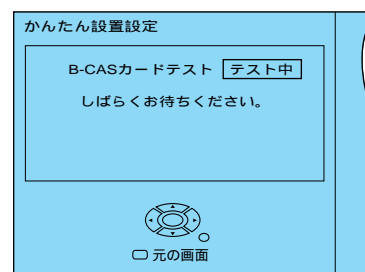
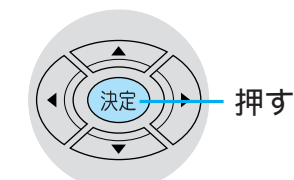
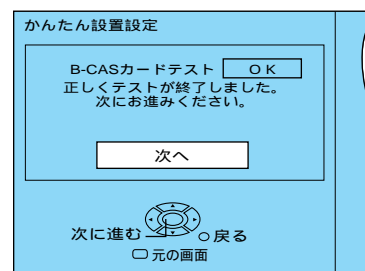
OK …正常であることが確認されました。

NG …画面に表示される説明に従って原因を取り除き電話テストを行ってください。(☞34ページ)

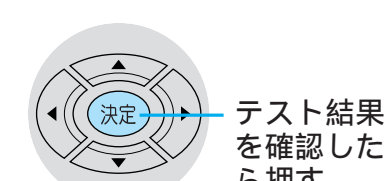
8

かんたん設置設定
B-CASカードテストを行います。
事前に次の点を確認してください。
・Ｂ－ＣＡＳカードは挿入されていますか？
テスト開始
次に進む　戻る
元の画面

B-CASカードが正しく挿入されているか、テストを行います。

押す

かんたん設置設定
B-CASカードテスト　テスト中
しばらくお待ちください。
元の画面

B-CASカードテスト中

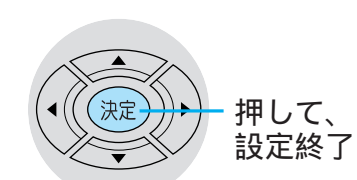
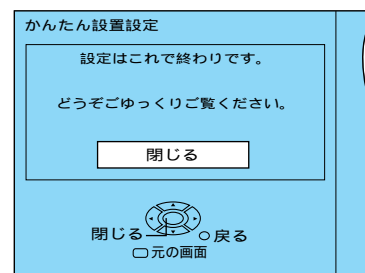
B-CASカードのテスト結果を確認する

テスト結果を確認したら押す

(結果表示について)

OK …正常終了しました。

NG …かんたん設置設定終了後に正しくB-CASカードが挿入されているか確認し、B-CASカードテストを行ってください。(☞45ページ)

9

押して、
設定終了

●「電話テスト」と「B-CASカードテスト」で「NG」が表示されていた場合には、電話回線の接続や設定の確認、またはB-CASカードが正しく挿入されているか確認し、37ページの「電話テスト」や45ページの「B-CASカードテスト」を行ってください。

市外局番チャンネル一覧表

市外局番入力チャンネル設定で入力された市外局番は、以下に記載された地域に変換され、変換された地域の放送局の組み合わせが設定されます。

■表の見かた

放送局名	表示CH	受信CH
NHK総合	1	1

■受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネル

■表示チャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネル

（※）愛媛県では下記の表以外に「愛媛朝日テレビ」が「リモコン」の「予備-1」に入ります。
松山　：受信CH・25、表示CH・25
新居浜：受信CH・14、表示CH・14

お知らせ

- **地域によっては新たな開局などで受信できる局が下表と異なる場合があります。**
- **市外局番は変更される場合がありますが変更になった地域も下記の市外局番を入力してください。**

都道府県	都市	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル																																			
			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
			放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1				NHK総合	3	3	テレビ北海道	17	17	札幌テレビ	5	5							北海道文化	27	27				北海道テレビ	35	35				NHK教育	12	12
	旭川	0166				NHK教育	2	2				テレビ北海道	33	33							札幌テレビ	7	7	北海道文化	37	37	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	北見	0157				NHK教育	2	2													札幌テレビ	7	7	北海道文化	59	59	NHK総合	9	9	北海道テレビ	61	61	北海道放送	53	53			
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34							NHK総合	4	4				北海道放送	6	6				北海道文化	32	32				札幌テレビ	10	10				NHK教育	12	12
	釧路	0154				NHK教育	2	2				テレビ北海道	29	29							札幌テレビ	7	7	北海道文化	41	41	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	室蘭	0143				NHK教育	2	2				テレビ北海道	29	29							札幌テレビ	7	7	北海道文化	41	41	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	北海道文化	27	27	北海道テレビ	35	35	NHK総合	4	4				北海道放送	6	6										NHK教育	10	10				札幌テレビ	12	12
青森	青森	0177	青森放送	1	1				NHK総合	3	3				NHK教育	5	5							北海道文化	27	27				青森朝日	34	34	北海道テレビ	35	35	青森テレビ	38	38
	八戸	0178										青森朝日	31	31							NHK教育	7	7				NHK総合	9	9				青森放送	11	11	青森テレビ	33	33
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	めんこい	33	33	テレビ岩手	35	35	NHK総合	4	4	岩手朝日	31	31	岩手放送	6	6	宮城テレビ	34	34	NHK教育	8	8				東日本放送	32	32				仙台放送	12	12
宮城	仙台	022	東北放送	1	1				NHK総合	3	3				NHK教育	5	5				東日本放送	32	32				宮城テレビ	34	34							仙台放送	12	12
秋田	秋田	018				NHK教育	2	2							秋田朝日	31	31										NHK総合	9	9				秋田放送	11	11	秋田テレビ	37	37
	大館	0186	青森放送	1	1							NHK総合	4	4	秋田朝日	59	59	秋田放送	6	6				NHK教育	8	8										秋田テレビ	57	57
山形	山形	023										NHK教育	4	4	さくらんぼ	30	30	テレビユー山形	36	36				NHK総合	8	8				山形放送	10	10				山形テレビ	38	38
	鶴岡	0235	山形放送	1	1				NHK総合	3	3				さくらんぼ	24	24	NHK教育	6	6				テレビユー山形	22	22										山形テレビ	39	39
福島	福島	024	東北放送	1	1	NHK教育	2	2				テレビユー福島	31	31				福島中央	33	33	東日本放送	32	32	宮城テレビ	34	34	NHK総合	9	9	福島放送	35	35	福島テレビ	11	11	仙台放送	12	12
	会津若松	0242	NHK総合	1	1				NHK教育	3	3	テレビユー福島	47	47				福島テレビ	6	6	東日本放送	32	32	福島中央	37	37	宮城テレビ	34	34	福島放送	41	41				仙台放送	12	12
	いわき	0246				テレビユー福島	32	32				NHK総合	4	4				福島中央	34	34				福島テレビ	8	8				NHK教育	10	10				福島放送	36	36
茨城	水戸	029	NHK総合	1	44	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	46	日本テレビ	4	42	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	40				フジテレビ	8	38	千葉テレビ	46	39	テレビ朝日	10	36				テレビ東京	12	32
栃木	宇都宮	028	NHK総合	1	29	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	27	日本テレビ	4	25	とちぎテレビ	31	31	TBSテレビ	6	23				フジテレビ	8	21				テレビ朝日	10	19				テレビ東京	12	17
群馬	前橋	027	NHK総合	1	52	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	群馬テレビ	48	48	TBSテレビ	6	56	放送大学	16	40	フジテレビ	8	58	テレビ埼玉	38	38	テレビ朝日	10	60				テレビ東京	12	62
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	テレビ埼玉	38	38	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	群馬テレビ	48	48	テレビ東京	12	12
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
東京	東京	03	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
新潟	新潟	025							新潟テレビ21	21	21	テレビ新潟	29	29	新潟放送	5	5							NHK総合	8	8				新潟総合	35	35				NHK教育	12	12
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	北陸放送	6	6	NHK総合	3	3	石川テレビ	37	37				チューリップ	32	32										NHK教育	10	10				富山テレビ	34	34
石川	金沢	076	北日本放送	1	1				富山テレビ	34	34	NHK総合	4	4				北陸放送	6	6	北陸朝日	25	25	NHK教育	8	8				テレビ金沢	33	33				石川テレビ	37	37
福井	福井	0776							NHK教育	3	3							北陸放送	6	6							NHK総合	9	9				福井放送	11	11	福井テレビ	39	39
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1				NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	山梨放送	5	5	テレビ山梨	37	37	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
長野	長野	026				NHK総合	2	2				長野朝日	20	20				テレビ信州	30	30							NHK教育	9	9	長野放送	38	38	信越放送	11	11			
	飯田	0265	長野朝日	44	44				NHK教育	3	3	NHK総合	4	4				信越放送	6	6				テレビ信州	42	42				長野放送	40	40						
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1				NHK総合	3	39				中部日本放送	5	5	テレビ愛知	25	25	岐阜放送	37	37	三重テレビ	33	33	NHK教育	9	9				名古屋テレビ	11	11	中京テレビ	35	35
静岡	静岡	054				NHK教育	2	2				静岡第一	31	31				静岡朝日	33	33							NHK総合	9	9				静岡放送	11	11	テレビ静岡	35	35
	浜松	053	東海テレビ	1	1	静岡第一	30	30				NHK総合	4	4	中部日本放送	5	5	静岡放送	6	6	テレビ愛知	25	25	NHK教育	8	8				静岡朝日	28	28				テレビ静岡	34	34
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1				NHK総合	3	3				中部日本放送	5	5	岐阜放送	37	37	中京テレビ	35	35	三重テレビ	33	33	NHK教育	9	9				名古屋テレビ	11	11	テレビ愛知	25	25
三重	津	059	東海テレビ	1	1	テレビ愛知	25	25	NHK総合	3	31	毎日放送	4	4	中部日本放送	5	5	朝日放送	6	6	三重テレビ	33	33	関西テレビ	8	8	NHK教育	9	9	読売テレビ	10	10	名古屋テレビ	11	11	中京テレビ	35	35
滋賀	大津	077				NHK総合	28	28				毎日放送	4	36				朝日放送	6	38	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	40	びわ湖放送	30	30	読売テレビ	10	42				NHK教育	46	46
京都	京都	075				NHK総合	2	32	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4				朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育	12	12
大阪	大阪	06				NHK総合	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4				朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育	12	12
兵庫	神戸	078				NHK総合	2	28	サンテレビ	36	36	毎日放送	4	18	テレビ大阪	19	19	朝日放送	6	20				関西テレビ	8	22				読売テレビ	10	24				NHK教育	12	26
奈良	奈良	0742				NHK総合	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4	NHK奈良	51	51	朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10	奈良テレビ	55	55	NHK教育	12	12
和歌山	和歌山	073				NHK総合	2	32				毎日放送	4	42	テレビ和歌山	30	30	朝日放送	6	44				関西テレビ	8	46				読売テレビ	10	48				NHK教育	12	26
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1				NHK総合	3	3	NHK教育	4	4																山陰放送	22	22				山陰中央	24	24
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30													NHK総合	6	6				山陰中央	34	34				山陰放送	10	10				NHK教育	12	12
	浜田	0855				NHK総合	2	2	日本海テレビ	54	54				山陰放送	5	5							山陰中央	58	58	NHK教育	9	9									
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	テレビせとうち	23	23	NHK教育	3	3				NHK総合	5	5				瀬戸内海放送	25	25				西日本放送	9	9				山陽放送	11	11			
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31				NHK総合	3	3	中国放送	4	4							NHK教育	7	7				広島ホーム	35	35							広島テレビ	12	12
	福山	0849	テレビ新広島	54	54				NHK総合	3	3				NHK総合	5	5				中国放送	7	7				広島ホーム	57	57				広島テレビ	11	11			
山口	山口	083	NHK教育	1	1	九州朝日	2	2	テレビQ	23	23	山口朝日	28	28	大分放送	5	5				テレビ山口	38	38	RKB毎日	8	8	NHK総合	9	9	テレビ西日本	10	10	山口放送	11	11	福岡放送	35	35
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	テレビ大阪	19	19	NHK総合	3	3	毎日放送	4	4	テレビ和歌山	55	55	朝日放送	6	6	サンテレビ	36	36	関西テレビ	8	8				読売テレビ	10	10				NHK教育	12	38
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19				NHK教育	39	39	毎日放送	4	4	NHK総合	37	37	朝日放送	6	6	瀬戸内海放送	33	33	関西テレビ	8	8	西日本放送	9	9	読売テレビ	10	10	山陽放送	29	29	岡山放送	31	31
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	NHK教育	2	2	広島テレビ	12	12	広島ホーム	35	35	テレビ新広島	31	31	NHK総合	6	6	瀬戸内海放送	33	33	あいテレビ	29	29	西日本放送	9	9	南海放送	10	10	山陽放送	11	11	愛媛放送	37	37
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	NHK総合	2	2	広島テレビ	12	12	NHK教育	4	4	テレビ新広島	31	31	南海放送	6	6	瀬戸内海放送	33	33	あいテレビ	27	27	西日本放送	9	9	広島ホーム	35	35	山陽放送	11	11	愛媛放送	36	36
高知	高知	0888										NHK総合	4	4				NHK教育	6	6				高知放送	8	8				テレビ高知	38	38	高知サンサン	40	40			
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	サガテレビ	36	36	NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	テレビQ	19	19	NHK教育	6	6							テレビ西日本	9	9				熊本放送	11	11	福岡放送	37	37
	北九州	093				九州朝日	2	2	福岡放送	35	35	サガテレビ	36	36	テレビQ	23	23	NHK総合	6	6				RKB毎日	8	8				テレビ西日本	10	10	熊本放送	11	11	NHK教育	12	12
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	NHK教育	40	40	福岡放送	52	52	サガテレビ	36	36	テレビQ	14	14	テレビ熊本	34	34	長崎放送	5	5	RKB毎日	48	48	NHK総合	38	38	テレビ西日本	60	60	熊本放送	11	11	テレビ長崎	37	37
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	九州朝日	57	57	NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	長崎放送	5	5	テレビ熊本	34	34	長崎国際	25	25	テレビ西日本	9	9	長崎文化	27	27	熊本放送	11	11	テレビ長崎	37	37	熊本県民	22	22
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	NHK教育	2	2	熊本朝日	16	16	熊本県民	22	22	長崎放送	5	5	テレビ熊本	34	34	テレビ長崎	37	37	サガテレビ	36	36	NHK総合	9	9	テレビQ	19	19	熊本放送	11	11	RKB毎日	4	4
大分	大分	097	九州朝日	1	1				NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	大分放送	5	5	南海放送	10	10	テレビ大分	36	36	福岡放送	37	37	大分朝日	24	24	テレビQ	19	19	テレビ西日本	9	9	NHK教育	12	12
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1				テレビ宮崎	35	35										鹿児島放送	32	32	NHK総合	8	8	鹿児島テレビ	38	38	宮崎放送	10	10				NHK教育	12	12
	延岡	0982				NHK教育	2	2				NHK総合	4	4				宮崎放送	6	6				テレビ宮崎	39	39												
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	テレビ熊本	34	34	NHK総合	3	3	テレビ宮崎	35	35	NHK教育	5	5	宮崎放送	10	10	鹿児島放送	32	32	熊本県民	22	22	鹿児島テレビ	38	38	熊本朝日	16	16	鹿児島読売	30	30			
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	テレビ熊本	34	34				鹿児島放送	23	23				鹿児島テレビ	35	35	熊本県民	22	22	NHK総合	8	8	熊本朝日	16	16	南日本放送	10	10	熊本放送	11	11	NHK教育	12	12
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	NHK総合	2	2																沖縄テレビ	8	8				琉球放送	10	10				NHK教育	12	12

平成13年9月現在

「初期設定」／「その他の設定」画面を出すとき

「メニュー」画面は、本機の各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「初期設定」画面や「その他の設定」画面、「チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「初期設定」画面を出す

1. 押して、「メニュー」画面を出す
   押して、「初期設定」を選び、
   押す

メニュー：画質の調整／音声の調整／画面位置・サイズ／初期設定
項目選択　決定　○戻る　▭元の画面

初期設定：BSデジタル設定／その他の設定／かんたん設置設定
項目選択　決定　○戻る　▭元の画面

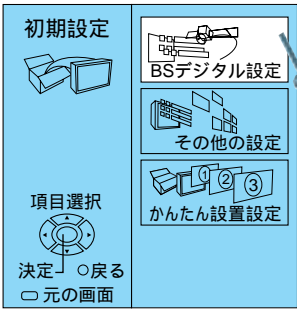
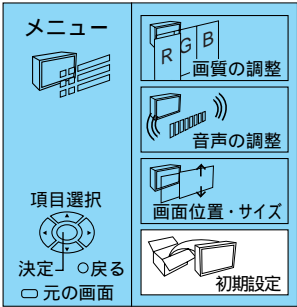
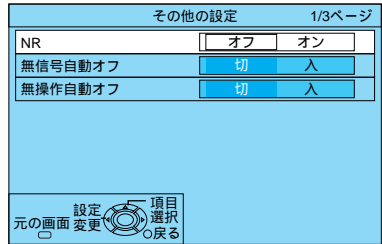
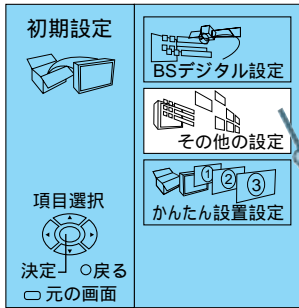
「その他の設定」画面を出す

2. 押して、「その他の設定」を選び
   決定を押す

初期設定：BSデジタル設定／その他の設定／かんたん設置設定
項目選択　決定　○戻る　▭元の画面

その他の設定　1/3ページ

NR	オフ	オン
無信号自動オフ	切	入
無操作自動オフ	切	入

元の画面　設定変更　項目選択　○戻る

「チャンネル設定」画面を出すとき

「チャンネル設定」画面を出す

3. 押して、「チャンネル設定」を選び
   3秒以上押して、「チャンネル設定」画面にする

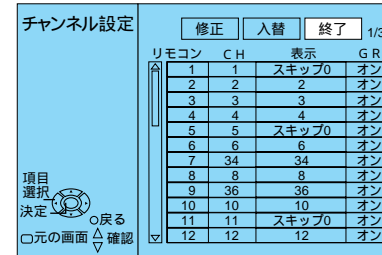
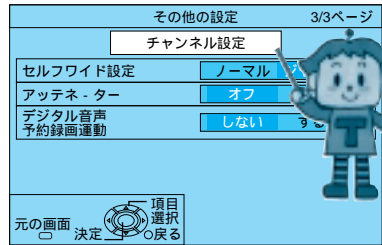
その他の設定　3/3ページ
チャンネル設定

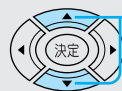
セルフワイド設定	ノーマル
アッテネーター	オフ
デジタル音声予約録画運動	しない　する

元の画面　決定　項目選択　○戻る

チャンネル設定　修正　入替　終了　1/3

リモコン	CH	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン
6	6	6	オン
7	34	34	オン
8	8	8	オン
9	36	36	オン
10	10	10	オン
11	11	スキップ0	オン
12	12	12	オン

項目選択　決定　○戻る　▭元の画面　△▽確認

お知らせ

「その他の設定」画面は3ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

チャンネル設定をする

メモ 表示は次のようなときに書き換えると便利です。
- マンションなどの共同受信で放送と画面の表示が一致しないとき。
- 順送り選局のときに放送のないチャンネル(ノイズ画面)が出ないようにしたいとき。
（●「表示」を「スキップ0」に設定すると、本体やリモコンのチャンネル ∧・∨ ボタンの操作でそのチャンネルをスキップ(飛びこし)して選局します。）

まず、
- テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。
- 22、23ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

1 押して、「修正」を選び、押す

2 押して、設定したいリモコンの番号を選ぶ

例 リモコンの「3」を選ぶ

「リモコン」の項目は
1～12 — 予備－1～予備－23
の順に変化します。
(自動的にページ送りします。)
押し続けると早く変化します。
※チャンネル ∧・∨ ボタンでも操作できます。

3 押して、「CH」の項目を選び

押して、設定する

例「19」チャンネルを受信

「チャンネル」は
1～62 — C13～C39
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

4 押して、「表示」の項目を選び

押して、設定する

例「19」に書き換える

「表示」は選局したとき画面に表示する番号です。
スキップ0 — 1～99 — C13～C39 — 表示なし — VTR
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

■放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。

■続けて他のチャンネルも設定するときは、《ボタンで「リモコン」を選び、手順2から操作をしてください。

5 戻る 修正が終れば押す

設定内容を確認したら「終了」を選び、決定する

- 「その他の設定」画面に戻ります。
- 元の画面 ボタンを押せば、「チャンネル設定」画面が消えます。

お知らせ

予備－1～予備－23は、リモコンのボタンだけで足りないときの予備です。
予備－1～予備－23に設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル ∧・∨ ボタンで選んでください。

■設定している内容を別のリモコンの番号へ入替えることができます。

1 《 》で「入替」を選び、決定を押す
2 ∧∨で入替え元を選び、決定を押す
3 ∧∨で入替えたい番号を選び、決定を押す

入替え終了

- 続けて他の番号も入替えたいときは手順2、3の操作をくり返してください。
- 入替えを終了したい場合は 戻る ボタンを押す。

受信チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV受信地域、マンションの共同受信システムなどで、調整を少しずらしたほうが見やすくなるときに調整します。

まず、
- 微調整したいチャンネルを選ぶ。
- 22、23ページの操作で「チャンネル設定」画面にする。

1 押して、「修正」を選び、押す

2 約3秒間押して、「微調整」画面にする

2 押して、調整する

（見やすいところで手をはなす）

約10秒間、ボタン操作をしないと❶の画面に戻ります。

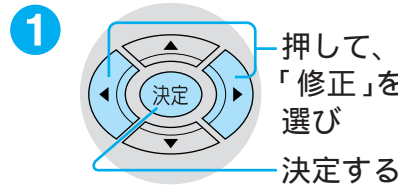
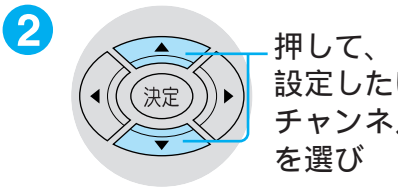
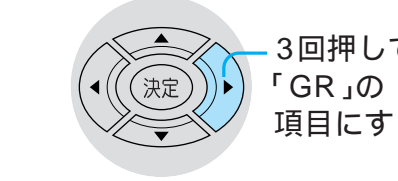
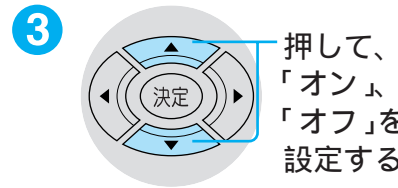
■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

（戻る ボタンを押すと「チャンネル設定」画面になります。）

ゴーストを目立たなくしたいとき

テレビ電波のゴースト（2重、3重の映像）があるチャンネルをGR「オン」に設定すると、ゴーストの軽減された映像がお楽しみいただけます。

まず、 22、23ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

1 押して、「修正」を選び決定する

2 押して、設定したいチャンネルを選び

3回押して「GR」の項目にする

3 押して、「オン」、「オフ」を設定する

「オン」……ゴーストのあるチャンネルのとき

「オフ」……ゴーストの目立たないチャンネルのとき

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

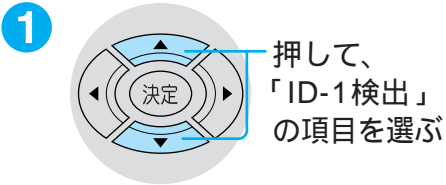
（戻る ボタンを押すと「チャンネル設定」の選択画面になります。）

お知らせ

- ゴースト除去に効果があるのは、放送局からの電波（「ゴースト除去基準信号」が含まれた放送）を受像するときです。ビデオの再生画像などには効果がありません。
- ゴースト除去は選局して約3秒後に大きなゴーストを軽減させ、その後残ったゴーストを順次軽減します。
- 電波が弱い場合、大きなゴーストを軽減させたとき新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減されます。
- アンテナの設置・調整時は、GR「オフ」にしてください。
- 画面表示ボタンを押して「GRオフ」または「GCR信号なし」と表示された場合はGR機能は動作しません。
- 次のような場合、GR「オフ」でご覧ください（ゴースト除去の効果が十分に得られないことがあります）。
  - アンテナが正確に設置・調整されてないとき（室内アンテナなど）
  - 過大なゴーストのとき（ゴーストが残ります。）
  - 飛行機に反射しているゴーストなど変化しているゴーストのとき
  - 多数（10波以上）のゴーストがあるとき
- BSデジタル放送はGR設定できません。

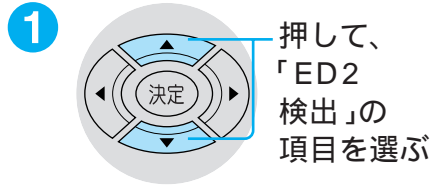
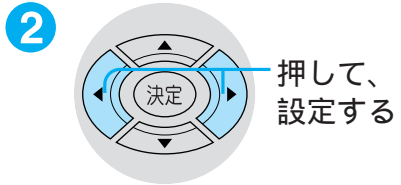
ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切換える「ID-1検出」

ビデオ入力（1～3）の映像信号や、ビデオ入力（1～3）のS2映像信号、コンポーネントビデオ入力（1～2）の525i（480i）又は525p（480p）信号に、画面サイズの識別信号がある場合、画面サイズを自動的に切換えます。

まず、22ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

●ID-1検出が働くと画面サイズが変わり、フル または ワイド と画面表示します。

「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切換える「ED2検出」

まず、22ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

●「その他の設定」画面は
3ページ構成です。
で項目を送ると
自動的にページ
が変わります。

ＥＤ２検出 オフ オン

●オン …「ワイドクリアビジョン」の放送や、映像ソフトをご覧のとき、画面サイズを自動的に切換えます。
●オフ …画面サイズの自動切換をしません。
（正しく動作しない場合は「オフ」で使用してください。）

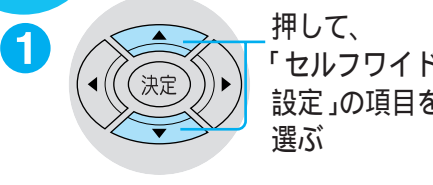
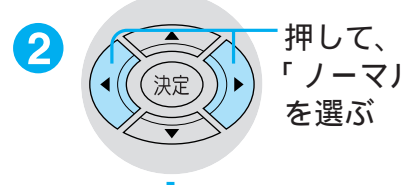
お知らせ

● ED2検出が働くと画面サイズが変わり、ワイド と画面表示します。
●「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると、ワイド にはなりません。このときは 画面モード ボタンを1回押して「セルフワイド」にしてください。

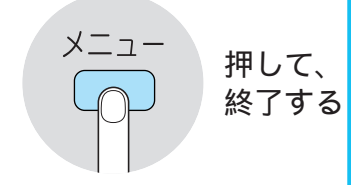
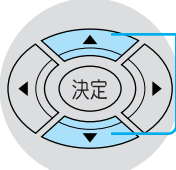
4：3の映像のとき

自動で拡大画面にしたくない場合

「セルフワイド」機能で、4：3の普通の映像をそのまま見るときに設定します。

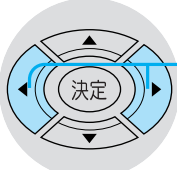
まず、22ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

セルフワイド設定 ノーマル ジャスト

4：3の映像のとき「ノーマル」画面になります。

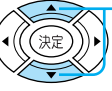
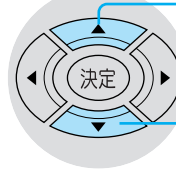
4：3の映像のとき「ジャスト」画面になります。

お知らせ

「その他の設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

コンポーネントビデオ入力に525p（順次走査）信号を入力時の設定「525p色マトリクス」

コンポーネント（色差）ビデオ入力端子に接続した機器の出力が525p（480p）方式の場合、接続する機器の色が自然な色あいになるほうに設定します。

まず、22ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

●「525p色マトリクス」は750p（720p）や1125i（1080i）、525i（480i）出力の機器を接続する場合には関係ありません。

テレビの電波が強過ぎる地域などで

映像が不安定になるとき

まず、22ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

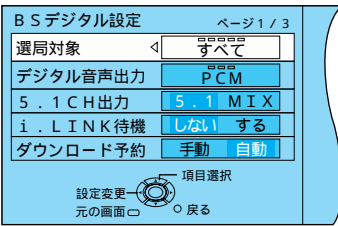
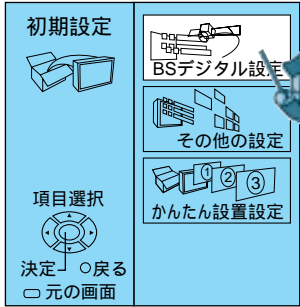
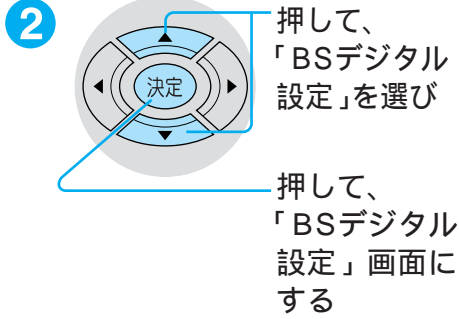
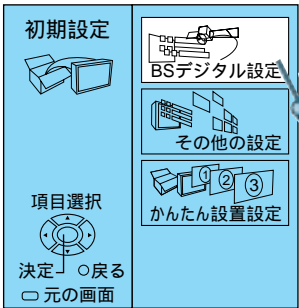
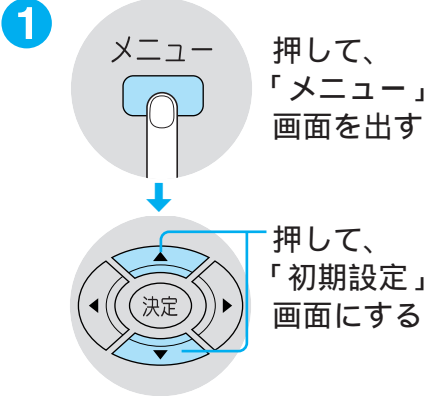
お知らせ

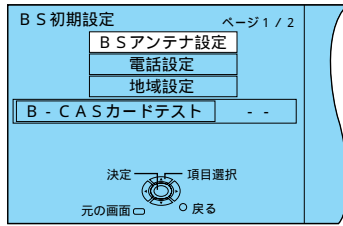
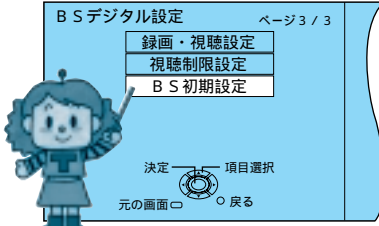
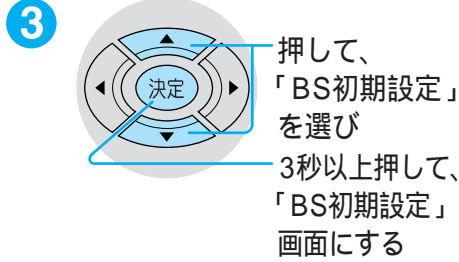
● アッテネーター「オフ」、「オン」は地上波放送（UHF／VHF）の場合のみ有効です。（BSデジタル放送には関係ありません）

●「その他の設定」画面は3ページ構成です。

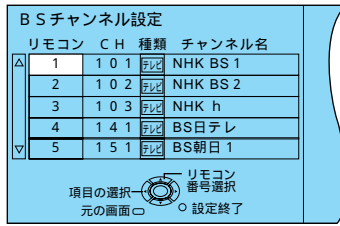
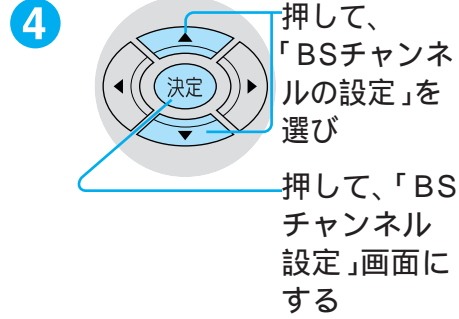
 で項目を送ると自動的にページが変わります。

「BSデジタル設定」画面を出すとき

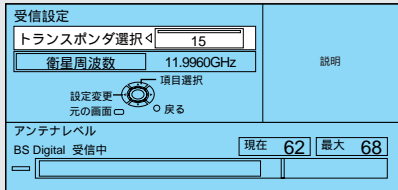
「BSデジタル設定」画面は、BSデジタルの各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「BS初期設定」画面や「BSチャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「BS初期設定」画面/「BSチャンネル設定」画面を出すとき

「BSデジタル設定」画面を出す

「BS初期設定」画面を出す

「BSチャンネル設定」画面を出す

●「BSデジタル設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

●「BS初期設定」画面は2ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

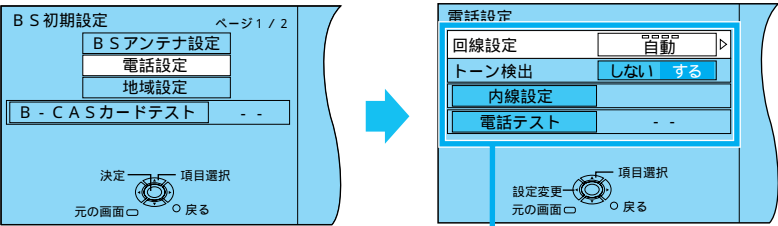
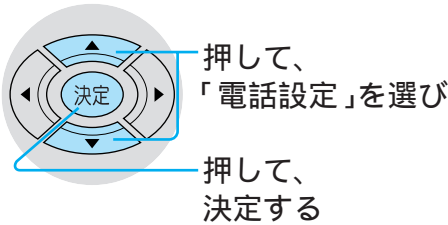
お知らせ

●「BS初期設定」画面の2／2ページに「受信設定」の項目がありますが、この設定はBSデジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。設定を変更するとBSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

電話設定

BSデジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への参加が行われるため、必ず電話回線の接続（☞51ページ）をしたうえ、電話設定を行ってください。

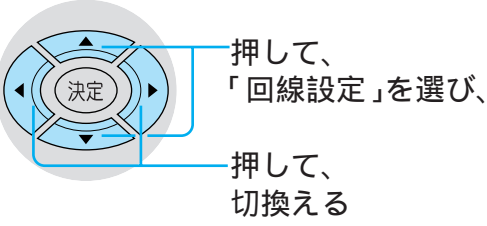
次ページへ続く

まず、 32、33ページの操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

電話設定画面の出しかた

回線設定 ▷35ページ
トーン検出の設定 ▷35ページ
内線設定 ▷36ページ
電話テスト ▷37ページ

● 各項目の設定、テストを行ってください。

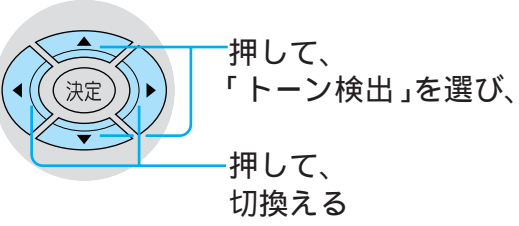
回線設定

本機に接続された電話回線に合わせて設定を行います。工場出荷時は「自動」に設定されています。

自　動	…「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
プッシュ	…プッシュ回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル20	…20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル10	…10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。工場出荷時は「する」に設定されています。

する	…通常はこの設定でご使用ください。
しない	…受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

お知らせ

●1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

次のような症状がでるときは

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

● 本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る
　この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

● 電話機にノイズ（雑音）が入る
　この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

お知らせ

● 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。
また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。

● 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。

●「トーン検出」を「しない」に設定していると「自動」の項目は表示されません。

お知らせ

●「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。

● 回線設定が「自動」に設定されているときは、トーン検出は「する」に固定されます。

電話設定（つづき）

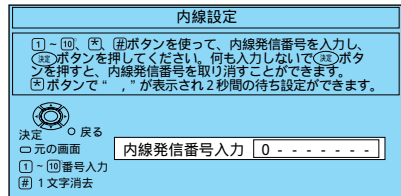
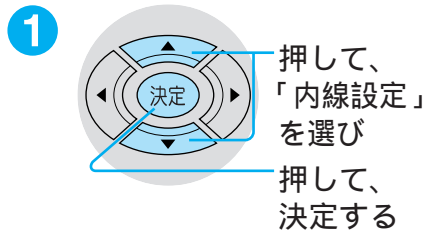
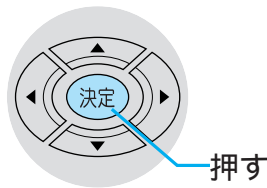
内線設定

外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続の場合のみ、この設定が必要となります。

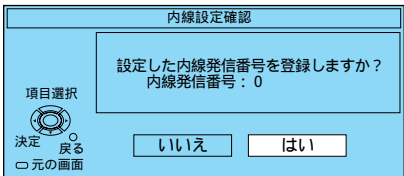
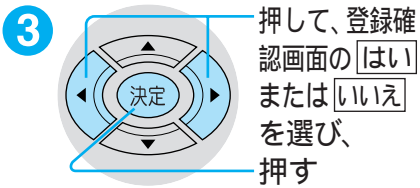
例 0を設定する場合

押して、「内線設定」を選び
押して、決定する

❷ 内線発信番号0を入力し、

押す

- 時間待ち設定が必要な場合は、11ボタンを押すことにより ，（カンマ）が入力され時間待ち設定ができます。，（カンマ）1つで2秒間の待ち設定になります。
- 12ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。
- 「0」を入力するときは、10ボタンを押してください。

❸

押して、登録確認画面の はい または いいえ を選び、
押す

はい …入力した内線発信番号が登録されます。

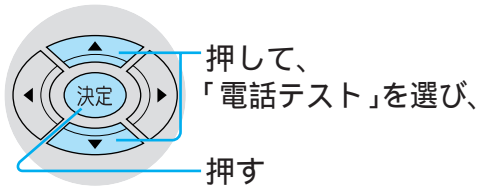
いいえ …入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

電話テスト

「電話設定」が正しく設定されているか否かを確認します。テストには約3分かかる場合があります。

押して、「電話テスト」を選び、
押す

- 電話テストが開始されます。

電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

OK …正常であることが確認されました。

NG …不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。

テスト中 …テスト中です。

－－ …テストをしていない状態です。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

お知らせ

- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は❷の手順で何も入力せずに 決定 ボタンを押し、❸の手順で◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンで1つ前の画面に戻せます。

お知らせ

- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。

地域設定

「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

まず、 32、33ページの操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

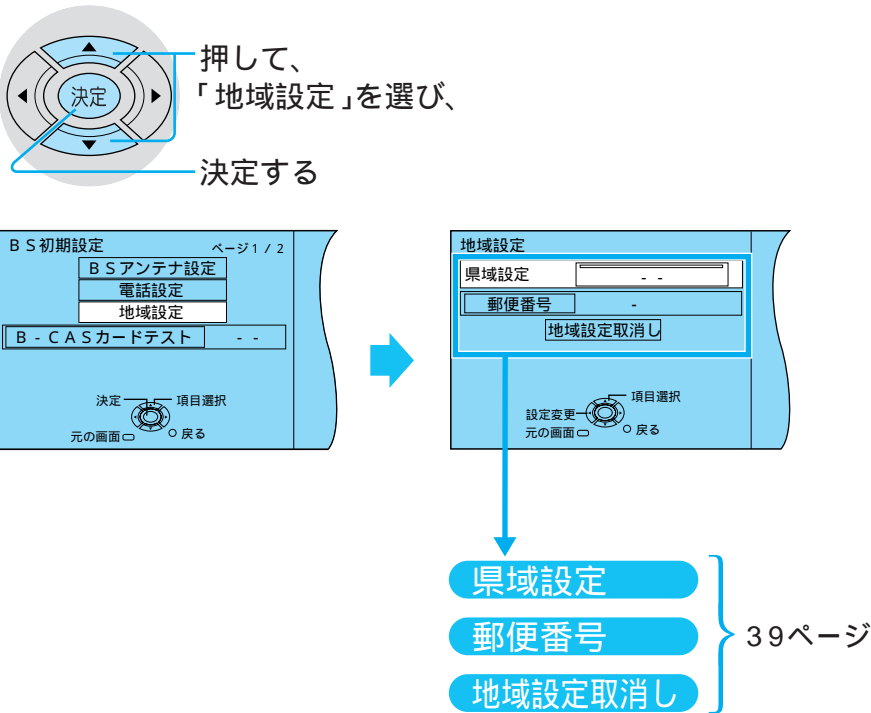
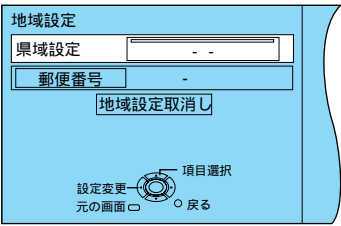
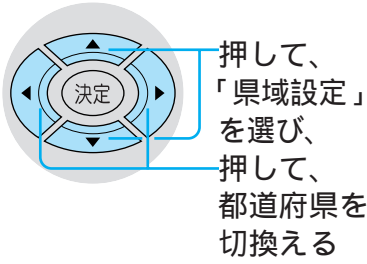
地域設定画面の出しかた

県域設定

お住まいの都道府県を設定します。

押して、「県域設定」を選び、押して、都道府県を切換える

お願い

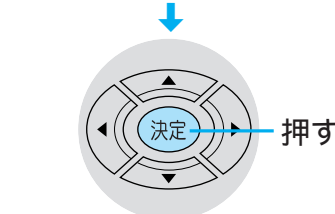
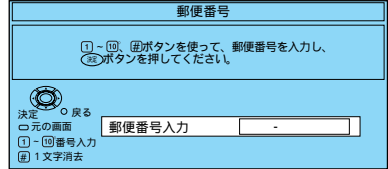
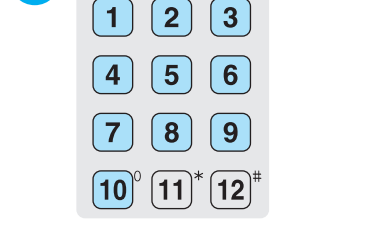
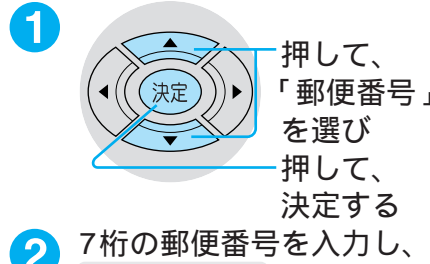
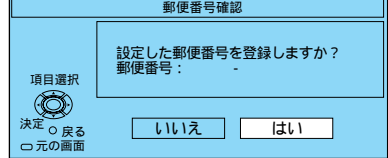
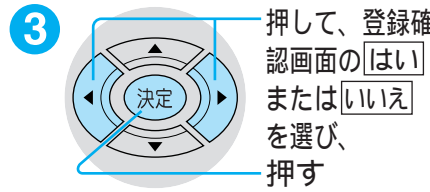
● 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号（7桁）を設定します。

1. 押して、「郵便番号」を選び、押して、決定する
2. 7桁の郵便番号を入力し、

押す

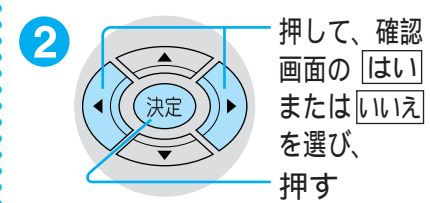
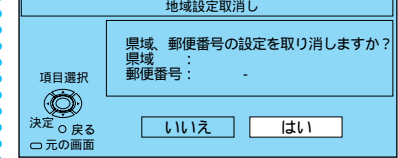
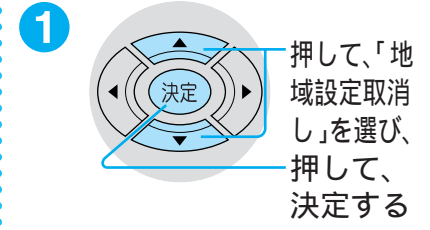
● 12ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取消すことができます。
● 「0」を入力するときは、10ボタンを押してください。

3. 押して、登録確認画面のはいまたはいいえを選び、押す

はい…入力した郵便番号が登録されます。
いいえ…入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

地域設定取消し

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷時に戻します。

1. 押して、「地域設定取消し」を選び、押して、決定する

2. 押して、確認画面のはいまたはいいえを選び、押す

はい…「県域設定」と「郵便番号」の設定値を工場出荷状態に戻します。
いいえ…「地域設定」画面に戻ります。

お知らせ

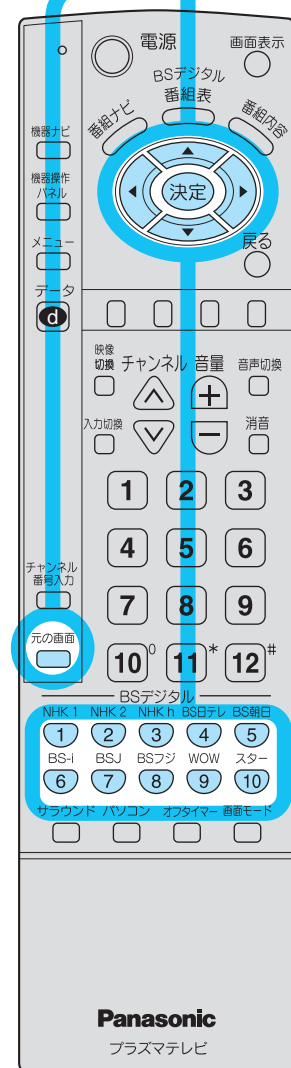
設定が終わったら

● 戻る ボタンを押す → 1つ前の画面に戻ります。
● 元の画面 ボタンを押す → 設定画面が消えます。

BSチャンネルの設定

BSチャンネルの設定

リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルをお好みのチャンネルに設定できます。

まず、32、33ページの操作で「BSチャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

(例) 5 ボタンに102チャンネルを設定する場合

1

押して、設定したいリモコン番号を選び
押して、「CH」の項目を選ぶ

BSチャンネル設定

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101		BS1
2	102		BS2
3	103		BS3
4	141		BS4
5	151		BS5

項目選択 リモコン番号選択 元の画面 設定終了

BSチャンネル設定

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101		BS1
2	102		BS2
3	103		BS3
4	141		BS4
5	151		BS5

項目選択 リモコン番号選択 元の画面 設定終了

リモコンの数字ボタン番号欄　チャンネル番号欄

BSチャンネル設定

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101		BS1
2	102		BS2
3	103		BS3
4	141		BS4
5	151		BS2

項目選択 変更 元の画面 設定終了

2

押して、チャンネル番号を選ぶ

BSチャンネル設定

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101		BS1
2	102		BS2
3	103		BS3
4	141		BS4
5	102		BS

決定 項目選択 元の画面

●「－－－」に設定すると、チャンネル△・▽ボタンの選局時にチャンネルをスキップします。

■続けて設定したい場合

押して、「リモコン」の項目を選び手順1から操作する

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す（設定終了）

●「チャンネル設定」画面が消えます。

お知らせ

●プリセット選局についてはB編：26ページをご覧ください。
●チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
●「リモコン」項目の11～40に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「プリセット」にした場合に順送り選局ができます。（☞A編：40ページ）

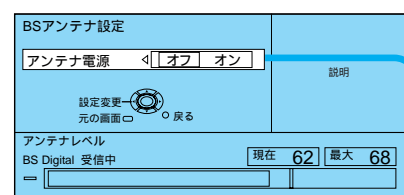
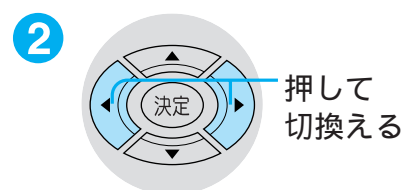
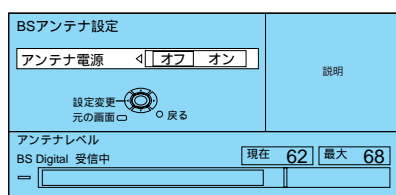
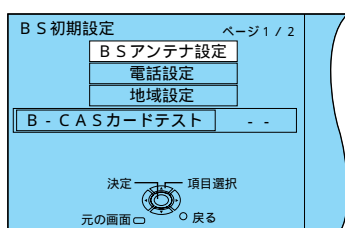
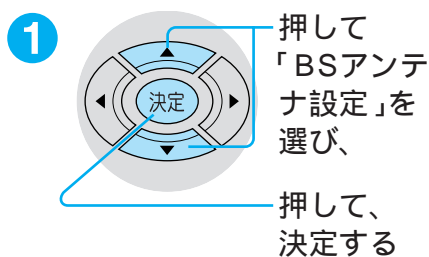
BSアンテナ設定

本機からBSアンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」／「オフ」を設定します。
工場出荷時は「オフ」に設定されています。
また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。

まず、 32、33ページの操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

1 押して「BSアンテナ設定」を選び、押して、決定する

2 押して切換える

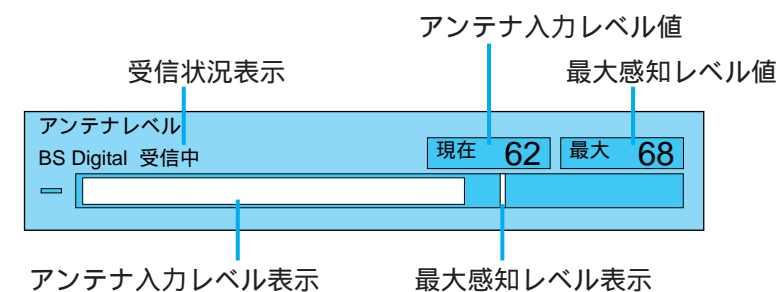
アンテナ電源　オフ　オン

オン …個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。

オフ …マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

■設定が終わったら

ボタンを押す

アンテナ入力レベルの確認と調整

「BSアンテナ設定」画面でアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながらBSアンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。
アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital 受信中」と表示されます。さらに「BS Digital 受信中」が表示された状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。

最大感知レベル表示 最大感知レベル値	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
アンテナ入力レベル表示 アンテナ入力レベル値	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
受信状況表示	BSデジタル放送を受信すると「BS Digital 受信中」と表示されます。

お知らせ

- BSアンテナへの電源供給は「BSアンテナ電源」を オン にしておいても次のときは供給しません。
  - ・チューナーユニットの電源を切っているとき。
  - ・リモコンで電源を切っているとき。ただし、「i.LINK待機の設定」（☞59ページ）を する に設定している場合は供給します。

お願い

- アンテナの仰角・方位角の調整方法はBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
- 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。「BS Digital 受信中」と表示される向きにアンテナを調整してください。

お知らせ

- アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。

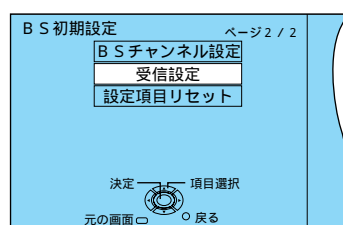
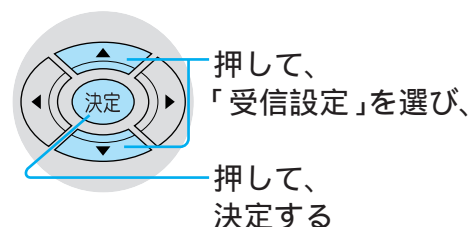
受信設定／設定項目リセット

B-CASカードテスト

まず、32、33ページの操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

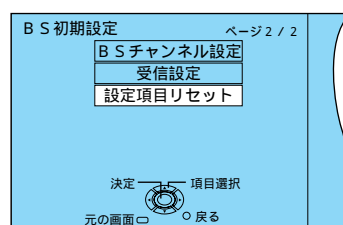
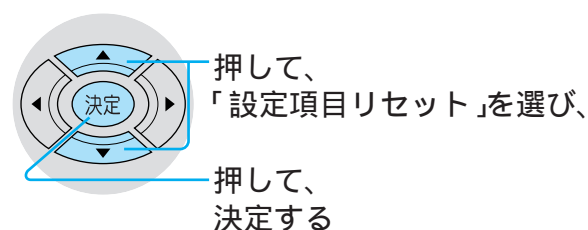
受信設定

押して、「受信設定」を選び、

押して、決定する

「受信設定」画面での設定は、BSデジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更するとBSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

設定項目リセット

押して、「設定項目リセット」を選び、

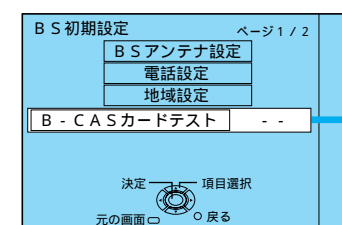
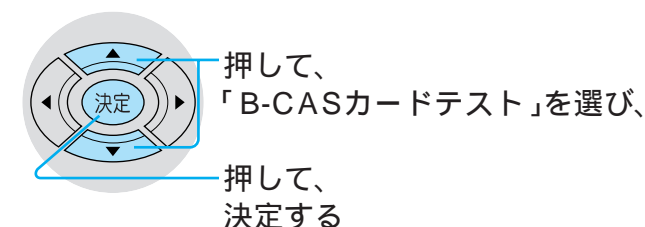
押して、決定する

「BSアンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値を工場出荷値に戻します。
正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。

押して、「B-CASカードテスト」を選び、

押して、決定する

BS初期設定 ページ1／2
BSアンテナ設定
電話設定
地域設定
B－CASカードテスト －－

B－CASカードテスト －－

B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK …正常であることが確認されました。

NG …正常に動作していません。
B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。（☞50ページ）

テスト中 …テスト中です。

－－ …テストをしていない状態です。

お願い

- B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

■「B-CASカードテスト」が終わったら

元の画面 ボタンを押す

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

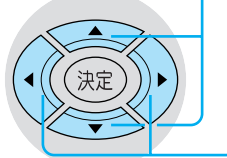
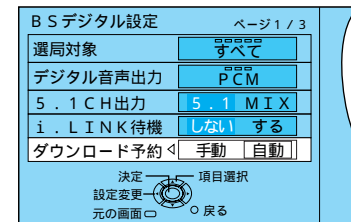
ダウンロード機能とは、放送衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。

ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。
1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

Ⓐ 重要なダウンロード情報が届いた場合、下記の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に自動的にダウンロードが行われます。

Ⓑ お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合で重要なダウンロード情報が届くと、ダウンロード予約選択メールも同時に届きます。（右ページ）

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールの「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。

次の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

ダウンロード予約の自動／手動の設定

工場出荷時は「自動」に設定されています。

まず、32ページの操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

1

押して「ダウンロード予約」を選び
「自動」「手動」を切換える

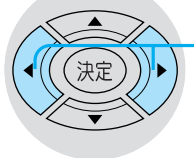
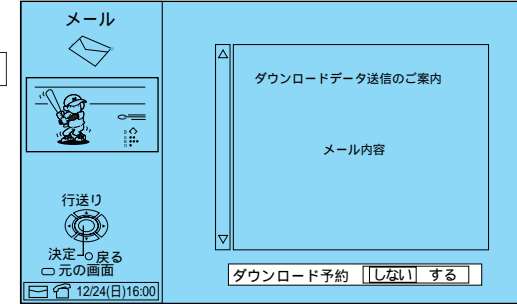
ＢＳデジタル設定	ページ１／３
選局対象	すべて
デジタル音声出力	ＰＣＭ
５．１ＣＨ出力	５．１　ＭＩＸ
ｉ．ＬＩＮＫ待機	しない　する
ダウンロード予約	手動　自動

決定　項目選択　設定変更　元の画面　戻る

自動 …重要なダウンロード情報が届けば、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に自動的にダウンロードを行います。（ふだんは 自動 でご使用ください。）

手動 …ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

2

ボタンを押す（設定終了）

● 「BSデジタル設定」画面が消えます。

「ダウンロード予約選択メール」画面での設定方法

左ページのⒷのダウンロードの場合

まず、A編：45ページの手順でダウンロード予約のメールを確認する。

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に、自動的にダウンロードを行います。

する、しない を選ぶ

ダウンロード予約選択メール

する …ダウンロードを行う場合に選びます。
しない …ダウンロードを行わない場合に選びます。

■ 戻る ボタンでメールの一覧画面に戻る。

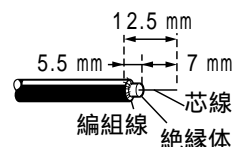
お知らせ

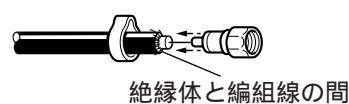
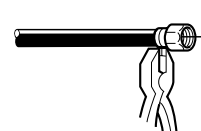
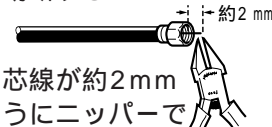
● ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。（☞A編：45ページ）
● ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。
● ダウンロードサービスを受信していただくため、ご使用後は「リモコンで電源を切った状態」にされることをおすすめします。

アンテナ線の接続

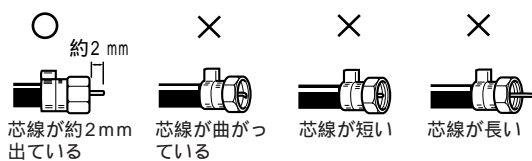
VHF/UHFアンテナ線を加工する

※付属のF型接栓(3種類)はVHF/UHFアンテナ線用です。

①先端を処理する

②リングを通す

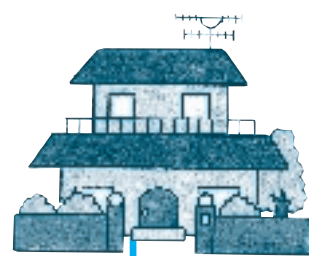
③接栓をさし込む

④リングをはさんでしめつける

⑤芯線を切断する

出ている芯線が約2mmになるようにニッパーで切断してください。

お願い

ケーブルの先端処理をする場合、芯線に傷をつけないようにしてください。芯線と編組線が接触(タッチ)しないようにしてください。また、先端が曲がっていたり、短かったりしますと接触不良の原因となります。長すぎると、コンバーター部の破損につながる可能性があります。芯線が接栓より約2 mm飛び出す状態に加工してください。

お知らせ

- 3種類のF型接栓を付属しています。アンテナ線(同軸ケーブル)の太さに応じてご使用ください。
- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。
  ※電波が強すぎて映像が不安定になったり、FMラジオ放送の影響で映像・音声に妨害が入る場合は、お求めの販売店にご相談ください。

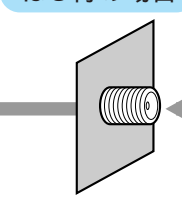
壁面にアンテナコンセントがある場合

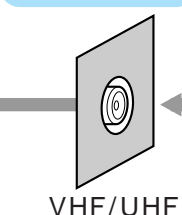
■アンテナ線がVHF/UHF混合の場合(またはVHF、UHFだけの場合)

VHF・UHF

ねじ付の場合

VHF/UHF

ねじなしの場合

VHF/UHF

アンテナプラグ(別売)

F型接栓(付属)

VHF、UHFアンテナ端子

- BSも混合されている場合は下図のように「BS／UV分波器」が必要です。

■マンションなどの共聴システムの場合(VHF/UHF/BS混合のとき)

VHF・UHF

BS

ねじ付の場合

VHF/UHF/BS

ねじなしの場合

VHF/UHF/BS

アンテナプラグ(別売)

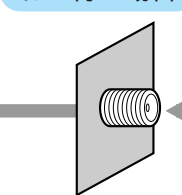
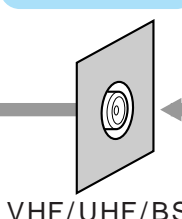
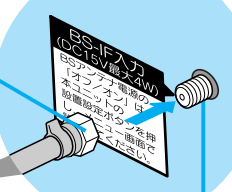
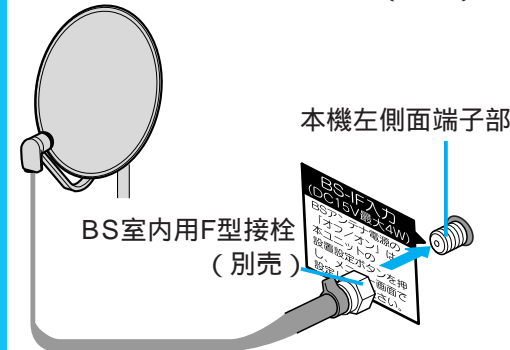
F型接栓(付属)

VHF、UHFアンテナ端子

BS／UV分波器(別売)

BS室内用F型接栓(別売)

BSアンテナ端子

側面部

BSアンテナ電源を オフ にしてください。
- BSアンテナ電源☞42ページ

- ビデオなどをご使用の場合は、ビデオなどの取扱説明書もご覧ください。

BSアンテナを個別に立てたとき

BSアンテナ電源を にしてください。

- BSアンテナ電源☞42ページ

- BSアンテナの設置方法についてはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナケーブルは衛星専用ケーブルをご使用ください。

CATVを受信する場合

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。

詳しくは、CATV会社にご相談ください。

本機が受信できる放送の種類

VHF　：1～12チャンネル
UHF　：13～62チャンネル
CATV：C13～C38チャンネル
BS　　：BSデジタル放送
　　　(BS<アナログ>放送は受信できません。)

B-CASカードの挿入

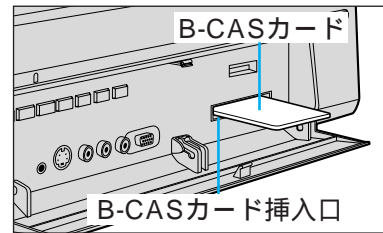
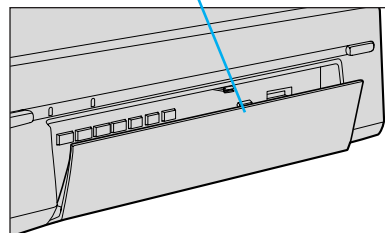
チューナーユニットに付属のB-CASカードは、チューナーユニットの電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

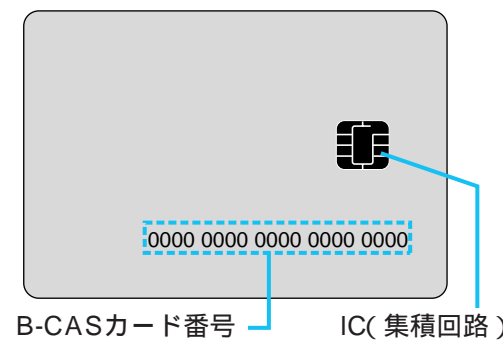
1 チューナーユニット前面の扉を開ける

「△」部を押す。

2 B-CASカードを挿入する

絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。

3 チューナーユニット前面の扉を閉める

B-CASカードについて

付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえB編裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは上記手順をご覧のうえ、チューナーユニット前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。BSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

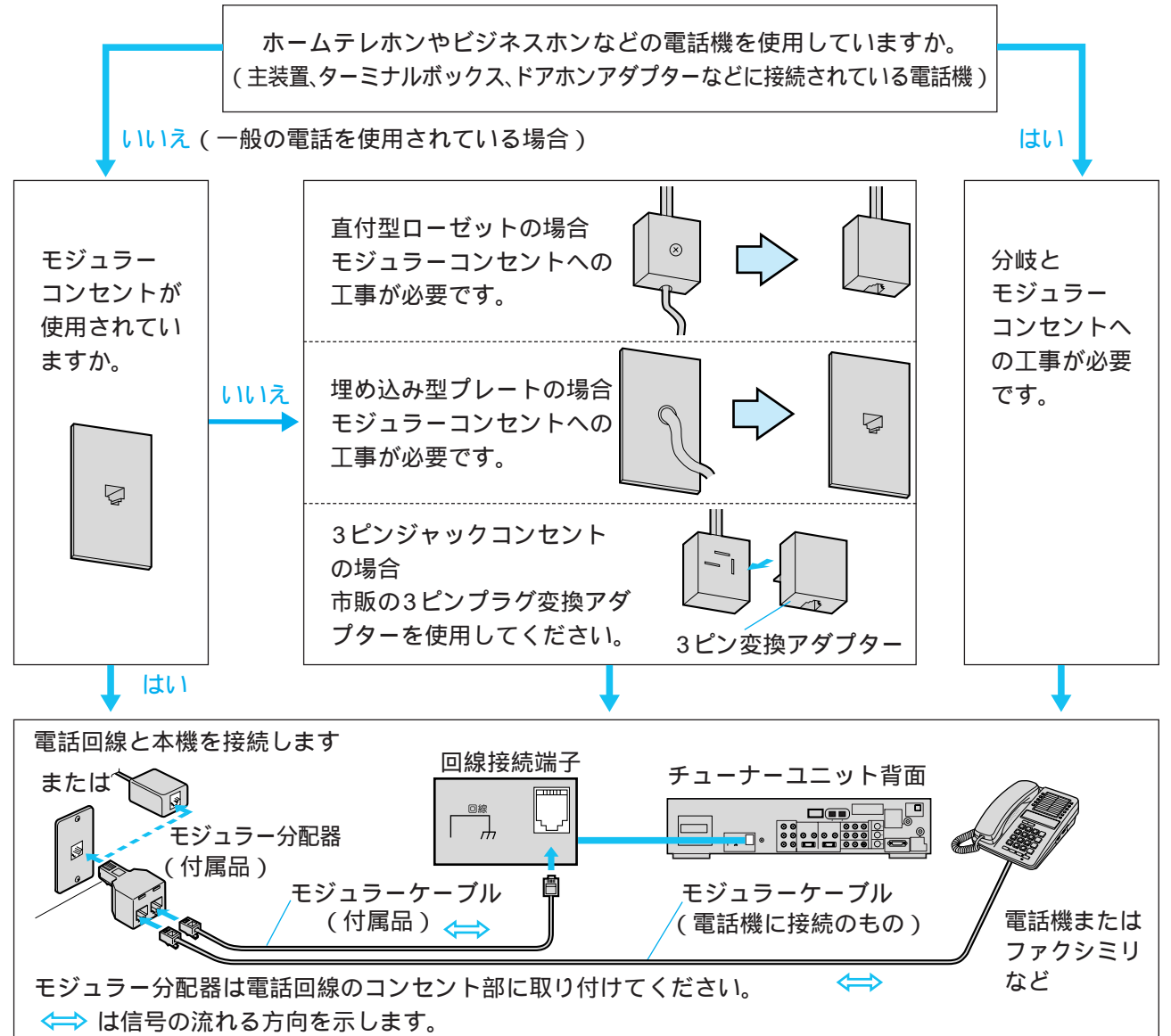
B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、チューナーユニットの電源ボタンを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC (集積回路) が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お願い

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

電話回線の接続

下記の手順に従って電話回線の接続形態を確認してから、接続を行ってください。

■以下の電話回線には接続できません

- ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがある場合は接続できます。）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。

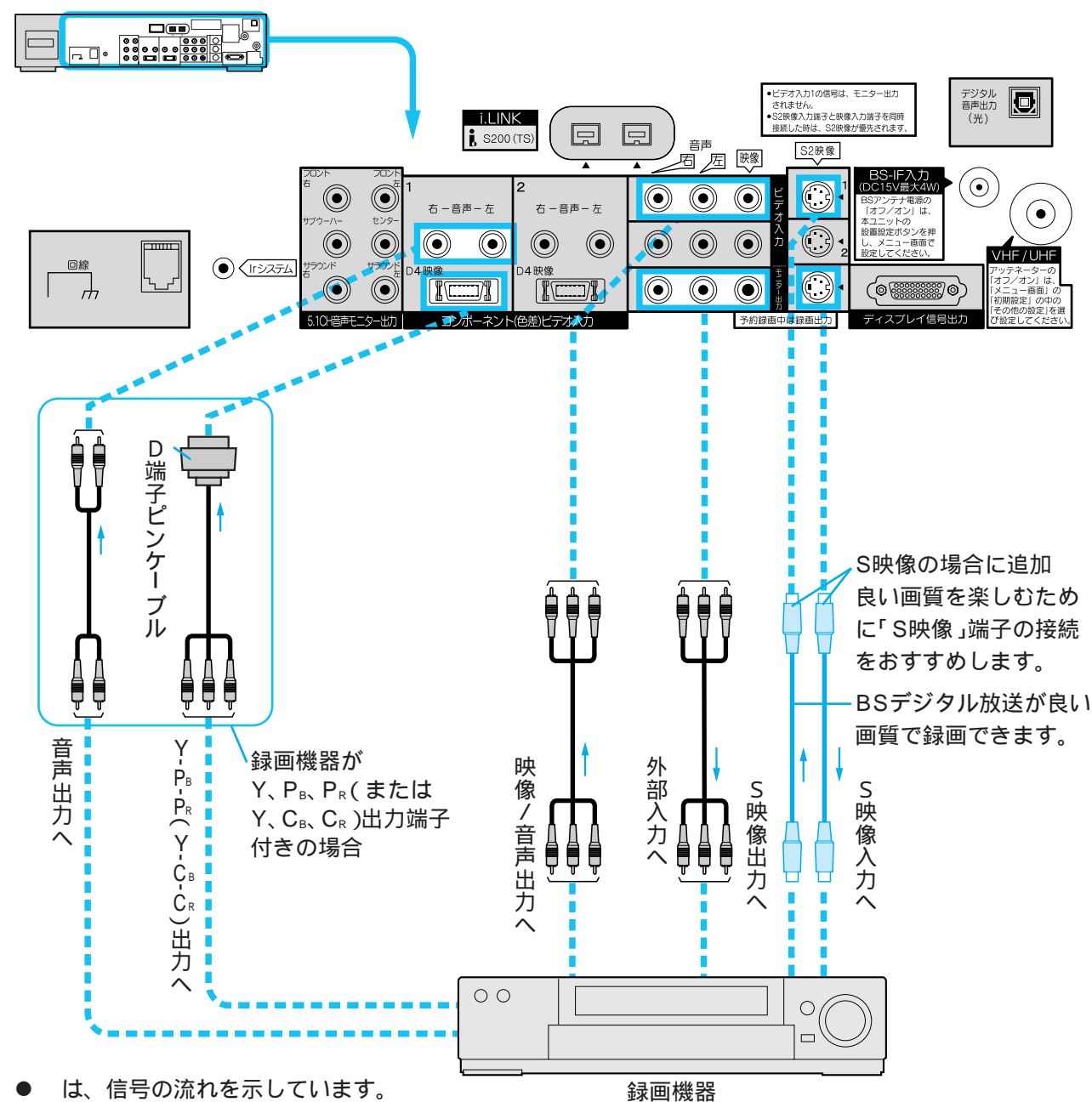
お願い

- 電話回線に関してはお求めの販売店にご相談ください。
- モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 付属のモジュラーケーブルは10 mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

お知らせ

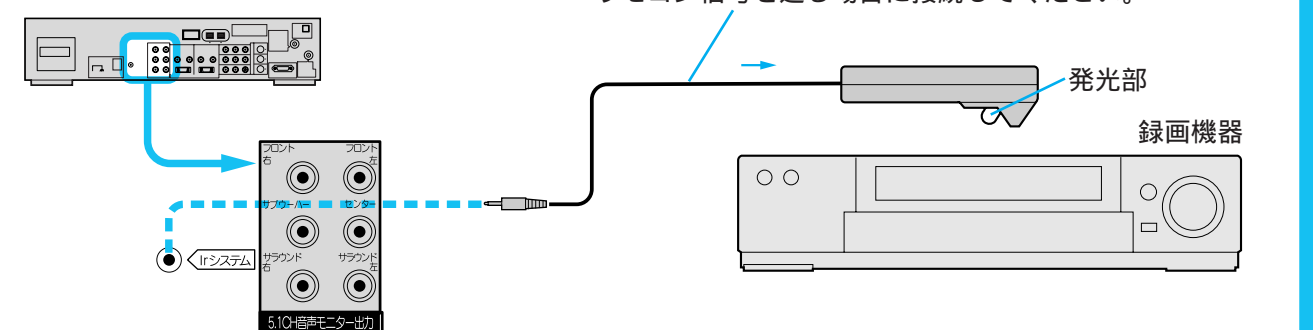
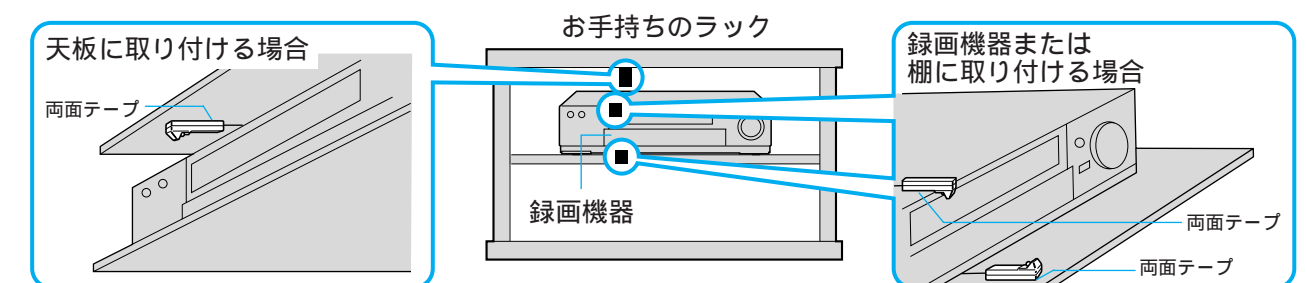
- 付属のモジュラーケーブル(10 m)で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

録画機器を接続する

Irシステムケーブルを接続する

お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。（接続コード別売）
- ハイビジョン番組の映像も現行放送（NTSC）と同等の画質で録画されます。
- 録画機器の説明書も参照ください。
- ビデオ入力1、2の音声は「左」の端子のみに接続しますと左右スピーカーからは同じ音声が出力されます。（モノラル音声対応）

「連動予約」や「タイマー予約」をするとき（☞A編：29ページ）は、

- Irシステムケーブルの接続（☞53ページ）と、「Irシステム設定」（☞60～63ページ）を行ってください。
- BS放送を録画予約すると、リモコンで電源「切」のとき、機能待機ランプ〈橙〉が点灯します。

※D端子ピンケーブルは別売品（RP-CVCDG15［1.5m］）をお求めください。

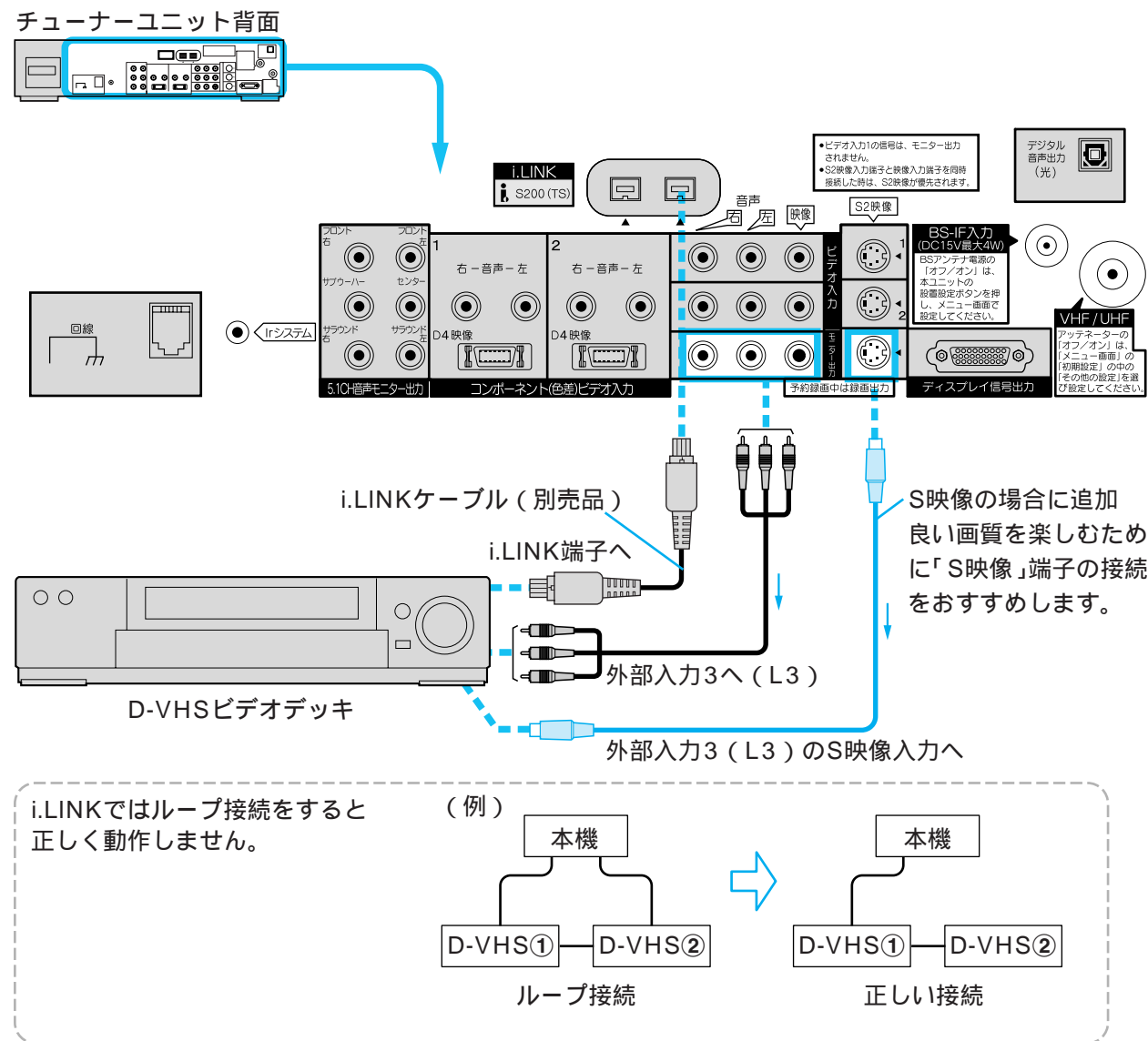
お願い

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。
- 52ページの録画機器の接続も行ってください。

Irシステムとは

- Ir（Infrared（インフラレッド）：赤外線）で制御するシステムです。

i.LINK対応機器を接続する（D-VHSビデオデッキ）（ハードディスクビデオレコーダー）

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーが接続できます。
i.LINK接続するとD-VHSビデオデッキへ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i.LINKについては、A編：46ページをご覧ください。

i.LINK対応機器の接続時のお願い

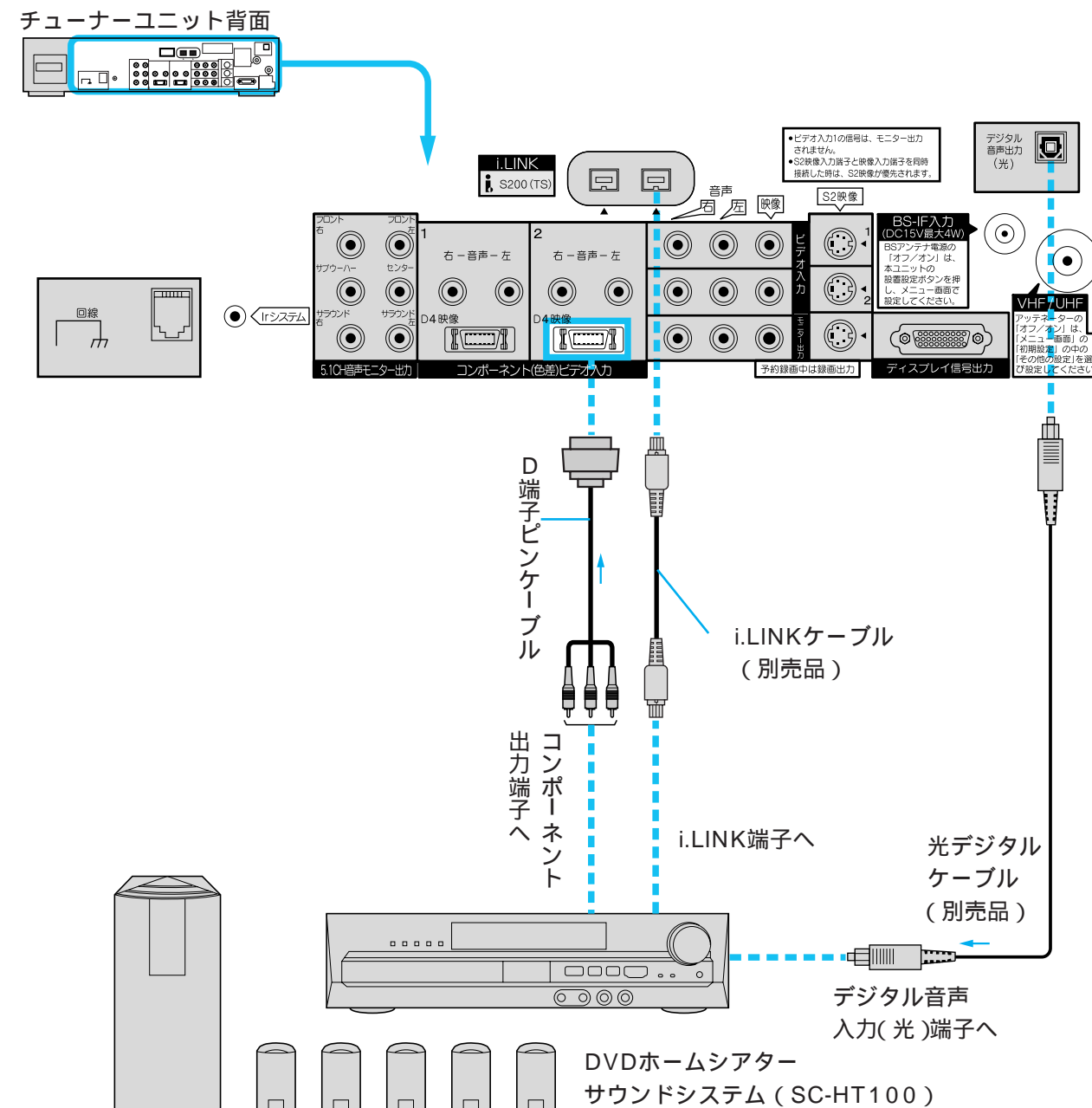
- i.LINKケーブルは別売のS200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。
- i.LINKケーブルはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- i.LINK対応機器は、2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。

お願い

- 接続機器の説明書も参照ください。

※i.LINKケーブルは別売品（RP-CDE4G15［1.5m］、RP-CDE4G30［3m］）をお求めください。

i.LINK対応機器を接続する（DVDホームシアターサウンドシステム）

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製DVDホームシアターサウンドシステムが接続できます。
i.LINK接続すると本機のリモコンでDVDホームシアターサウンドシステムの基本的な操作ができます。
i.LINKについては、A編：46ページをご覧ください。

お願い

- 54ページの「i.LINK対応機器の接続時のお願い」もよくお読みください。
- DVDホームシアターサウンドシステムの説明書も参照ください。

※i.LINKケーブルは別売品（RP-CDE4G15［1.5m］、RP-CDE4G30［3m］）をお求めください。
※D端子ピンケーブルは別売品（RP-CVCDG15［1.5m］）をお求めください。
※光デジタルケーブルは別売品（RP-CA2010A［1m］）をお求めください。

5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ

本機の音声モニター出力端子に5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプとスピーカーを接続すれば、最大5.1チャンネルのサラウンド音声もお楽しみいただけます。

お願い

- 「5.1CH出力の設定」を「5.1」に設定しておいてください。（☞65ページ）
- 左右の音声出力端子のみ接続（サラウンド出力端子には接続しない）した場合は、ダウンミックス音声（5.1チャンネルの音声が2チャンネルの音声になる）として出力します。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。
また、本機はAACフォーマットに対応のため、AACフォーマット対応のオーディオ機器にも接続できます。
AACフォーマットをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。（☞64ページ）

お願い

- 光デジタル音声出力端子を使用するときは端子に差し込まれているカバーを引っぱって取り外してください。
  本機の光デジタル音声出力端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。（送信されるサンプリング周波数には、32kHz、44.1kHz、48kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。）
- 接続はオーディオ機器の説明書も参照ください。

※光デジタルケーブルは別売品（RP-CA2010A［1m］)をお求めください。

AAC（Advanced Audio Coding）とは

AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質データを約1／12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

パソコンを接続する

※音声入力は「ビデオ入力3」の端子を使用します。なお、モノラル音声の場合は「左」の端子に接続してください。左右スピーカーから同じ音声が出力されます。
※イラストのパソコンは接続例です。

■接続できるパソコン信号の種類

● 本機は表に記載の代表的な8種類のパソコン信号について、あらかじめ調整値を記憶しています。表に記載されていないパソコン信号は、最大4種類まで記憶します。(対応周波数は水平：15.75kHz～110kHz、垂直：48Hz～120Hzです。)

〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉

640×480：60Hz	640×480：75Hz	800×600：60Hz	640×480：67Hz
640×400：70Hz	1024×768：60Hz	800×600：75Hz	832×624：75Hz

● 解像度は表に記載のドット数が表示可能です。

画面モードが「ノーマル」のとき	画面モードが「フル」のとき	パソコン表示規格
640×480	852×480	VGA対応

垂直解像度が上記の表を超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
● 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。

お知らせ

● パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
● PC-98シリーズ（D-sub15P端子の機種）やMacintoshのパソコンを接続する場合、変換アダプターが必要です。(別売)
※ パソコンのミニD-sub15P端子が、DOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
PC-98（D-sub15P端子の機種）用………TY-ADN98
Macintosh用 ……………………………………TY-ADMACU

パソコン入力端子のピン配列

■パソコン入力端子（ミニD-sub15P）の信号名

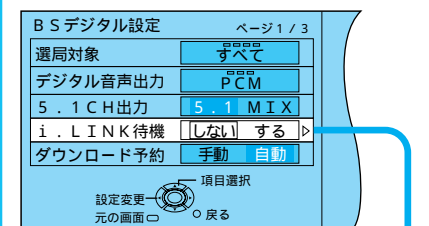
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
①	R	⑥	GND（アース）	⑪	GND（アース）
②	G	⑦	GND（アース）	⑫	NC（無接続）
③	B	⑧	GND（アース）	⑬	HD／SYNC
④	GND（アース）	⑨	NC（無接続）	⑭	VD
⑤	GND（アース）	⑩	GND（アース）	⑮	NC（無接続）

商標について

● VGAは米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
● Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
● PC-98は日本電気株式会社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

i.LINK待機の設定

本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなる「しない」に設定してください。

まず、 32ページの操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

しない …電源オフ時の消費電力を少なくします。リモコンで電源オフにすると、チューナーユニットおよびディスプレイユニットの電源表示ランプが赤色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。

する …リモコンで電源オフにするとチューナーユニットの電源表示ランプが橙色（ディスプレイユニットは赤色）に点灯し（「機能待機」状態）映像・音声などの信号出力を停止しますが、i.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます。(i.LINK接続された機器から再生信号を受け付けると、本機の電源が自動的にオンになります。)

お願い

● 複数のi.LINK対応機器をi.LINKケーブルで接続した場合、「i.LINK待機」の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン(受像)時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

Irシステムの設定

チューナーユニットに付属のIrシステムケーブルユニットを使用すると、接続した録画機器で録画するための予約が本機側でできます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。(ただし、一部の製品によっては使用できない場合もあります。)

「Irシステム設定」画面にする

1

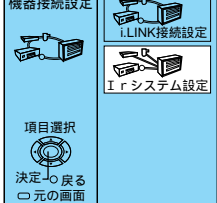
押して「機器ナビ」画面を出す

押して、「機器接続設定」を選び
押して、決定する

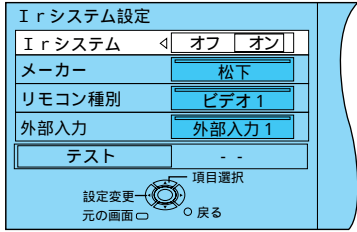
2

押して、「Irシステム設定」を選び
押して、決定する

Irシステム設定	
Irシステム	オフ　オン
メーカー	松下
リモコン種別	ビデオ1
外部入力	外部入力1
テスト	ーー

設定変更　項目選択　元の画面　戻る

「Irシステム設定」画面

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

<連動予約が設定可能な録画機器メーカー>
松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび当社製、パイオニア製のDVDレコーダー
● タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付ビデオデッキのみに設定できます。
(連動予約、タイマー予約についてはA編:29ページをご覧ください。)

53ページに記載のIrシステムケーブルを正しく接続、設置し、61〜63ページのIrシステムの設定とテストを行ってください。

「Irシステム」の設定

Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

押して、「Irシステム」を選び、押して、「オン」「オフ」を切換える

オン…Irシステムを使用します。

オフ…Irシステムを使用しません。

「メーカー」の設定

本機に接続している録画機器メーカーを設定します。

押して、「メーカー」を選び、押して、メーカー名を切換える

本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。(ただし、一部の製品によっては使用できない場合もあります。)
工場出荷時は「松下」に設定されています。

「リモコン種別」の設定

「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号を切換えます。

押して、「リモコン種別」を選び、押して、リモコン信号を切換える

お願い

● メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する当社製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

お知らせ

● 既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。

お知らせ

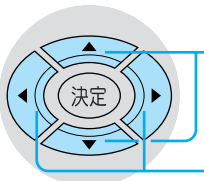
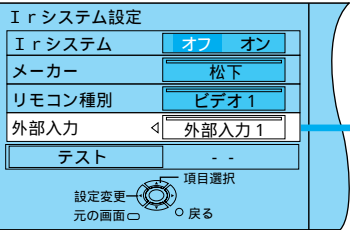
「Irシステム」の設定は…
● Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト(☞63ページ)を行ってください。

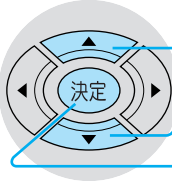
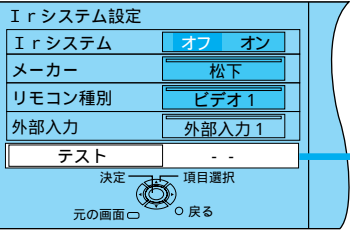
「リモコン種別」の設定は…
● 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合があります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切換えて再度テストを行ってください。
工場出荷時は「ビデオ1」に設定されています。
● 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

Irシステムの設定

まず、 60ページの操作で「Irシステム設定」画面にし、次の操作で設定します。

「外部入力」の設定　当社製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

● 60、61ページの設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」又は「ビデオ2」、「ビデオ3」のときのみ設定できます。（工場出荷時は「外部入力1」に設定されています。）

テスト　60～62ページの設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

● 録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
● テストを実行すると録画機器に電源「入」／「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」／「切」するかどうか確認してください。

● 「送信中」が表示され、電源「入」／「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
● 送信を終了したい場合は、再度（決定）ボタンを押してください。

お願い

●「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしてもBSデジタル放送の番組は録画できません。

お知らせ

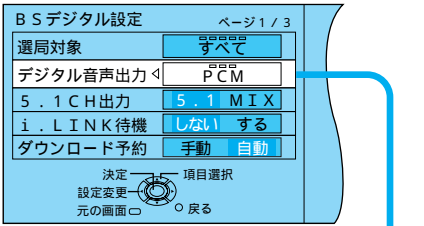
録画機器の電源が「入」／「切」しない場合は

① 録画機器のリモコンで録画機器の電源が「入」／「切」できるかを確認してください。
② Irシステムケーブルの接続と設置を確認してください。（☞53ページ）
③ リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。

●「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
● テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

デジタル音声出力の設定

本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、AACフォーマット対応の番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。

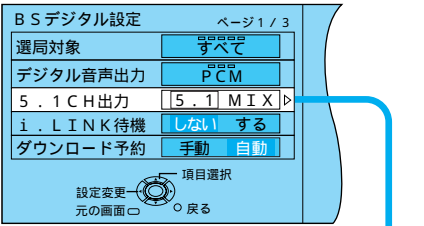
まず、 32ページの操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

PCM …AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。

AAC …AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。

自動 …AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切換えます。

5.1チャンネル出力の設定

本機の音声モニター出力端子からは、5.1チャンネルの音声信号の場合には5.1チャンネルで出力されますが、「5.1CH出力」の設定を「MIX」にすると2チャンネルの音声信号に変換することができます。2チャンネルの音声信号は音声モニター出力端子のサラウンド（右・左）とセンター、サブウーハーからは出力されません。

まず、 32ページの操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

5.1 …5.1チャンネルの音声信号の場合、そのまま5.1チャンネル用の音声モニター出力端子から5.1チャンネルの音声を出力します。

MIX …5.1チャンネルの音声信号の場合、2チャンネルの信号に変換して音声モニター出力端子のフロント（右・左）のみから出力します。

お知らせ

- 工場出荷時は「PCM」に設定されています。
- 地上波放送や、ビデオ入力1～3、コンポーネント（色差）ビデオ入力1、2に接続した外部機器を視聴中、光デジタル音声端子は本設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
- AAC対応アンプを接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。

お願い

- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は､「PCM」に設定してください。
または、モニター出力の音声端子をご使用ください。

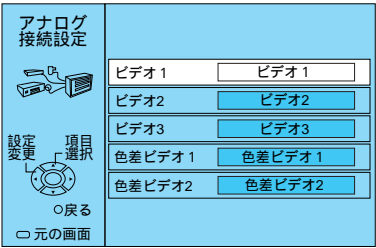
アナログ接続設定

ビデオや機器の接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。

1 機器ナビ を押して、「機器ナビ」の画面を出す

2 押して、「アナログ接続設定」を選び 決定する

機器ナビ	
	機器操作
	SDカード
項目選択	機器接続設定
決定 ○戻る ▭元の画面	アナログ接続設定

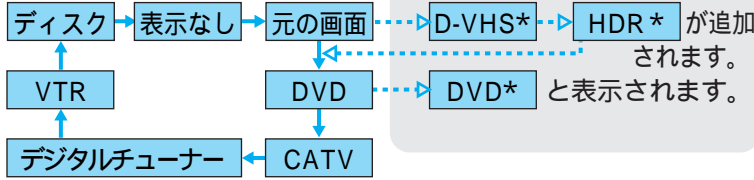
アナログ接続設定		
	ビデオ1	ビデオ1
	ビデオ2	ビデオ2
設定変更 項目選択	ビデオ3	ビデオ3
	色差ビデオ1	色差ビデオ1
○戻る ▭元の画面	色差ビデオ2	色差ビデオ2

「アナログ接続設定」画面

3 押して、表示を書き換えたいビデオ入力を選び

押して、書き換える

アナログ接続設定		
	ビデオ1	ビデオ1
	ビデオ2	ビデオ2
設定変更 項目選択	ビデオ3	ディスク
	色差ビデオ1	色差ビデオ1
○戻る ▭元の画面	色差ビデオ2	色差ビデオ2

を押すごとに…

ディスク → 表示なし → 元の画面 → VTR → DVD → CATV → デジタルチューナー

「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定している場合

D-VHS＊ → HDR＊ が追加されます。

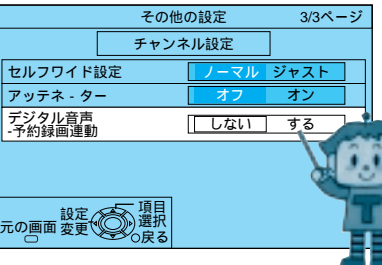
DVD＊ と表示されます。

で逆に変化します。

4 設定を終了する

■ 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

■ 元の画面 を押すと設定画面が消えます。

予約録画で光デジタル音声端子からの録音中に本機のチャンネルを変えても、音声が確実に録音できるように設定できます。

D-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダー（HDR）をi.LINK接続している場合

本機に接続したD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーの再生映像が、デジタルからアナログ（またはその逆）に切換わったとき、本機の入力を切換えずに、連続して視聴するための設定が行えます。D-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力（ビデオ入力1～3）をご確認のうえ、接続と同じ入力に「D-VHS＊」または「HDR＊」を設定してください。
＊印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。（☞A編：56ページ）

DVDホームシアターサウンドシステムをi.LINK接続している場合

本機に接続したDVDホームシアターサウンドシステムのDVDi.LINK再生ボタンを押したときに自動的に入力を切り換えるための設定ができます。DVDホームシアターサウンドシステムのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力（色差ビデオ1、2、ビデオ入力1～3）をご確認のうえ、接続と同じ入力に「DVD＊」を設定してください。
＊印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。（☞A編：60ページ）

お知らせ

- デジタル音声出力の設定（☞64ページ）を「PCM」にしてご使用ください。
- BSデジタル放送の番組により、録音できない場合があります。事前に番組内容を確認してください。（☞A編：13ページ）
- 予約録画は予約設定で予約方式を「録画」に設定します。（☞A編：20ページ）